令和８年度　通信教育実施計画

一ツ葉高等学校

１．添削課題（レポート）提出期限

	前期	後期
第１回	４月 24 日（金）	10 月 16 日（金）
第２回	５月 15 日（金）	10 月 30 日（金）
第３回	５月 29 日（金）	11 月 13 日（金）
第４回	６月 12 日（金）	11 月 27 日（金）
第５回	６月 26 日（金）	12 月 11 日（金）
第６回	７月 10 日（金）	12 月 18 日（金）

２．面接指導（スクーリング）実施日

第１回	６月９日（火）～12 日（金）
第２回	６月 16 日（火）～18 日（木）
第３回	６月 29 日（月）～７月２日（木）
第４回	７月６日（月）～８日（水）
第５回	７月 13 日（月）～16 日（木）
第６回	７月 21 日（火）～23 日（木）
第７回	８月 25 日（火）～28 日（金）
第８回	９月１日（火）～４日（金）
第９回	10 月 13 日（火）～16 日（金）
第 10 回	10 月 20 日（火）～23 日（金）
第 11 回	10 月 27 日（火）～30 日（金）
第 12 回	11 月４日（水）～６日（金）
第 13 回	11 月 17 日（火）～19 日（木）
第 14 回	11 月 25 日（水）～27 日（金）
第 15 回	12 月８日（火）～11 日（金）
第 16 回	12 月 15 日（火）～18 日（金）
第 17 回	２月 16 日（火）～19 日（金）
第 18 回	２月 24 日（水）～26 日（金）
日帰り	５月 19 日（火）、21 日（木） ６月 23 日（火）、25 日（木） ７月 17 日（金）、24 日（金） ９月 19 日（月）、26 日（月） 11 月 10 日（火）、12 日（木） 12 月１日（火）、３日（木）

３．単位認定試験実施日

前期３年生	７月 24 日（月）～28 日（金）
前期２年生以下	９月７日（月）～10 日（水）
後期３年生	12 月 21 日（月）～25 日（金）
後期２年生以下	１月 25 日（月）～29 日（金）

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
国語	現代の国語	単位数：２	滝沢
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、語句の意味や使い方、文章の構成や表現の特徴を理解できるようにする。

２．論理的な文章や実用的な文章を読み、筆者の考えや情報の関係を的確に捉え、自分の考えをまとめたり表現したりできるようにする。

３．言葉を通して他者や社会と関わる力を養い、目的や相手に応じて適切に伝え合おうとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　現代の国語 （現国 002-901）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	村田沙耶香「こそそめスープ」と福岡伸一「ルリボシカミキリの青」を読み、筆者の体験やものの見方を読み取る。言葉の思い込みや勘違いがどのように認識を形づくるのかを考えるとともに、好きなことを調べ続けることが世界の見方や生き方につながることを学ぶ。本文中の表現や語句の意味を確認し、内容を正確に抜き出したり、自分の経験と結び付けて考えをまとめたりする。	4/24（金）
2	石田英敬「未来をつくる想像力」と山崎正和「水の東西」を読み、情報社会における想像力の大切さと、日本と西洋の文化的な感じ方の違いを学ぶ。大量の情報やイメージが人間の想像力に与える影響を理解し、情報との向き合い方について考える。また、「鹿おどし」と「噴水」の比較を通して、日本人が自然や水の流れをどのように受け止めてきたかを読み取り、日本文化の魅力について自分の考えを表現する。	5/15（金）
3	塚谷裕一「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」と港千尋「無彩の色」を読み、身近な都市環境や色彩に対する見方を深める。都市のすき間に生える植物が、虫や鳥などの生き物を支える生態系の基盤になっていることを読み取る。また、灰色が持つ否定的な印象だけでなく、都市生活や白黒写真において感覚や感情の安定、美しさを支える役割を持つことを学ぶ。本文の主張を捉え、身近な環境について具体例を挙げて考える。	5/29（金）
4	村上信夫「鍋洗いの日々」と鈴木菜々子「森で染める人」を読み、仕事やものづくりに向き合う姿勢について考える。料理人を目指す筆者が、鍋磨きという自分にできる努力を通して道を開いていく過程を読み取り、困難な状況で努力を続けることの意味を学ぶ。また、草木染めを通して、自然と関わりながら技術や環境を受け継いでいくことの大切さを理解し、自然の循環や持続可能な暮らしについて考えを深める。	6/12（金）
5	高階秀爾「美しさの発見」と渡辺美佐子「りんごのほっぺ」を読み、美しさや記憶、戦争体験の語り継ぎについて考える。美しさは対象そのものにあるのか、それを感じる人間の心にあるのかという筆者の考え	6/26（金）

	を読み取り、自分が美しさを感じるために日ごろからできることを考える。また、戦時中の小学校で出会った少年との記憶を通して、戦争が子どもたちの日常や人間関係に与えた影響を理解し、戦争体験を語り継ぐ意味について自分の意見を書く。	
6	多田将「天動説はなぜ『正しかった』か？」と鷲田清一「真の自立とは」を読み、科学的な考え方と社会の中で生きることについて学ぶ。天動説が当時どのような理論や観測に基づいて正しいと考えられていたのかを読み取り、科学においては観測方法や装置の精度が結論に影響することを理解する。また、自立とは他者に頼らないことではなく、必要なときに助け合える関係を持つことだという筆者の考えを読み取り、相互依存の中で生きる意味について考える。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	現代の国語の自宅学習を進めるために必要な読解の基本を確認する。文章を読む際に、話題、筆者の主張、根拠、具体例の関係に着目し、接続語や指示語を手がかりに内容を整理する方法を学ぶ。また、段落ごとの中心内容を捉え、文章全体の構成を把握する練習を行う。授業後の自宅学習では、本文を段落ごとに要約し、筆者の考えを整理しながら読むことにつなげる。
2	現代の国語の添削課題や自宅学習に取り組む際に必要な、設問の読み取り方と記述の基本を確認する。設問で求められている条件を確認し、本文中の根拠となる箇所をもとに、自分の言葉で説明する方法を学ぶ。また、筆者の考えと自分の考えを区別し、理由を添えて意見をまとめる練習を行う。授業後の自宅学習では、本文の根拠を確認しながら記述問題に取り組み、考えを筋道立てて表現する学習につなげる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。評論・随想・実用的な文章を読み、筆者の考えやその理由を読み取る力、文章の組み立てを理解する力、語句・漢字・表現の工夫を確認する。また、相手や目的に合わせて文章を書く力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、現代の国語の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、語句の意味や使い方、文章の構成や表現の特徴を理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、文章の内容や構成を的確に読み取り、情報を整理して考え、自分の考えを分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、言葉を通して他者や社会と関わろうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、現代の国語の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
国語	論理国語１	単位数：２	鈴木
履修上の注意点	現代の国語を履修していること。		

指導目標

１．実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、評論文や論説文に用いられる語句、文章構成、論理の展開を理解できるようにする。

２．多様な文章を読み、筆者の主張、根拠、具体例、対比や因果関係を的確に捉え、内容を要約したり自分の考えを論理的に表現したりできるようにする。

３．言葉を通して社会や他者の考えに向き合い、多様な価値観を理解しながら、自分の考えを深めようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　論理国語 （論国 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	細川英雄「対話とは何か」と小林康夫「世界をつくり替えるために」を読み、対話と人間の自由について考える。おしゃべりと対話の違いを確認し、他者に伝えるために必要な手続きや相互関係を読み取る。また、人間が世界と自分との間にズレを感じながら、言葉や行動によって世界をつくり替えてきたという筆者の考えを理解する。本文の論理展開を追い、筆者の主張を根拠とともに捉える。	4/24 （金）
2	梯久美子「少女たちの『ひろしま』」と河合隼雄「『ふしぎ』ということ」を読み、歴史資料や物語の見方について考える。被爆した人の遺品を、悲惨さを伝える資料としてだけでなく、かつて誰かの生活や日常を包んでいたものとして見る視点を理解する。また、神話や物語が、科学的説明とは異なる形で人間の内的世界や世界との関わりを表すことを学び、筆者の問題提起と主張を整理する。	5/15 （金）
3	広中平祐「学ぶことと人間の知恵」と長谷川眞理子「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み、人間の頭脳や判断の特徴について学ぶ。忘れることや情報をすぐ取り出せない状態にすることを、人間の脳の「ゆとり」として捉える考え方を理解する。また、科学技術が進歩しても人間の脳の基本的な働き方は変わらず、ヒューマンエラーが起こり得るという筆者の主張を読み取り、具体例と論旨の関係を確認する。	5/29 （金）
4	鷲田清一「思考の肺活量」と廣淵升彦「安心について」を読み、考え続ける力と安心の意味について考える。すぐに答えが出ない問題に向き合い、分からないまま正確に対処することの大切さを読み取る。また、子ども時代の安心が失われ、大人になることによって戻れなくなるものがあるという文章の内容を理解する。比喩や具体例が筆者の主張を支える働きをしていることを確認する。	6/12 （金）
5	山田俊弘「弱肉強食は自然の摂理か」と松村圭一郎「複数の『わたし』」を読み、自然観や自己理解について考える。弱肉強食という考え方が生物学の議論では単純に用いられない理由を、捕食者と被食者の相互関係から読み取る。また、一人の人間の中に複数の「分人」が存在するという考え方を理解し、個人や人	6/26 （金）

	格を社会関係の中で捉える視点を学ぶ。	
6	堀畑裕之「はじめに『言葉』がある」と内山節「情景のなかの労働」を読み、言葉がものの見方や生活の価値を支えることについて考える。服のコレクションのテーマを表す言葉を探す過程から、歴史に育まれた語彙が発想を広げることを理解する。また、「仕事」と「稼ぎ」の使い分けを通して、山村の暮らしや労働観を読み取り、言葉の違いが価値観の違いを表していることを学ぶ。	7/10 （金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	論理国語 1 の自宅学習を進めるために必要な評論文読解の基本を確認する。文章を読む際に、筆者の主張、根拠、具体例、対比、因果関係に着目し、接続語や指示語を手がかりに論理の流れを整理する方法を学ぶ。また、本文中の重要語句や抽象的な表現を確認し、段落ごとの要点をまとめる練習を行う。授業後の自宅学習では、本文を段落ごとに要約し、筆者の考えと根拠を結び付けて読むことにつなげる。
2	論理国語 1 の添削課題や自宅学習に取り組む際に必要な、設問の読み取り方と記述の基本を確認する。抜き出し問題、内容説明問題、理由説明問題では、設問の条件を確認し、本文中の根拠となる箇所をもとに解答を作成する方法を学ぶ。また、筆者の考えを踏まえて自分の考えをまとめる練習を行う。授業後の自宅学習では、根拠を明確にしながら記述問題に取り組み、論理的に表現する学習につなげる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。評論文や論説文を読み、筆者の主張、根拠、具体例、対比、因果関係を読み取る力、文章全体の構成を把握する力、重要語句や表現の意味を理解する力を確認する。また、本文の内容を根拠に説明する力や、筆者の考えを踏まえて自分の考えを論理的に表現する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、論理国語 1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、論理的な文章を読むために必要な語句の意味や使い方、文章の構成、論理展開、表現の特徴を理解しているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、文章の論理展開を的確に読み取り、筆者の主張と根拠を整理し、抽象的な内容を具体例と結び付けて理解するとともに、自分の考えを論理的に表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、言葉を通して社会や他者の考えに向き合おうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、論理国語 1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
国語	論理国語２	単位数：２	鈴木
履修上の注意点	論理国語１を履修していること。		

指導目標

１．実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、評論文や論説文における語句、概念、文章構成、論理の展開を理解できるようにする。

２．多様な評論文を読み、筆者の主張、根拠、具体例、対比、逆説、抽象と具体の関係を的確に捉え、内容を要約したり自分の考えを論理的に表現したりできるようにする。

３．言葉を通して社会、科学、文化、自己、未来に関する多様な考えに向き合い、根拠に基づいて考えを深めようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　論理国語 （論国 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	２単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金） ４回　6/1（月）～6/12（金） ５回　6/15（月）～6/26（金） ６回　6/29（月）～7/10（金）	 １回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金） ４回　6/12（金） ５回　6/26（金） ６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	茂木健一郎「最初のペンギン」と本川達雄「豊かさと生物多様性」を読み、不確実な状況で行動することや、豊かさと自然環境の関係について考える。直観や感情が判断を支えるという考えを読み取るとともに、生物多様性の保全に関わる南北問題や、量を重視する価値観の問題点を理解する。本文の主張、具体例、対比を整理し、筆者の考えを根拠とともに捉える。	4/24 （金）
2	岸政彦「物語の外から」と小池昌代「カフェの開店準備」を読み、物語や行為が人間の自己理解や日常にどのように関わるかを考える。語りが人を動かし、自己や世界の理解を形づくるという筆者の考えを読み取る。また、準備や掃除などの見えにくい行為に注目し、目的と行為、習慣化と喜びの関係について理解する。比喩表現や具体例が論旨を支える働きを確認する。	5/15 （金）
3	石黒浩「鏡としてのアンドロイド」と野矢茂樹「ロボットが隣人になるとき」を読み、人間らしさや意志について考える。人間は他人との関わりを通して自分を知るという考えを理解し、アンドロイドやロボットを手がかりに人間性を捉える視点を学ぶ。また、意志と欲求の違い、意志が自分自身への約束に似ているという筆者の主張を読み取り、論理の流れを整理する。	5/29 （金）
4	内田樹「言葉は『物の名前』ではない」と小川眞里子「科学的『発見』とは」を読み、言葉や観察が世界の捉え方に与える影響について考える。言葉が単に物に付けられた名前ではなく、世界に切れ目を入れて意味を作る働きを持つことを理解する。また、観察は観察者の背景知識や意図に左右され、科学的発見もデータの構成や解釈を含むことを読み取る。	6/12 （金）
5	吉見俊哉「知識における作者性と構造性」と姜尚中「もう一つの知性」を読み、情報、知識、知性のあり方について考える。本とネット情報の違いを、作者性と構造性の観点から整理し、情報と知識の質的な違	6/26 （金）

	いを理解する。また、情報量の多さを知性と取り違えることの問題や、学識、教養、協調性、道徳観を含む総合的な知性について筆者の主張を読み取る。	
6	岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」と若林幹夫「未来のありか」を読み、お金や未来という抽象的な概念について考える。預かり手形が金貨銀貨の代わりとして流通し、やがて本物のお金になるという逆説を理解する。また、万博が示した未来像を手がかりに、未来とは現在から想像され、期待として作り出されるものであるという筆者の考えを読み取る。	7/10 （金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	論理国語 2 の自宅学習を進めるために必要な評論文読解の基本を確認する。文章を読む際に、筆者の主張、根拠、具体例、対比、逆説、抽象と具体の関係に着目し、接続語や指示語を手がかりに論理の流れを整理する方法を学ぶ。また、社会、科学、文化、言語、知識などの抽象的なテーマについて、本文中の重要語句や中心となる概念を確認しながら読む練習を行う。授業後の自宅学習では、段落ごとの要点をまとめ、筆者の考えと根拠を結び付けて読むことにつなげる。
2	論理国語 2 の添削課題や自宅学習に取り組む際に必要な、設問の読み取り方と記述の基本を確認する。抜き出し問題、内容説明問題、理由説明問題では、設問の条件を確認し、本文中の根拠となる箇所をもとに解答を作成する方法を学ぶ。また、筆者の考えを踏まえて自分の考えをまとめる練習を行う。授業後の自宅学習では、根拠を明確にしながら記述問題に取り組み、論理的に表現する学習につなげる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。評論文や論説文を読み、筆者の主張、根拠、具体例、対比、逆説、抽象と具体の関係を読み取る力、文章全体の構成を把握する力、重要語句や概念の意味を理解する力を確認する。また、本文の内容を根拠に説明する力や、筆者の考えを踏まえて自分の考えを論理的に表現する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、文章の論理展開を的確に読み取る力、筆者の主張と根拠を整理する力、抽象的な内容を具体例と結び付けて理解する力、複数の考え方を比較しながら自分の考えを論理的に表現する力、言葉を通して社会や他者の考えに向き合おうとする態度を評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを総合的に判断し、論理国語 2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
国語	言語文化	単位数：２	滝沢
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．我が国の言語文化に関する知識や技能を身に付け、古典や近現代の文章、短歌・俳句・詩、漢文に親しみながら、言葉の特徴や表現の働きを理解できるようにする。

２．作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、内容や構成、表現の特徴を捉え、自分の考えをまとめたり表現したりできるようにする。

３．言葉が時代や文化の中で果たしてきた役割を理解し、我が国の言語文化を尊重し、継承・発展させようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　言語文化 （言文 002-901）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	俵万智「さくらさくらさくら」と柚月裕子「心の自由」を読み、桜に対する日本人の思い入れや、文章を書く際の心情の表し方について学ぶ。古典文学とのつながりや、書き手の感じ方が作品の魅力になることを理解し、本文の表現や語句を確認しながら、自分の気づきや考えをまとめる。	4/24（金）
2	短歌・俳句と高村光太郎「冬が来た」、吉野弘「I was born」を読み、韻文における言葉の凝縮、季語、比喩、詩の形式や表現の特徴を学ぶ。短い言葉の中に込められた情景や心情を読み取り、作者のものの見方や感じ方について考えを深める。	5/15（金）
3	芥川龍之介「羅生門」と夏目漱石「夢十夜」を読み、近代小説における登場人物の心理の変化や語りの特徴を学ぶ。下人の心情変化や、作品に表れた芸術観・時代観を本文の根拠に基づいて読み取り、人物の行動や考え方について説明する。	5/29（金）
4	古文の言葉と歴史的仮名遣いを確認し、「絵仏師良秀」「徒然草」及び和歌を読む。古文を読むための基本的な知識を身に付け、現代語訳、主語の把握、人物の言動の理由、和歌に表れた心情や表現の特徴を読み取る。	6/12（金）
5	「伊勢物語」と「平家物語」を読み、古典に描かれた人物の心情や当時の文化的背景について学ぶ。平安時代の恋愛や結婚のあり方、古語の意味、敬語表現、軍記物語に表れた武士の価値観を理解し、本文に基づいて考えをまとめる。	6/26（金）
6	漢文の訓読の基本、故事成語、漢詩、論語・史話を学ぶ。返り点や送り仮名、書き下し文、再読文字を確認し、漢詩の形式や表現、漢文に表れた考え方を読み取り、現代とのつながりについて考える。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	言語文化の自宅学習を進めるために必要な、近現代の文章・韻文・古文・漢文の基本的な読み方を確認する。作品を読む際には、語句の意味、表現の特徴、時代背景、登場人物や筆者のものの見方に着目することを学ぶ。また、短歌・俳句・詩では、季語や比喩、言葉の省略や余韻に注目して内容を整理する練習を行う。授業後の自宅学習では、作品ごとに内容と表現の特徴をまとめる学習につなげる。
2	言語文化の添削課題や自宅学習に取り組む際に必要な、設問の読み取り方と記述の基本を確認する。本文中の根拠を示して人物の心情や筆者の考えを説明する方法、古文の現代語訳、漢文の書き下し文、和歌や漢詩の表現を読み取る方法を学ぶ。また、作品から読み取ったことを自分の考えとして筋道立てて表現する練習を行う。授業後の自宅学習では、本文の根拠を確認しながら記述問題に取り組む学習につなげる。
単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。近現代の文章、短歌・俳句・詩、小説、古文、和歌、漢文を読み、作品の内容や表現の特徴、登場人物や筆者のものの見方、語句・古語・漢文訓読の基礎を確認する。また、本文の根拠に基づいて考えを説明する力についても出題する。
学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準	
添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。 評価に当たっては、言語文化の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。 「知識・技能」については、我が国の言語文化に関する知識や技能、古典や漢文の基礎、語句や表現の特徴を理解しているかを評価する。 「思考・判断・表現」については、作品の内容や表現を的確に読み取り、作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉え、読み取ったことを自分の考えとして分かりやすく表現できているかを評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、言語文化に親しみ、我が国の言語文化を尊重し継承しようとしているかを評価する。 定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。 これらを3観点に基づいて総合的に判断し、言語文化の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。	
その他	
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。	

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
国語	国語表現１	単位数：２	中本
履修上の注意点			

指導目標

１．実社会に必要な表現の知識や技能を身に付け、話すこと・聞くこと、書くことに関する基本的な方法を理解できるようにする。

２．相手や目的、場面に応じて情報を整理し、分かりやすく説明したり、自分の考えを論理的に表現したりできるようにする。

３．言葉や身体表現を通して他者と関わる力を養い、自分の考えや個性を適切に伝えようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　国語表現 （国表 702）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	平田オリザ「『対話』してますか？」と古荘真敬「どうすればほかの人と分かり合えるんだろう」を読み、表現や対話の意味について学ぶ。日本語における「分かり合う文化」と、異なる価値観を説明し合う文化の違いを理解し、相手と分かり合うためには、答えだけでなく問題意識やこだわりを共有することが大切であることを考える。本文の内容を根拠に説明し、多様な人と関わるために自分ができることを表現する。	4/24 （金）
2	分かりやすく説明するために、相手、目的、内容、条件や状況、ツール、モードを意識して情報を整理する方法を学ぶ。接続の言葉を使って文と文の関係を明確にし、説明や資料の構成を整える。募集要項などの紙面構成の工夫や、SNS 上の文字によるやり取りで誤解が生じる理由を確認し、相手に正確に伝えるための表現方法を考える。	5/15 （金）
3	身体で表現することの意味を学び、発声・口調、表情、視線、身振りが相手に与える印象について理解する。ニュース原稿の読み方を通して、目的に応じた声の出し方や間の取り方を確認する。また、高尾隆「インプロの魅力」を読み、即興的に表現すること、自己検閲に気づくこと、相手にいい時間を与えることの大切さについて考え、自分の表現の可能性を広げる。	5/29 （金）
4	電話やメールなど実務的な連絡におけるマナーと、正しく分かりやすく用件を伝える方法を学ぶ。インタビューでは、テーマや目的を明確にし、さまざまな角度から問いを立てること、対話を通して相手の価値観や情報を引き出すことを確認する。自分の進路に関するインタビュー企画や、記事の特徴の分析を通して、目的に応じた問いの立て方と情報収集の方法を身に付ける。	6/12 （金）
5	「自分」を表現するために、ジョハリの窓やリフレーミングの考え方を学ぶ。自分から見た自己と他者から見た自己の違いを理解し、短所を別の見方で捉え直して長所として表現する方法を考える。また、進学・就職に関する情報源や確認事項を整理し、ニュースへの関心をもとに自分の考えを述べることで、自己理	6/26 （金）

	解と進路選択に必要な表現力を身に付ける。	
6	論理的な文章を書くために、小論文の種類、文字数の目安、構成メモの作り方を学ぶ。問題提起、主張、根拠、予想される反論、反論への反論を整理し、筋道立てて考えを述べる方法を確認する。課題文型小論文では、キーワード、キーセンテンス、接続詞に注目して内容を要約し、論点を設定する。また、解釈が一つに定まる文への書き換えや、長所と経験を結び付けた自己表現に取り組む。	7/10 （金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	国語表現 1 の自宅学習を進めるために必要な、表現の基本を確認する。相手、目的、場面に応じて、話す内容や書く内容を整理すること、説明の順序や接続語を工夫すること、誤解が生じにくい表現を選ぶことを学ぶ。また、身体表現や声の出し方が相手に与える印象について確認する。授業後の自宅学習では、添削課題の本文や設問を読み、相手に伝わる表現を意識しながら解答を作成することにつなげる。
2	国語表現 1 の添削課題や自宅学習に取り組む際に必要な、問いの立て方、自己表現、論理的な文章の書き方を確認する。インタビューや進路に関する情報収集では、目的を明確にして質問を考えることを学ぶ。また、小論文では、問題提起、主張、根拠、反論への対応を整理し、筋道立てて自分の考えを書く練習を行う。授業後の自宅学習では、構成メモを作成し、相手や目的に応じて表現を推敲する学習につなげる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。表現や対話の意味、分かりやすい説明の方法、接続語や情報整理、身体表現、電話・メールのマナー、インタビューの方法、自己理解とリフレーミング、進学・就職に関する情報整理、小論文の種類や構成を確認する。また、相手や目的に応じて情報を整理し、自分の考えを論理的に表現する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、国語表現 1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、相手や目的に応じて表現するために必要な語句、文体、文章構成、話し方、聞き方、身体表現などの知識や技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、相手や目的に応じて情報を整理し、分かりやすく説明したり、自分の考えを論理的に構成して表現したりできているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、言葉や身体表現を通して他者と関わろうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、国語表現 1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
国語	国語表現２	単位数：２	中本
履修上の注意点	国語表現１を履修していること。		

指導目標

１．実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、話し合い、読書活動、情報活用、提案、創作表現に関する方法を理解できるようにする。

２．目的や相手、場面に応じて情報を収集・整理し、合意形成や説得力のある提案、創造的な表現につなげることができるようにする。

３．言葉を通して他者や社会と主体的に関わる力を養い、読書や情報活用、話し合い、発表を通して自分の考えを深め、表現しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　国語表現 （国表 702）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	２単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金） ４回　6/1（月）～6/12（金） ５回　6/15（月）～6/26（金） ６回　6/29（月）～7/10（金）	 １回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金） ４回　6/12（金） ５回　6/26（金） ６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	ファシリテーションの考え方を学び、参加者の意見を公平に引き出し、対立や立場の違いを生かしながら話し合いを進める方法を理解する。バレー部の会話事例を通して、感情的な発言や相手への配慮を欠いた態度が合意形成を妨げることを確認し、問題解決に向かう発言の仕方を考える。また、ディベート、ブレーン・ストーミング、ワールド・カフェ、パネル・ディスカッションなど、話し合いの形式と目的を学ぶ。	4/24 （金）
2	苫野一徳「読書もまた一つの『経験』」を読み、読書が直接経験を広げ、視野を広げる役割を持つことを学ぶ。自分の経験を過度に一般化してしまう「一般化のワナ」について理解し、読書によって多様な考えや世界に触れる意味を考える。また、ビブリオバトル、ブックトーク、ブック・プレゼン・ダイアローグ、帯やポップ作りなど、本を紹介する活動を通して、読書体験を他者に伝える方法を学ぶ。	5/15 （金）
3	情報活用力を身に付けるために、広報資料の企画立案・取材、編集・制作、発信の流れを学ぶ。編集会議を通して情報の取捨選択や役割分担を行い、レイアウトや校正を意識して資料を作成する方法を理解する。また、報告書に必要な 5W1H 等の要素を確認し、食品ロスに関する資料をもとに、市民に伝えるべき内容や媒体の選び方を考える。	5/29 （金）
4	説得力のある提案を行うために、プレゼンテーションの目的や方法、企画書・提案書の作成方法を学ぶ。提案内容を考える際には、理由を多方面から検討し、不正確な情報を避け、事実と見方・考え方を根拠として整理することを確認する。学校内の環境改善や地域・社会への提案などの事例を通して、提案先に応じた内容のまとめ方と、実行方法を具体的に示す表現を身に付ける。	6/12 （金）
5	表現を楽しむ活動として、俳句・短歌、物語・小説、レトリックについて学ぶ。俳句の十七音や季語、短歌の三十一音を確認し、季節や身近な出来事を短い言葉で表現する方法を理解する。また、物語のキャラ	6/26 （金）

	クター設定や語りの視点、直喩・隠喩・換喩・提喩、体言止めや反復法などの修辞法を学び、印象に残る表現の工夫を考える。	
6	図書館やインターネットを活用した情報収集の方法を学ぶ。書籍資料とインターネット情報の特徴、NDC、OPAC、国立国会図書館の活用、AND・OR・NOT 検索などを理解し、情報の信頼性に注意して調べる力を身に付ける。また、アンケートに必要な要素や、ピラミッドチャート、ベン図、マッピング、座標軸、九ますブロックなどの思考ツールを学び、集めた情報を整理して表現に生かす方法を確認する。	7/10 （金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	国語表現 2 の自宅学習を進めるために必要な、話し合いと情報活用の基本を確認する。ファシリテーションでは、参加者の意見を丁寧に引き出し、対立を問題解決のきっかけとして生かすことを学ぶ。また、読書活動や広報資料作成を通して、情報を収集・整理し、相手や目的に応じて分かりやすく伝える方法を確認する。授業後の自宅学習では、添削課題の事例や資料を読み取り、根拠をもとに自分の考えをまとめる学習につなげる。
2	国語表現 2 の添削課題や自宅学習に取り組む際に必要な、提案・発表・創作表現・調査の方法を確認する。説得力のある提案では、事実や理由を整理し、提案先に応じて実行方法を具体的に示すことを学ぶ。また、俳句・短歌、物語、レトリックなどの表現の工夫や、図書館・インターネット検索、アンケート、思考ツールの活用方法を確認する。授業後の自宅学習では、情報の信頼性を確かめながら、表現を推敲する学習につなげる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。ファシリテーション、合意形成、話し合いの形式、読書の効果と一般化のワナ、本を紹介する活動、広報資料の作成、報告書の要素、食品ロスに関する資料の読み取り、プレゼンテーションと提案書、俳句・短歌、物語の視点、レトリック、図書館やインターネットを用いた情報収集、アンケート、思考ツールについて確認する。また、目的や相手に応じて情報を整理し、自分の考えを分かりやすく表現する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、国語表現 2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、話し合い、読書、資料の読み取り、情報発信、提案、創作などの活動に必要な語句、文章構成、表現方法、話し方や聞き方に関する知識や技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、話し合いにおいて他者の意見を尊重しながら合意形成を図り、読書や資料から必要な情報を読み取り、情報を収集・整理して発信できているかを評価する。また、提案や創作において、目的や相手に応じた表現を工夫できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、言葉を通して社会や他者と関わろうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、国語表現 2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
地理歴史	地理総合	単位数：２	遠山
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．地図や地理情報システム、統計資料などを活用し、現代世界の地域的特色や課題を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して理解できるようにする。

２．交通・通信、生活文化、自然環境、産業、資源・エネルギー、地球環境、防災などに関する資料を読み取り、地域的な課題の背景や要因を多面的・多角的に考察し、適切に表現できるようにする。

３．持続可能な社会の実現に向けて、地球的課題や身近な地域の課題を主体的に追究し、地域社会や国際社会の一員として考え行動しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　地理総合 （地総 002-901）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	地図と地理情報システムについて学ぶ。緯線・経線、緯度・経度、時差、対蹠点、地図図法の特徴を確認し、地球上の位置や方位・距離の表し方を理解する。また、日本の位置と領域、北方領土、排他的経済水域、地形図の種類や地図記号、縮尺の読み取りを通して、地図を活用して地域の特色を把握する力を身に付ける。	4/24（金）
2	交通・情報通信技術の発達と、現代世界の結び付きについて学ぶ。時間距離、航空ネットワーク、モーダルシフト、情報格差、人の国際移動、観光、国際機構や地域的な結び付きについて理解する。また、文化の多様性や地域性、文化の均質化について資料をもとに読み取り、現代世界の相互依存関係を考える。	5/15（金）
3	生活文化と自然環境の関わりについて、地形と気候の両面から学ぶ。山地、扇状地、台地、河川がつくる平野、リアス海岸やフィヨルドなどの地形の特色と人々の生活・産業との関係を確認する。また、気温・降水量、海洋性気候・大陸性気候、気候帯ごとの住居や農業の工夫を理解し、自然環境に適応した生活文化を考える。	5/29（金）
4	生活文化と社会産業、地球環境問題について学ぶ。農業形態、工業立地、労働集約的工業、商業・サービス業、情報通信技術による産業の変化を確認する。また、地球温暖化、脱炭素社会、海洋プラスチック、熱帯林減少、砂漠化、水資源、生物多様性などを取り上げ、地球的課題の背景と影響を資料から読み取る。	6/12（金）
5	資源・エネルギー問題、都市・居住問題、民族問題、持続可能な社会の実現について学ぶ。レアメタル、エネルギー消費、資源ナショナリズム、南シナ海をめぐる問題、スラムやプライメートシティ、ジェントリフィケーション、難民問題、SDGs、ODA などを確認し、地球的課題が相互に関連していることを理解す	6/26（金）

	る。	
6	日本の自然環境と防災、生活圏の調査と地域の展望について学ぶ。日本の火山・河川・気団、季節ごとの気圧配置、地震・火山・土砂災害・都市災害の特徴を確認する。また、自助・共助・公助、復興、地域調査の方法、資料収集、野外調査・聞き取り調査、ピラミッドチャートなどを通して、身近な地域の課題を調査し考察する力を身に付ける。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	地理総合の自宅学習を進めるために必要な、地図・統計・写真・グラフなどの資料を読み取る基本を確認する。緯度・経度、地図図法、時差、地形図、交通・通信、国際的な結び付きなどを取り上げ、資料から分かる事実を整理し、地域の特色や課題を説明する練習を行う。授業後の自宅学習では、教科書や資料集の図表を確認しながら添削課題に取り組むことにつなげる。
2	自然環境と生活文化、地球的課題、防災、地域調査について、資料をもとに考察する方法を確認する。地形・気候と生活の関係、産業や資源・エネルギー、地球環境問題、災害への備えを取り上げ、原因・影響・対策を関連付けて考える練習を行う。授業後の自宅学習では、身近な地域や世界の課題について、自分の言葉で説明できるようにする。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。地図と地理情報システム、現代世界の結び付き、生活文化と自然環境、産業、地球環境問題、資源・エネルギー問題、都市・民族問題、防災、地域調査について、基本的な語句や概念の理解、資料・地図・統計の読み取り、地域的特色や課題を説明する力を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、地理総合の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、地図や統計資料、写真、図表などを適切に読み取り、世界や日本の地域的特色、自然環境、産業、文化、地球的課題に関する基礎的な知識や技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、地域の特色や課題を理解し、自然環境と人間生活との関係、地球的課題や地域課題について考察し、自分の言葉で説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、持続可能な社会の実現に向けて、地理的な見方・考え方を働かせながら考えようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、地理総合の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
地理歴史	歴史総合	単位数：２	大木
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．近現代の歴史について、世界と日本の相互の関係を踏まえながら、近代化、国際秩序の変化、大衆化、グローバル化の流れを理解できるようにする。

２．資料や統計、地図、写真、文章資料などを読み取り、出来事の背景・原因・結果を関連付けて考察し、歴史的な見方・考え方を働かせて説明できるようにする。

３．現代的な諸課題について、過去の歴史的経緯と結び付けて考え、自分の考えを根拠に基づいて表現できるようにする。

教科書	東京書籍　歴史総合 （歴総 002-901）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	18 世紀のアジアとヨーロッパ、産業革命、世界市場の形成、日本の開国について学ぶ。清、江戸幕府、オスマン帝国、東インド会社、三角貿易、産業革命、資本主義、アヘン戦争、安政の五か国条約、南北戦争、スエズ運河、日本の産業革命などを確認し、近代化が世界と日本に与えた影響を理解する。	4/24（金）
2	市民革命と近代社会、19 世紀の欧米とアジア、日本の明治維新、立憲制、帝国主義について学ぶ。アメリカ独立革命、フランス革命、国民国家、ナショナリズム、自由主義、インド大反乱、廃藩置県、徴兵制、大日本帝国憲法、アフリカ分割、日清・日露戦争、植民地支配、辛亥革命などを整理する。	5/15（金）
3	第一次世界大戦と戦後の国際秩序、ソ連の成立、アメリカの繁栄、反植民地主義と民主主義の拡大について学ぶ。総力戦、十四カ条の平和原則、ワシントン体制、ロシア革命、戦時共産主義、大衆文化、アジアの民族運動、三・一独立運動、五・四運動、普通選挙などを確認する。	5/29（金）
4	世界恐慌、ファシズム、日中戦争、第二次世界大戦、戦後の国際秩序について学ぶ。ブロック経済、ニューディール、昭和恐慌、スターリンの五か年計画、ヒトラー・ムッソリーニ、盧溝橋事件、南京事件、独ソ不可侵条約、太平洋戦争、国際連合、GHQ による占領、冷戦、サンフランシスコ平和条約などを理解する。	6/12（金）
5	冷戦の拡大、核兵器の管理、地域紛争、冷戦下の日本とアジア、先進国の経済成長と地域連携について学ぶ。雪どけ、アジア・アフリカ会議、核拡散防止条約、中東戦争、計画経済、福祉国家、55 年体制、日米安全保障条約、沖縄返還、ECSC・EEC・EC、ASEAN、ベトナム戦争、文化大革命などを確認する。	6/26（金）
6	石油危機以降の経済政策、冷戦の終結、民主化の進展、グローバル化と地域統合について学ぶ。サミット、新自由主義、プラザ合意、バブル経済、中国の経済特別区、ペレストロイカ、ベルリンの壁崩壊、湾岸戦	7/10（金）

	争、アラブの春、PKO、南アフリカの民主化、日本の政権交代、NAFTA、TPP、BRICS、SDGs などを扱い、現代的な諸課題を考察する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	歴史総合の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。近代化、産業革命、市民革命、国民国家、帝国主義、日本の開国と明治維新、第一次世界大戦までの流れを、年表・地図・資料を用いて整理し、出来事の原因と結果を関連付けて理解する。
2	国際秩序の変化、大衆化、冷戦、経済成長、グローバル化について、資料をもとに考察する方法を確認する。世界恐慌、第二次世界大戦、戦後の占領と冷戦、地域紛争、地域統合、現代的な諸課題を取り上げ、単位認定試験に向けて重要事項を整理し、自宅学習の見通しを持つ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。近代化、産業革命、市民革命、国民国家、帝国主義、日本の開国と明治維新、第一次世界大戦、戦後の国際秩序、世界恐慌、第二次世界大戦、冷戦、経済成長、地域紛争、グローバル化、地域統合、現代的な諸課題について、基本用語、歴史の流れ、資料の読み取りを確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、歴史総合の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、近現代の歴史の流れ、世界と日本の関係、政治・経済・社会の変化、国際関係や現代的な諸課題について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、歴史的事象の背景や原因、影響を考察し、複数の資料や情報をもとに、世界と日本の関係や現代社会とのつながりについて自分の考えを表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、近現代の歴史を通して現代的な諸課題を自分ごととして考えようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、歴史総合の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
地理歴史	地理探究１	単位数：１	遠山
履修上の注意点	地理総合を履修していること。		

指導目標

１．世界の自然環境、資源・エネルギー、産業、交通・通信などについて、地域的特色や相互の関わりを地理的な見方・考え方を働かせて理解できるようにする。

２．地形・気候・環境問題・産業・交通などに関する地図、統計、資料を読み取り、地域の特色や課題の背景を多面的・多角的に考察し、適切に表現できるようにする。

３．現代世界の諸課題を自然環境と人間生活との関係から捉え、持続可能な社会の形成に向けて主体的に追究しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　地理探究 （地探 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	3 回	面接指導	1 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	地理探究への導入として、地形をつくる力、プレートの運動、変動帯と安定地域の地形について学ぶ。河川・海岸・気候や地質の影響を受けた地形の特徴を確認し、地形と人々の生活との関わりを理解する。また、気温や降水量、大気の流れ、ケッペンの気候区分、高山気候を取り上げ、自然環境を地理的に捉える基礎を身に付ける。	4/24（金）
2	日本の地形と自然災害、世界の環境問題、農林水産業、食料問題、エネルギーと鉱産資源について学ぶ。日本列島の地形・気候の特色と災害、防災の考え方を確認するとともに、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、公害などの環境問題を理解する。また、農業形態、林業・水産業、資源利用の特色を資料から読み取り、地域差や課題について考える。	5/15（金）
3	工業の立地と工業地域の変容、第三次産業、交通・通信、貿易・経済連携、観光について学ぶ。原料指向・市場指向、工場の海外移転、知識集約型工業などの考え方を理解し、産業構造の変化を捉える。また、流通、情報通信技術、航空・鉄道・船舶交通、自由貿易体制、経済連携、観光の発展と課題を資料や統計と関連付けて考察する。	5/29（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	地理探究１の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。地形、気候、環境問題、産業、交通・通信などを学ぶ際に、地図、雨温図、統計資料、写真資料を相互に関連付けて読み取る方法を学ぶ。また、自然環境と人間生活との関係に着目し、地域の特色や課題を説明する練習を行う。授業後の自宅学習では、資料から読み取ったことを根拠として、自分の言葉でまとめる学習につなげる。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第1回から第3回までで学習した内容を範囲とする。地形をつくる力、プレートの運動、安定地域・変動帯の地形、河川・海岸地形、気候区分、日本の地形と自然災害、世界の環境問題、農林水産業、資源・エネルギー、工業、第三次産業、交通・通信、貿易・観光について確認する。また、地図・統計・写真・雨温図などの資料を読み取り、地域の特色や課題を説明する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、地理探究1の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、地形・気候・産業・交通・通信などに関する基礎的な知識を理解し、地図や統計資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、地域的特色や課題を、自然環境と人間生活との関係から考察し、学習した内容を自分の言葉で分かりやすく説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、持続可能な社会の形成に向けて、地理的な見方・考え方を働かせながら考えようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、地理探究1の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
地理歴史	地理探究２	単位数：２	遠山
履修上の注意点	地理探究１を履修していること。		

指導目標

１．世界の人口、都市、生活文化、民族・宗教、国家と領土、地域区分について、地域的特色と相互関係を理解できるようにする。

２．東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア、日本などを地誌的に考察できるようにする。

３．地図、統計、写真、資料を活用し、現代世界と日本の地理的諸課題について、多面的・多角的に考察し表現する力を養う。

教科書	東京書籍　地理探究	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	２単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	人口問題、村落・都市、居住・都市問題、生活文化の地域性について学ぶ。人口増加や少子高齢化、過疎化、都市機能、インナーシティ問題、都市の縮退などを確認し、生活文化が自然環境や社会の変化によって形成・変容することを理解する。	4/24（金）
2	民族・言語・宗教、民族問題、国家と領土問題、地域区分の意義と方法について学ぶ。世界宗教、宗派、民族問題、難民、多文化主義、国家領域、領土問題を確認し、地域を形式地域・機能地域などの視点から区分して考察する。	5/15（金）
3	東アジア、東南アジア、南アジアの地域的特色について学ぶ。中国、韓国、東南アジア諸国、インドなどの産業、人口、文化、宗教、経済発展、地域協力を確認し、各地域の自然環境と社会・経済の関係を理解する。	5/29（金）
4	西アジア・中央アジア、北アフリカ・サハラ以南アフリカ、ヨーロッパの地域的特色について学ぶ。乾燥地域の農業と資源開発、イスラーム文化、アフリカの開発と課題、EU 統合、ヨーロッパの産業・農業・移民問題を理解する。	6/12（金）
5	ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカの地域的特色について学ぶ。ロシアの民族・宗教・資源・体制転換、アメリカ・カナダの農業・工業・多民族社会、ラテンアメリカの歴史、混成文化、産業発展と都市問題を理解する。	6/26（金）
6	オセアニア、北極・南極、日本の地理的諸課題、持続可能な国土像の探究について学ぶ。オーストラリア・ニュージーランドの自然と社会、極地の環境、日本の地域構造と国土政策、SDGs、地域調査の方法を確認し、持続可能な社会のあり方を考察する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	地理探究 2 の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。人口、都市、生活文化、民族・宗教、国家と領土、地域区分を学ぶ際に、地図・統計・写真資料を相互に関連付けて読み取る方法を学ぶ。また、地域の特色を自然環境、歴史、産業、文化の面から整理する視点を身に付ける。
2	世界各地域と日本の地理的諸課題を地誌的に考察する方法を確認する。東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アメリカ、オセアニアを比較し、地域ごとの特色や課題を説明する力を養う。持続可能な社会や国土像について、資料を根拠に考察する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。人口問題、都市、生活文化、民族・宗教、国家と領土、地域区分、東アジア・東南アジア・南アジア、西アジア・アフリカ・ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア、日本の地理的諸課題、持続可能な国土像について確認すること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、地理探究 2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、人口・都市・文化・民族・国家・各地域の特色に関する基礎的な知識を理解し、地図・統計・写真資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、地域的特色や地理的課題について、自然環境、社会、文化、産業、国家間の関係などの視点から多面的・多角的に考察し、自分の言葉で分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、世界や日本の諸地域が抱える課題について、持続可能な社会の形成に向けて考えようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、地理探究 2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
地理歴史	日本史探究１	単位数：１	大木
履修上の注意点	歴史総合を履修していること。		

指導目標

１．日本列島における先史社会から近世社会の成立・展開までについて、政治・社会・文化・国際交流の変化を時代の流れに沿って理解できるようにする。

２．史料、地図、図版、年表などを活用し、各時代の特色や出来事の背景、人物・制度・文化の関係を多面的・多角的に考察し、適切に表現できるようにする。

３．日本の歴史を現代の社会や地域の歴史と関連付けて捉え、歴史的事象に関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を育てる。

教科書	東京書籍　日本史探究 （日探 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	3 回	面接指導	1 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	先史社会の生活と文化、律令国家の形成と古代文化の展開、摂関政治と貴族文化について学ぶ。旧石器時代・縄文時代・弥生時代の生活、古墳文化、ヤマト政権、渡来人の影響、氏姓制度、聖徳太子の政治、飛鳥文化を確認する。また、平安遷都、唐風文化、天平文化、貴族文化を取り上げ、古代国家と文化の特色を理解する。	4/24（金）
2	中世の日本と世界、武家政権の成立、鎌倉幕府、モンゴル襲来、南北朝の動乱、室町幕府、東アジアとの交流、室町文化について学ぶ。鎌倉仏教、執権政治、承久の乱、御成敗式目、元寇、建武の新政、南北朝、勘合貿易、琉球・アイヌの動き、連歌・能・東山文化などを確認し、中世社会の特色を考察する。	5/15（金）
3	近世社会の形成と幕藩体制の確立について学ぶ。鉄砲伝来、南蛮貿易、織田信長・豊臣秀吉による統一事業、太閤検地、刀狩、桃山文化を確認する。また、江戸幕府の成立、大名・朝廷・寺社の統制、参勤交代、寛永文化、文治政治への転換、産業・交通の発達、元禄文化を取り上げ、近世社会のしくみと文化の特色を理解する。	5/29（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	日本史探究１の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。歴史的事象を年代順に整理するだけでなく、政治制度、社会のしくみ、文化、対外関係などの観点に分けて読み取る方法を学ぶ。また、教科書本文、史料、地図、図版を関連付け、出来事の原因・経過・結果を自分の言葉で説明する練習を行う。授業後の自宅学習では、時代ごとの特色を比較しながら整理する学習につなげる。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第１回から第３回までで学習した内容を範囲とする。先史社会、古墳文化、ヤマト政権、律令国家の形成、飛

	鳥・天平・平安期の文化、摂関政治、鎌倉幕府、モンゴル襲来、南北朝の動乱、室町幕府、東アジアとの交流、室町文化、織豊政権、江戸幕府の成立、幕藩体制、近世の産業・交通・文化について確認する。また、史料・地図・図版を読み取り、各時代の特色や歴史的事象の背景を説明する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、日本史探究 1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、先史から近世に至る日本の歴史に関する基礎的な知識を理解し、史料や図版などから必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、政治・社会・文化・対外関係の変化を時代の流れに沿って整理し、歴史的事象の背景や影響を考察して、自分の言葉で分かりやすく説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、日本の歴史に関する学習内容を主体的に追究しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、日本史探究 1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
地理歴史	日本史探究２	単位数：２	大木
履修上の注意点	日本史探究１を履修していること。		

指導目標

１．江戸時代後期から現代までの日本の歴史について、政治・経済・社会・文化・国際関係の変化を時代の流れに沿って理解できるようにする。

２．条約、制度、戦争、社会運動、経済成長などの歴史的事象について、背景・原因・影響を資料や年表と関連付けて多面的・多角的に考察し、適切に表現できるようにする。

３．近現代の日本が直面した課題を現代社会の課題と関連付けて捉え、歴史的な見方・考え方を働かせながら主体的に学習に取り組む態度を育てる。

教科書	東京書籍　日本史探究 （日探 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	２単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金） ４回　6/1（月）～6/12（金） ５回　6/15（月）～6/26（金） ６回　6/29（月）～7/10（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金） ４回　6/12（金） ５回　6/26（金） ６回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について学ぶ。享保の改革、手工業・農村経済の変化、寺子屋や化政文化、寛政の改革、ロシア船の来航、蝦夷地探検、異国船打払令、蘭学、天保の改革などを確認し、幕府が内憂と外患をどのように受け止めたかを考察する。	4/24（金）
2	近代社会の幕開けと明治初期の諸改革について学ぶ。開国と不平等条約、尊王攘夷運動、薩長盟約、大政奉還、明治維新、版籍奉還・廃藩置県、富国強兵、殖産興業、文明開化、教育制度、条約改正、自由民権運動などを確認する。	5/15（金）
3	国民国家と資本主義の成立について学ぶ。大日本帝国憲法の制定、立憲政治の成立、日清戦争、産業革命、教育制度と近代文化、帝国主義、日露戦争、韓国併合、辛亥革命、足尾銅山鉱毒事件、第一次護憲運動などを理解する。	5/29（金）
4	両大戦間期の日本と第二次世界大戦について学ぶ。第一次世界大戦、大戦景気、都市化と大衆文化、大正デモクラシー、政党内閣、金融恐慌、昭和恐慌、満洲事変、日中戦争、国家総動員法、大政翼賛会、アジア・太平洋戦争、敗戦までの流れを確認する。	6/12（金）
5	占領と改革、国際社会への復帰、高度経済成長について学ぶ。GHQ による占領政策、日本国憲法、財閥解体・農地改革、冷戦、朝鮮戦争、サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約、55 年体制、安保闘争、所得倍増計画、公害問題などを理解する。	6/26（金）
6	アジア情勢の変化、経済大国日本、新しい国際秩序と日本の課題について学ぶ。日中国交正常化、石油危機、安定成長、バブル経済、冷戦終結、PKO 協力、政治改革、阪神・淡路大震災、グローバル化、東日本	7/10（金）

	大震災、感染症やジェンダーと政治など現代の課題を考察する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	日本史探究 2 の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。江戸後期から明治期にかけての政治改革、開国、明治維新、近代化政策を、年表・史料・用語の関係から整理し、出来事の原因と結果を説明する方法を学ぶ。
2	近現代史の学習を進めるため、戦争、国際関係、経済成長、社会運動、現代の課題を関連付けて考察する方法を確認する。条約・制度・社会の変化を資料から読み取り、単位認定試験に向けて重要事項を整理し、自宅学習の進め方を確認する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。江戸後期の改革と幕藩体制の動揺、開国と明治維新、明治政府の諸改革、自由民権運動、大日本帝国憲法、日清・日露戦争、産業革命、第一次世界大戦、大正デモクラシー、昭和恐慌、満洲事変、日中戦争、アジア・太平洋戦争、占領改革、日本国憲法、冷戦と国際社会への復帰、高度経済成長、安定成長、冷戦終結後の日本と現代の課題について確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、日本史探究 2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、江戸後期から現代に至る日本の歴史に関する基礎的な知識を理解し、史料や図表などから必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、政治・経済・社会・文化・国際関係の変化を時代の流れに沿って整理し、史料や図表を活用して歴史的事象の背景や影響を考察し、自分の言葉で分かりやすく説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、江戸後期から現代に至る日本の歴史を、現代社会とのつながりを意識しながら主体的に学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、日本史探究 2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
地理歴史	世界史探究 1	単位数：1	瀬口
履修上の注意点			

指導目標

１．世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸地域の歴史的特質や相互の交流・影響に着目して理解できるようにする。

２．歴史資料や地図、年表などから情報を読み取り、歴史的事象の背景、原因、結果、意義を多面的・多角的に考察し、適切に表現できるようにする。

３．世界の歴史を現代社会との関わりの中で捉え、他者や異文化を尊重し、課題を主体的に追究しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　世界史探究 （世探 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	3 回	面接指導	1 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	古代文明の出現と西アジア・地中海世界について学ぶ。メソポタミア文明、エジプト文明、エーゲ文明、南アジア・東アジアの古代文明を取り上げ、文字、法、王権、宗教、農耕、都市などがどのように文明を形づくったかを理解する。また、古代ギリシア、ヘレニズム世界、ローマ帝国の成立と展開を学び、政治制度、文化、交易、地中海世界の形成について考える。	4/24（金）
2	イスラーム世界の成立と中世初期の東西ヨーロッパ、南アジア・東南アジア世界について学ぶ。ムハンマド以後のイスラーム共同体、ウマイヤ朝・アッバース朝の展開、ビザンツ帝国とローマ・カトリック教会、フランク王国の成立を確認する。また、マウリヤ朝・グプタ朝、ヒンドゥー教、東南アジアの交易と国家形成を通して、宗教・文化・交易が地域世界を形成したことを理解する。	5/15（金）
3	東アジアと中央ユーラシア、アフリカの歴史的展開について学ぶ。春秋戦国時代から秦・漢帝国の成立、豪族の台頭、三国時代、隋唐帝国の統一と東アジア世界への影響を理解する。また、朝鮮半島の動向、アフリカにおける王国と交易、8 世紀の世界の変化を取り上げ、各地域の政治・社会・文化が相互に関わりながら展開したことを考える。	5/29（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	世界史探究 1 の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。世界史を学ぶ際に、時代区分、地域世界、王朝・国家、宗教、交易、文化などの観点に着目し、教科書本文、地図、年表を関連付けて読み取る方法を学ぶ。授業後の自宅学習では、各文明や地域世界の特色を表に整理し、重要語句だけでなく、その背景や意味を確認する学習につなげる。
2	古代文明からイスラーム世界、中世ヨーロッパ、南アジア・東南アジアにかけての学習内容をもとに、地域間の交流や宗教・文化の広がりを整理する。地図を用いて交易路や勢力範囲を確認し、歴史的事象を一つの地域だけでなく、周辺地域との関係の中で捉える練習を行う。授業後の自宅学習では、人物・王朝・制度・文化を関連付けて説明できるよう

	にする。
3	中国の統一王朝と分裂、隋唐帝国、東アジア世界、アフリカの王国と交易について確認し、歴史の大きな流れを整理する。各時代の政治制度や社会の変化を、原因と結果、継続と変化の観点から考える練習を行う。また、資料や地図を読み取り、複数の地域の動きを比較しながら、歴史的事象の意義を自分の言葉でまとめる学習につなげる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第3回までで学習した内容を範囲とする。古代文明の成立、西アジア・地中海世界、イスラーム世界、中世ヨーロッパ、南アジア・東南アジア、東アジアと中央ユーラシア、アフリカの王国と交易について、各地域の特色、交流、国家・宗教・文化の展開を確認する。また、地図・年表・資料を読み取り、歴史的事象の背景や意義を説明する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、世界史探究1の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、世界の歴史の大きな流れや各地域の特色に関する基礎的な知識を理解し、資料や地図から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、歴史的事象の背景や因果関係を考察し、世界の諸地域のつながりや変化について、学習した内容を自分の言葉で分かりやすく説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、世界の歴史を現代社会との関わりの中で主体的に捉えようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、世界史探究1の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
地理歴史	世界史探究２	単位数：２	瀬口
履修上の注意点	世界史探究１を履修していること。		

指導目標

１．世界の歴史の展開を、諸地域の結び付きや国際関係、政治・経済・社会・文化の変化に着目して理解できるようにする。

２．歴史資料や地図、統計、年表などを読み取り、歴史的事象の背景、原因、結果、影響を多面的・多角的に考察し、適切に表現できるようにする。

３．近現代を含む世界の歴史を現代社会の課題と関連付けて捉え、国際社会の形成や変容について主体的に追究しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　世界史探究 （世探 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	２単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金） ４回　6/1（月）～6/12（金） ５回　6/15（月）～6/26（金） ６回　6/29（月）～7/10（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金） ４回　6/12（金） ５回　6/26（金） ６回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	イスラーム世界の拡大と繁栄、中世ヨーロッパ社会の展開について学ぶ。シーア派王朝、トルコ系イスラーム王朝、イクター制、イスラーム思想の広がりを確認し、フランク王国の分裂、封建社会、荘園制、カトリック教会の発展、十字軍、百年戦争などを通して、中世の西アジア・ヨーロッパ世界の政治・社会・宗教の変化を理解する。	4/24（金）
2	中華世界の変容とモンゴル帝国、大交易時代と世界の一体化について学ぶ。北宋・南宋の政治と経済、モンゴル帝国と元の成立、ユーラシア規模の交通・交易の拡大を確認する。また、ポルトガルのアジア進出、明の建国と政治体制、人口分布の変化を取り上げ、東西の交流と世界の結び付きが強まっていく過程を理解する。	5/15（金）
3	ユーラシア諸帝国の繁栄と主権国家体制の形成について学ぶ。ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、清の成立と統治、東アジアの国際関係を確認する。また、宗教改革、イギリス革命、17 世紀の世界の変化を通して、ヨーロッパの国家体制や宗教・政治の変化、ユーラシア各地域の帝国の変容について考える。	5/29（金）
4	国民国家と近代社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容について学ぶ。アメリカ独立、ラテンアメリカ諸国の独立、フランス革命、ナポレオン帝政、ウィーン体制を確認する。また、オスマン帝国・エジプト・インド・東南アジア・清の変化、アヘン戦争、三角貿易、アメリカ合衆国の領土拡大を通して、近代世界の拡大と植民地化の進展を理解する。	6/12（金）
5	アジア・アフリカ諸国の統治再編、世界分割の進行、第一次世界大戦と国際秩序の再編について学ぶ。アフリカ分割、バルカン問題、清の体制転換、辛亥革命を確認する。また、第一次世界大戦の背景と展開、	6/26（金）

	総力戦、ヴェルサイユ体制、ワシントン体制を取り上げ、帝国主義と民族運動、戦争後の国際秩序の変化について考える。	
6	世界恐慌、第二次世界大戦、戦後の国際秩序、冷戦の世界化と終結について学ぶ。世界恐慌とニューディール、ファシズムの台頭、第二次世界大戦、アジア・太平洋戦争、戦後の東アジアを確認する。また、冷戦と国際制度、平和共存、脱植民地化、冷戦終結、経済のグローバル化を通して、現代世界の形成と課題を理解する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	世界史探究 2 の自宅学習を進めるために必要な、時代の流れと地域間のつながりを整理する方法を確認する。イスラーム世界、中世ヨーロッパ、宋・元、明、オスマン帝国、清などを取り上げ、王朝や国家の成立・発展・変容を年表や地図と関連付けて読み取る練習を行う。授業後の自宅学習では、重要語句だけでなく、背景や因果関係を確認しながら添削課題に取り組むことにつなげる。
2	近代から現代にかけての世界史を、革命、帝国主義、世界大戦、冷戦、脱植民地化、グローバル化などの観点から整理する。資料・地図・統計を用いて、歴史的事象の原因、結果、影響を読み取り、複数の地域の動きを比較しながら考察する練習を行う。授業後の自宅学習では、近現代の出来事を現代社会の課題と関連付け、自分の言葉で説明できるようにする。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。イスラーム世界の拡大、中世ヨーロッパ、宋・元・明、ユーラシア諸帝国、宗教改革、近代革命、帝国主義、世界大戦、戦後国際秩序、冷戦とその終結について、各地域の特色、相互の関係、歴史的事象の背景や影響を確認する。また、地図・年表・資料を読み取り、歴史の流れを説明する力についても出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、世界史探究 2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、世界の歴史の大きな流れや各地域の特色に関する基礎的な知識を理解し、資料や地図から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、歴史的事象の背景や因果関係を考察し、世界の諸地域のつながりや変化について、学習した内容を自分の言葉で分かりやすく説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、世界の歴史を現代社会との関わりの中で主体的に捉えようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、世界史探究 2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
公民	公共	単位数：２	井手
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．現代社会における自己形成、公共的な空間、民主政治、法、経済、国際社会の基本的な仕組みを理解できるようにする。

２．資料や事例をもとに、社会の課題について多面的・多角的に考察し、根拠を示して自分の考えを表現できるようにする。

３．社会の一員として、他者と協働しながらよりよい社会の形成に主体的に参画しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　公共 （公共 002-901）	副教材	プリント教材 e トレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	現代社会における青年期と自己形成、公共的な空間、三大世界宗教、功利主義と義務論、先哲の思想について学ぶ。青年期、アイデンティティ、シティズンシップ、仏教・キリスト教・イスラーム、ベンサム、J.S.ミル、ロールズ、ソクラテス、孔子、親鸞などの考え方を確認し、自己と社会のかかわりについて考察する。	4/24 （金）
2	民主主義、立憲主義、人権保障、日本国憲法、民主政治、地方自治、国会・内閣・裁判所、選挙、政党、利益集団、メディアと世論について学ぶ。日本国憲法の三大原理、権力分立、国民参加、地方自治、選挙制度、政治腐敗、フェイクニュースなどを通して、民主社会を支える仕組みを理解する。	5/15 （金）
3	法のはたらき、市民生活と法、契約、消費者保護、司法制度について学ぶ。社会規範、自然法と実定法、民法の基本原則、成年後見制度、製造物責任、消費者契約法、裁判官の独立、違憲審査、罪刑法定主義、司法取引、裁判員制度などを確認し、法が生活を支える仕組みを理解する。	5/29 （金）
4	現代の経済と市場、企業、金融、財政、社会保障制度について学ぶ。経済循環、株式会社、有限責任、独占禁止政策、GDP・GNI、市場経済と社会主義、金融の働き、日本銀行、税制、所得の再分配、生存権、公的扶助、公衆衛生、少子高齢化、NISA や iDeCo などを通して、経済生活と社会保障の課題を考察する。	6/12 （金）
5	労働、国際社会のルールと仕組み、国際社会と平和主義について学ぶ。多様な働き方、労働三権、外国人労働者、ワーク・ライフ・バランス、国際法、国連、安全保障理事会、国連専門機関、日本国憲法の平和主義、自衛隊、海外派遣、冷戦の終結などを確認し、平和と国際協力のあり方を考える。	6/26 （金）
6	国際平和への課題、グローバル化する国際経済、貿易、南北問題、ODA、気候危機について学ぶ。PKO、難民問題、積極的平和、外交三原則、保護貿易と自由貿易、比較生産費説、国際収支、IMF-GATT 体制、	7/10 （金）

	サミット、FTA、BRICS、南南問題、UNCTAD、OECD、UNDP などを確認し、持続可能な社会に向けた課題を考察する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	公共の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。青年期と自己形成、公共的な空間、先哲の思想、民主主義、立憲主義、日本国憲法、法のはたらきについて、教科書・資料・設問の読み取り方を確認し、用語を具体例と結び付けて理解する。
2	経済、労働、社会保障、国際社会、平和主義、国際経済の学習内容について、資料や身近な事例をもとに考察する方法を確認する。グラフや統計、文章資料から課題を読み取り、根拠を示して自分の考えを表現する練習を行い、その後の自宅学習への見通しをもつ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。青年期と自己形成、公共的な空間、先哲の思想、民主主義と立憲主義、日本国憲法、法、司法、経済、市場、金融、財政、社会保障、労働、国際社会、平和主義、国際経済、南北問題、持続可能な社会に関する基本事項を確認すること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、公共の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、現代社会の諸課題、民主政治、法、経済、国際社会、人権、公共的な空間における基本的な考え方について理解し、資料や統計、文章から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、現代社会の課題について、幸福、正義、公正などの視点から多面的・多角的に考察し、社会の一員としてどのように関わるべきかを自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、公共的な空間に生きる一員として、よりよい社会の形成に参画しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、公共の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
公民	政治・経済	単位数：２	瀬口
履修上の注意点			

指導目標

１．民主政治、日本国憲法、国会・内閣・裁判所、地方自治、選挙、現代経済、国際政治及び国際経済の基本的な仕組みを理解できるようにする。

２．統計資料、グラフ、文章資料、具体的な社会事例をもとに、現代の政治・経済の課題について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現できるようにする。

３．主権者、消費者、労働者、国際社会の一員として、社会の課題を自分事として捉え、よりよい社会の形成に主体的に参画しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　政治・経済 （政経 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）	1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	民主政治の基本原理、日本国憲法の制定と基本原理、基本的人権の保障について学ぶ。国家の三要素、主権国家、自然権、法の支配、立憲主義、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義、自衛隊、平等権、職業選択の自由、新しい人権などを確認し、憲法と現代社会の関係を考察する。	4/24 （金）
2	立法・行政・司法、地方自治、現代政治の特質と課題について学ぶ。国会、内閣、議院内閣制、裁判所、違憲審査、裁判員裁判、地方財政、住民自治、選挙制度、一票の格差、シルバー民主主義、政党支持なし層、メディアと世論などを確認し、民主政治の課題を考察する。	5/15 （金）
3	現代の資本主義経済、企業、市場、国民所得、金融、財政の仕組みについて学ぶ。資源の希少性、市場経済、計画経済、イノベーション、世界恐慌、株式会社、公共財、独占・寡占、GDP、経済成長率、金融政策、プライマリーバランスなどを確認し、現代経済のしくみを理解する。	5/29 （金）
4	日本経済の発展と現状、環境保全、消費者問題、労働問題、社会保障について学ぶ。高度経済成長、石油危機、経済のサービス化、バブル経済、世界金融危機、公害、環境基本法、食料自給率、消費者保護、労働基本権、非正規雇用、パワーハラスメント、社会保障制度などを確認する。	6/12 （金）
5	現代日本の課題と国際政治について学ぶ。中小企業、地域活性化、ジェンダー、子育て支援、国際法、国際司法裁判所、国際刑事裁判所、主権国家体制、冷戦、デタント、非同盟諸国、冷戦終結、核軍縮、人間の安全保障などを確認し、日本と国際社会の課題を考察する。	6/26 （金）
6	貿易、国際収支、国際経済体制、世界経済の現状と課題、国際社会の諸課題について学ぶ。為替レート、比較生産費説、保護貿易、WTO、EU、金融のグローバル化、フェアトレード、SDGs、多文化共生社会、ヘイ	7/10 （金）

	トスピーチ、資源・エネルギー問題などを確認し、持続可能な社会について考察する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	政治・経済の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。民主政治の基本原理、日本国憲法、基本的人権、国会・内閣・裁判所、地方自治、選挙制度について、用語と制度の関係を整理し、教科書・資料・設問の読み取り方を確認する。
2	経済と国際社会の学習内容について、統計資料やグラフ、具体的事例をもとに考察する方法を確認する。市場、企業、金融・財政、日本経済、労働、社会保障、国際政治・国際経済の課題を整理し、根拠を示して自分の考えを表現する練習を行い、その後の自宅学習への見通しをもつ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。民主政治の基本原理、日本国憲法、基本的人権、国会・内閣・裁判所、地方自治、選挙制度、現代の資本主義経済、企業、市場、金融、財政、日本経済、労働、社会保障、国際政治、国際経済、現代社会の諸課題に関する基本事項を確認すること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、政治・経済の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、民主政治、法、選挙、行政、経済活動、金融、財政、国際政治、国際経済などに関する基礎的な知識を理解し、統計資料や図表、文章資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、政治や経済に関する現代的な諸課題について、制度や仕組み、社会的背景、国際的なつながりを踏まえて多面的・多角的に考察し、自分の考えを根拠に基づいて分かりやすく説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、政治や経済の学習を通して、社会の一員として現代社会の課題に関心を持ち、よりよい社会の形成に参画しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、政治・経済の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
公民	倫理	単位数：２	橋本美
履修上の注意点			

指導目標

１．人間の特質、青年期の課題、宗教・思想、近現代の思想、日本人の精神風土及び現代社会の倫理的課題について理解できるようにする。

２．思想家の考え方や宗教・文化の特色を、資料や身近な事例と結び付けて多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現できるようにする。

３．自己、他者、自然、社会とのかかわりを見つめ、よりよく生きるための判断力と主体的に学ぶ態度を育てる。

教科書	東京書籍　倫理 （倫理 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金） 5 回　6/15（月）～6/26（金） 6 回　6/29（月）～7/10（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金） 5 回　6/26（金） 6 回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	人間の特質、青年期の課題、認知・感情と個性、発達、ギリシャ思想について学ぶ。理性、ホモ・サピエンス、アイデンティティ、モラトリアム、知覚・記憶・推論、感情、性格、発達段階を確認し、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、エピクロス、ゼノンなどの思想を通して、人間とはどのような存在かを考察する。	4/24（金）
2	ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想について学ぶ。唯一神信仰、イエスの教え、三位一体、イスラームの六信五行、ブッダの四諦・八正道、孔子・孟子・荀子・韓非子・朱子・王陽明・老荘思想を確認し、宗教や思想が人々の生き方や社会、芸術に与えた影響を考察する。	5/15（金）
3	近代と人間尊重の精神、近代思想の展開、人格の尊厳と人倫の思想、社会変革の思想、理性への疑念について学ぶ。ルネサンス、宗教改革、近代科学、経験論、合理論、社会契約説、カント、ヘーゲル、功利主義、マルクス、プラグマティズム、実存主義を確認し、人間の生き方と社会のあり方を考察する。	5/29（金）
4	現代の思想、他者と自然とのかかわり、日本人の精神風土について学ぶ。ハイデッガー、ヤスパース、サルトル、ソシュール、フーコー、ドゥルーズ、レヴィナス、ベンヤミン、フランクフルト学派、ハーバーマス、ロールズ、セン、ノージック、和辻哲郎の思想を確認し、他者・言語・自然との関わり方を考察する。	6/12（金）
5	仏教・儒教・国学・庶民の思想と日本人の思想形成、西洋思想と日本人の近代化について学ぶ。最澄、空海、法然、親鸞、道元、日蓮、朱子学、古学、国学、心学、洋学、福沢諭吉、新島襄、内村鑑三、夏目漱石、西田幾多郎、柳田国男などを確認し、日本人の生き方や社会の特徴を考察する。	6/26（金）
6	国際社会に生きる日本人の自覚、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和について学ぶ。	7/10

	生命倫理、出生前診断、尊厳死、QOL、環境倫理、情報社会、福祉社会、SDGs、多文化共生、平和の課題を確認し、現代社会をよりよくするために必要な考え方を考察する。	（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	倫理の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。人間の特質、青年期の課題、認知・感情・発達、ギリシャ思想、宗教思想について、教科書本文・資料・設問の読み取り方を確認し、思想家や宗教の用語を具体例と結び付けて理解する。
2	近代以降の思想、日本人の思想形成、生命・自然・科学技術・福祉・文化・平和に関する学習内容について、資料や身近な事例をもとに考察する方法を確認する。倫理的課題について根拠を示して自分の考えを表現する練習を行い、その後の自宅学習への見通しをもつ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。人間の特質、青年期、心理、ギリシャ思想、世界宗教、中国思想、近代思想、現代思想、日本人の思想形成、生命倫理、環境倫理、情報社会、福祉、文化、宗教、戦争と平和に関する基本事項を確認すること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、倫理の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、青年期の課題、先哲の思想、宗教、人生観、社会や文化に関する基礎的な知識を理解し、思想や倫理的課題に関する文章・資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、人間としての在り方生き方や現代社会の倫理的課題について、先哲の考え方や多様な価値観を踏まえて多面的・多角的に考察し、自分の考えを根拠に基づいて分かりやすく説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、自己の生き方や他者・社会との関わりについて考えを深めようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、倫理の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ⅰ-1	単位数：２	大津
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．数と式、方程式・不等式、2 次方程式、データの分析について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．文字式の表し方、展開・因数分解、平方根を含む式の計算、方程式・不等式の解き方を理解し、途中過程を示しながら正確に処理できるようにする。

３．データを表やグラフに整理し、代表値、四分位数、分散・標準偏差、相関を用いて資料の特徴を考察する力を育てる。

教科書	東京書籍　改訂版新数学Ⅰ （数Ⅰ002-905）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	文字を使った式、多項式と単項式、多項式の計算、指数法則、展開、乗法公式について学ぶ。文字式の表し方や同類項の整理を確認し、分配法則や指数法則を用いて多項式を計算する。乗法公式を利用して、式を正確に展開する力を身に付ける。	4/24（金）
2	因数分解、展開・因数分解の工夫と利用、平方根、根号を含む式の計算について学ぶ。共通因数をくくり出す方法や因数分解の公式を確認し、平方根の意味、根号の性質、素因数分解を利用した変形を理解する。	5/15（金）
3	根号を含む式の計算、分母の有理化、数の分類、分数と小数、1 次方程式、不等式について学ぶ。有理数・無理数・実数の関係を確認し、循環小数を分数で表す方法を学ぶ。方程式や不等式を用いて数量関係を表し、解を求める手順を身に付ける。	5/29（金）
4	不等式の解と解き方、問題場面を不等式で表す方法、2 次方程式とその解き方、2 次方程式の解の公式について学ぶ。不等式の性質を理解し、負の数をかける場合の不等号の向きに注意して解く。2 次方程式は平方根、因数分解、解の公式を使い分けて解く。	6/12（金）
5	データにもとづいた問題解決の進め方、度数分布表、ヒストグラム、代表値、四分位数、箱ひげ図について学ぶ。データを整理して特徴を読み取り、平均値・中央値・最頻値、範囲・四分位範囲を用いて資料の傾向や散らばりを考察する。	6/26（金）
6	分散と標準偏差、相関関係、散布図、データにもとづく考え方、相関係数について学ぶ。偏差、分散、標準偏差を用いてデータの散らばりを調べ、散布図や相関係数から 2 つの数量の関係を読み取る。データを根拠として判断する態度を身に付ける。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容

1	数学Ⅰ-1 の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な数と式の扱い方を確認する。文字式の表し方、多項式の計算、指数法則、展開、乗法公式、因数分解、平方根と根号を含む式の計算について、計算手順と途中式の書き方を整理し、その後の添削課題に取り組むための見通しをもつ。
2	方程式・不等式及びデータの分析に関する基礎を確認する。1 次方程式、不等式、2 次方程式の解き方を整理し、問題文から数量関係を式に表す方法を練習する。また、度数分布表、ヒストグラム、代表値、四分位数、箱ひげ図、分散・標準偏差、散布図、相関係数の読み取り方を確認し、データを根拠に考察する方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。文字式、多項式、展開、乗法公式、因数分解、平方根、根号を含む式の計算、数の分類、分数と小数、1 次方程式、不等式、2 次方程式、データの整理、代表値、四分位数、箱ひげ図、分散・標準偏差、散布図、相関係数に関する基本事項を確認すること。計算問題では途中式を書き、公式や用語の意味を確認しておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Ⅰ-1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、数と式、集合と命題、2 次関数などに関する基本的な概念や性質を理解し、式の計算、方程式・不等式の処理、グラフの読み取りや作成などの技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、数量や図形の関係を数学的に捉え、式やグラフを用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、数学Ⅰ-1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ⅰ-2	単位数：２	大津
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．関数、2 次関数、三角比、集合と命題について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．1 次関数・2 次関数のグラフ、最大値・最小値、2 次方程式・2 次不等式との関係を理解し、グラフを用いて考察できるようにする。

３．三角比、正弦定理、余弦定理を用いて図形の計量を行い、集合や命題の考え方を用いて論理的に判断し説明する力を育てる。

教科書	東京書籍　改訂版新数学Ⅰ （数Ⅰ002-905）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	関数、1 次関数とそのグラフ、2 次関数とそのグラフ、グラフの平行移動、$y=ax^2+bx+c$ のグラフについて学ぶ。関数の意味、座標、1 次関数の傾きと切片を確認し、2 次関数のグラフの軸・頂点・平行移動を理解してグラフをかく力を身に付ける。	4/24（金）
2	$y=ax^2+bx+c$ のグラフ、平方完成、2 次関数の最大値・最小値について学ぶ。2 次関数を頂点が分かる形に変形し、定義域の有無に応じて最大値・最小値を求める。文章題では、数量関係を 2 次関数で表し、グラフや頂点を利用して考察する。	5/15（金）
3	2 次関数のグラフと 2 次方程式、2 次不等式、三角形の相似、三平方の定理、タンジェント・サイン・コサイン、三角比の利用について学ぶ。グラフと x 軸の共有点、2 次不等式の解を確認し、直角三角形における三角比の意味と計量方法を理解する。	5/29（金）
4	三角比の利用、三角比の相互関係、90°-A の三角比、鈍角の三角比、鈍角の場合の三角比の相互関係について学ぶ。三角比の表を用いた長さや角度の求め方を確認し、鋭角・鈍角におけるサイン、コサイン、タンジェントの性質を整理する。	6/12（金）
5	三角形の面積、正弦定理、余弦定理、鈍角の三角比の利用について学ぶ。2 辺とその間の角から三角形の面積を求め、正弦定理・余弦定理を用いて辺の長さや角の大きさを求める。図形の計量に必要な式の選び方を身に付ける。	6/26（金）
6	集合、部分集合、補集合、共通部分、和集合、空集合、命題と集合、必要条件・十分条件、逆・対偶、命題の証明について学ぶ。集合の記号を用いて関係を表し、命題の真偽、反例、否定、対偶を理解して、論理的に説明する力を身に付ける。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	数学Ⅰ-2 の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な関数とグラフの考え方を確認する。関数、座標、1 次関数、2 次関数のグラフ、軸・頂点、平行移動、平方完成、最大値・最小値、2 次方程式・2 次不等式との関係について、グラフを用いた考え方と計算手順を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。
2	三角比及び集合・命題に関する基礎を確認する。直角三角形におけるサイン・コサイン・タンジェント、三角比の相互関係、鈍角の三角比、正弦定理、余弦定理の使い方を整理する。また、集合の記号、部分集合、補集合、共通部分、和集合、命題の真偽、必要条件・十分条件、逆・対偶を確認し、論理的に説明する方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。関数、1 次関数、2 次関数のグラフ、平方完成、最大値・最小値、2 次関数のグラフと 2 次方程式・2 次不等式、三角比、三角比の相互関係、正弦定理、余弦定理、集合、命題、必要条件・十分条件、逆・対偶、命題の証明に関する基本事項を確認すること。グラフや図形を用いる問題では、式の意味や途中過程を確認しておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Ⅰ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、図形と計量、データの分析などに関する基本的な概念や性質を理解し、三角比を用いた計算、図形の計量、データの整理・分析などの技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、図形や数量、データの関係を数学的に捉え、三角比や統計的な考え方を用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、数学Ⅰ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ⅱ-1	単位数：２	新開
履修上の注意点	数学Ⅰを履修していること。		

指導目標

１．式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．多項式・分数式・複素数・方程式の計算方法を理解し、等式・不等式の証明や座標平面上の図形の性質を考察できるようにする。

３．直線・円・領域・三角関数の考え方を用いて、数量や図形の関係を数学的に表現し、根拠を明確にして説明する力を育てる。

教科書	東京書籍　新数学Ⅱ （数Ⅱ717）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6回	面接指導	2単位時間

メディア視聴・減免の有無	☑　実施している　　□　実施していない

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1回　4/6（月）～4/24（金）	1回　4/24（金）
2回　4/27（月）～5/15（金）	2回　5/15（金）
3回　5/18（月）～5/29（金）	3回　5/29（金）
4回　6/1（月）～6/12（金）	4回　6/12（金）
5回　6/15（月）～6/26（金）	5回　6/26（金）
6回　6/29（月）～7/10（金）	6回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	3次の乗法公式と因数分解、二項定理、分数式のかけ算・わり算・たし算・ひき算、複素数と複素数の計算について学ぶ。式の展開・因数分解、パスカルの三角形、分数式の通分や約分、虚数単位を用いた計算方法を確認し、数学Ⅱの学習に必要な式計算の基礎を身に付ける。	4/24（金）
2	複素数の除法、2次方程式の解、解の判別、解と係数の関係、多項式のわり算、剰余の定理・因数定理について学ぶ。共役な複素数を用いた計算や2次方程式の解の性質を理解し、多項式を割る計算や因数分解を正確に行う力を身に付ける。	5/15（金）
3	高次方程式、等式の証明、不等式の証明、相加平均・相乗平均、直線上の点の座標について学ぶ。因数分解や因数定理を用いて高次方程式を解き、等式・不等式を根拠に基づいて証明する方法を理解する。また、内分点・外分点・中点の座標を求める。	5/29（金）
4	平面上の点の座標、2点間の距離、内分点・外分点・重心、直線の方程式、2直線の関係、円の方程式について学ぶ。座標平面上で点・直線・円を式で表し、平行・垂直、交点、円の中心や半径などを求める方法を身に付ける。	6/12（金）
5	円と直線、軌跡、不等式の表す領域、連立不等式の表す領域、一般角、三角関数、三角関数の相互関係について学ぶ。円と直線の共有点や個数を調べ、条件を満たす点の軌跡や領域を図示する。また、一般角と三角関数の値を理解する。	6/26（金）
6	三角関数のグラフ、三角関数の性質、加法定理、加法定理の応用、弧度法について学ぶ。正弦・余弦・正接のグラフと周期・値域を確認し、加法定理を用いた計算や、度数法と弧度法の変換、おうぎ形の弧の長さ・面積の求め方を身に付ける。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	数学Ⅱ-1 の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な式と証明、複素数と方程式の考え方を確認する。3 次の乗法公式、因数分解、二項定理、分数式、複素数の計算、2 次方程式の解の判別、解と係数の関係、多項式のわり算、剰余の定理・因数定理、高次方程式、等式・不等式の証明について、計算手順と証明の進め方を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。
2	図形と方程式及び三角関数に関する基礎を確認する。直線上・平面上の点の座標、内分点・外分点、中点、重心、直線の方程式、平行・垂直、円の方程式、円と直線、軌跡、領域の考え方を整理する。また、一般角、三角関数の値とグラフ、相互関係、加法定理、弧度法を確認し、式・グラフ・図を関連付けて考える方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。3 次の乗法公式と因数分解、二項定理、分数式、複素数、2 次方程式、解と係数の関係、多項式のわり算、剰余の定理・因数定理、高次方程式、等式・不等式の証明、直線上及び平面上の点の座標、直線・円の方程式、円と直線、軌跡、領域、一般角、三角関数、三角関数の相互関係、グラフ、加法定理、弧度法に関する基本事項を確認すること。計算問題では途中過程、図形問題では式と図の対応を確認しておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Ⅱ-1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式などに関する基本的な概念や性質を理解し、式の計算、方程式の処理、座標平面上の図形の表し方などの技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、数や式、図形の関係を数学的に捉え、方程式や座標を用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、数学Ⅱ-1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ⅱ-2	単位数：２	新開
履修上の注意点	数学Ⅱ-1 を履修していること。		

指導目標

１．指数関数・対数関数、微分法、積分法について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．指数や対数の性質を用いて式を処理し、指数関数・対数関数のグラフや大小関係を考察できるようにする。

３．平均変化率、微分係数、導関数、接線、増減、極値、最大・最小、不定積分、定積分、面積の考え方を理解し、関数の変化や図形の面積を数学的に考察する力を育てる。

教科書	東京書籍　新数学Ⅱ （数Ⅱ717）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	整数の指数、累乗根、分数の指数、指数関数とそのグラフについて学ぶ。指数法則を整数・分数の指数まで拡張して計算し、累乗根の意味を理解する。指数関数のグラフの通る点、漸近線、増加・減少の特徴を確認する。	4/24（金）
2	指数関数の利用、対数、対数の性質、対数関数とそのグラフについて学ぶ。指数を用いた大小比較や方程式を解き、対数の定義、真数、底の意味を理解する。対数の性質を利用して計算し、対数関数のグラフの特徴を整理する。	5/15（金）
3	対数関数とそのグラフ、常用対数、平均変化率、微分係数、導関数、導関数の計算について学ぶ。常用対数表を用いた値や桁数の求め方を確認し、平均変化率から微分係数、導関数へとつながる考え方を理解する。	5/29（金）
4	接線、関数の増加・減少、関数の極大・極小について学ぶ。導関数を用いて接線の傾きや接線の方程式を求め、増減表を作成する。導関数の符号の変化から関数の増加・減少、極大値・極小値を判断する力を身に付ける。	6/12（金）
5	関数の最大・最小、不定積分について学ぶ。増減表を利用して定義域における最大値・最小値を求め、文章題では数量関係を関数で表して考察する。不定積分の意味、原始関数、積分定数を理解し、基本的な不定積分を計算する。	6/26（金）
6	定積分と面積について学ぶ。定積分の定義、上端・下端、原始関数を用いた計算方法を確認する。曲線とｘ軸、直線で囲まれた図形の面積を定積分で求め、面積を求める際には符号に注意して処理する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容

1	数学Ⅱ-2 の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な指数関数・対数関数の考え方を確認する。整数の指数、累乗根、分数の指数、指数関数のグラフ、対数の定義、対数の性質、対数関数のグラフ、常用対数の利用について、計算手順とグラフの特徴を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。
2	微分法及び積分法に関する基礎を確認する。平均変化率、微分係数、導関数、導関数の計算、接線の方程式、増減表、極大・極小、最大・最小の求め方を整理する。また、不定積分、定積分、曲線と x 軸で囲まれた図形の面積の求め方を確認し、関数の変化や面積を数学的に説明する方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。整数の指数、累乗根、分数の指数、指数関数、対数、対数の性質、対数関数、常用対数、平均変化率、微分係数、導関数、接線、増減表、極大・極小、最大・最小、不定積分、定積分、面積に関する基本事項を確認すること。計算問題では途中式を書き、グラフや増減表、定積分の符号に注意しておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Ⅱ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分の考えなどに関する基本的な概念や性質を理解し、関数の値やグラフ、方程式・不等式、導関数や面積の計算などの技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、関数の変化や数量の関係を数学的に捉え、グラフや式を用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、数学Ⅱ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ⅲ-1	単位数：２	甲斐
履修上の注意点	数学Ⅱを履修していること。		

指導目標

１．分数関数・無理関数、逆関数・合成関数、数列や関数の極限、微分法について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．数列の極限、無限等比数列、無限級数、いろいろな関数の極限及び連続性について理解し、計算や証明に活用できるようにする。

３．導関数、積・商の微分法、合成関数の微分法、三角関数・指数関数・対数関数の導関数を用いて、関数の変化を数学的に考察し表現する力を養う。

教科書	東京書籍　数学Ⅲ standard （数Ⅲ702）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6回	面接指導	2単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1回　4/6（月）～4/24（金） 2回　4/27（月）～5/15（金） 3回　5/18（月）～5/29（金） 4回　6/1（月）～6/12（金） 5回　6/15（月）～6/26（金） 6回　6/29（月）～7/10（金）		1回　4/24（金） 2回　5/15（金） 3回　5/29（金） 4回　6/12（金） 5回　6/26（金） 6回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	分数関数とそのグラフ、無理関数とそのグラフ、逆関数と合成関数について学ぶ。分数関数の漸近線や共有点、不等式をグラフで考える方法を確認する。無理関数の定義域やグラフの特徴を整理し、逆関数・合成関数の求め方や逆関数をもつ条件について理解する。	4/24（金）
2	数列の極限と無限等比数列について学ぶ。数列の収束・発散を判定し、極限値を求める。無限等比数列の収束条件を確認し、点列が定点に近づくことを極限の考え方で説明する。	5/15（金）
3	無限級数といろいろな関数の極限について学ぶ。無限級数の収束・発散、無限等比級数の和、循環小数の分数表示を扱う。また、関数の極限値を求め、無限級数が発散することを証明する方法を確認する。	5/29（金）
4	いろいろな関数の極限と関数の連続性について学ぶ。三角関数や指数・対数を含む関数の極限を計算し、極限の性質を整理する。関数が連続となる条件を確認し、方程式が指定範囲に実数解をもつことを連続性を用いて説明する。	6/12（金）
5	導関数、積・商の微分法、合成関数の微分法、三角関数の導関数、対数関数・指数関数の導関数について学ぶ。基本的な微分公式を確認し、複雑な関数を適切な方法で微分できるようにする。	6/26（金）
6	対数関数・指数関数の導関数、対数微分法、高次導関数及び微分の復習について学ぶ。対数微分法を利用した微分や第2次・第3次導関数を扱い、これまでに学習した微分法を総合的に確認する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	数学Ⅲ-1の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な関数と極限の考え方を確認する。分数関数・無理関数のグ

	ラフ、逆関数・合成関数、数列の極限、無限等比数列、無限級数、いろいろな関数の極限、関数の連続性について、計算手順と考え方を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。
2	微分法に関する基礎を確認する。導関数、積・商の微分法、合成関数の微分法、三角関数の導関数、指数関数・対数関数の導関数、対数微分法、高次導関数について整理する。また、証明問題や復習問題を通して、関数を微分する手順と数学的に説明する方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。分数関数・無理関数とそのグラフ、逆関数・合成関数、数列の極限、無限等比数列、無限級数、いろいろな関数の極限、関数の連続性、導関数、積・商の微分法、合成関数の微分法、三角関数・指数関数・対数関数の導関数、対数微分法、高次導関数に関する基本事項を確認すること。計算問題では途中式を書き、グラフや証明問題では根拠を明確にして説明できるようにすること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Ⅲ-1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、極限、微分法などに関する基本的な概念や性質を理解し、数列や関数の極限、導関数の計算、接線や関数の増減などを求める技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、関数の変化や極限の考え方を数学的に捉え、微分法を用いて関数の性質を考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、数学Ⅲ-1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ⅲ-2	単位数：２	甲斐
履修上の注意点	数学Ⅲ-1 を履修していること。		

指導目標

１．接線・法線、関数の増減、極値、グラフの凹凸、変曲点、最大・最小について、微分法を用いて考察するための基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．方程式・不等式への応用、速度・加速度、近似式について理解し、微分法を具体的な問題の解決や数学的な証明に活用できるようにする。

３．不定積分、置換積分法、部分積分法、定積分、面積・体積・曲線の長さについて理解し、積分法を用いて図形や変化を数学的に考察し表現する力を養う。

教科書	東京書籍　数学Ⅲ standard （数Ⅲ702）	副教材	プリント教材 e トレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	接線の方程式、関数の増減について学ぶ。曲線上の点や曲線外の点から引いた接線、法線、楕円や媒介変数表示で表される曲線の接線を求める。また、平均値の定理を用いて関数の増減を調べ、極値を求める方法を確認する。	4/24（金）
2	第 2 次導関数とグラフ、最大・最小、方程式・不等式への応用について学ぶ。第 2 次導関数を用いてグラフの凹凸や変曲点を調べ、関数の概形をかく。さらに、関数の最大値・最小値を求め、不等式の証明や方程式の実数解の個数の判定に活用する。	5/15（金）
3	方程式・不等式への応用、速度・加速度、近似式、不定積分について学ぶ。平均値の定理を利用した不等式の証明、運動する点の速度・加速度、近似式の考え方を確認する。また、基本的な不定積分を計算する方法を身に付ける。	5/29（金）
4	置換積分法、部分積分法、いろいろな関数の不定積分について学ぶ。置換により積分しやすい形に変形する方法、部分積分法の使い方、三角関数・指数関数・対数関数などを含む不定積分の計算方法を確認する。	6/12（金）
5	定積分、定積分の置換積分法と部分積分法、定積分で表された関数、定積分と区分求積法、面積について学ぶ。定積分の計算方法を整理し、積分で表された関数の微分、区分求積法の考え方、曲線で囲まれた図形の面積の求め方を確認する。	6/26（金）
6	面積、体積、曲線の長さと道のり、積分とその応用の復習について学ぶ。楕円や放物線で囲まれた図形の面積、回転体の体積、媒介変数で表された曲線の長さを求める方法を確認し、積分法を総合的に活用する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	数学Ⅲ-2 の自宅学習を進めるために必要な微分法の応用を確認する。接線・法線の方程式、関数の増減、極値、グラフの凹凸、変曲点、最大・最小、方程式・不等式への応用、速度・加速度、近似式について、計算手順と考え方を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。
2	積分法とその応用に関する基礎を確認する。不定積分、置換積分法、部分積分法、定積分、定積分で表された関数、区分求積法、面積、体積、曲線の長さと道のりについて整理する。また、復習問題を通して、積分法を用いて図形や変化を数学的に説明する方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。接線の方程式、関数の増減、第 2 次導関数とグラフ、最大・最小、方程式・不等式への応用、速度・加速度、近似式、不定積分、置換積分法、部分積分法、定積分、定積分で表された関数、区分求積法、面積、体積、曲線の長さと道のりに関する基本事項を確認すること。計算問題では途中式を書き、グラフや証明問題では根拠を明確にして説明できるようにすること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Ⅲ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、積分法、複素数平面、曲線などに関する基本的な概念や性質を理解し、不定積分・定積分、面積や体積、複素数の表し方や図形的な意味、曲線の性質などを求める技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、関数や図形の性質を数学的に捉え、積分法や複素数平面、曲線の考え方を用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、数学Ⅲ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学 A	単位数：２	新開
履修上の注意点			

指導目標

１．場合の数と確率、図形の性質について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．集合、順列、組合せ、確率、期待値の考え方を用いて、起こり得る場合や事象を整理し、数学的に判断する力を育てる。

３．三角形や円、空間図形の性質、作図や証明の考え方を理解し、図形の関係を論理的に考察する力を育てる。

教科書	東京書籍　改訂版新数学 A （数 A　002-905）	副教材	プリント教材 e トレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	集合、集合の要素の個数、個数の数え方、和の法則と積の法則、順列及び順列の利用について学ぶ。集合を記号で表し、要素の個数を重なりに注意して数える。順序を考える場合の数について、樹形図や法則を用いて整理する。	4/24（金）
2	いろいろな順列、組合せ、組合せの利用、事象と確率、確率の計算について学ぶ。重複順列、円順列、組合せの意味を理解し、順序を考える場合と考えない場合を区別して数える。試行、事象、同様に確からしいことを理解し、基本的な確率を求める。	5/15（金）
3	確率の計算、排反事象の確率、余事象の確率、独立な試行の確率、反復試行の確率について学ぶ。事象の和、余事象、独立な試行の考え方を用いて、複数の事象が関わる確率を整理して求める。	5/29（金）
4	条件つき確率、期待値、直線と角、多角形の角について学ぶ。表を用いて条件つき確率を求め、確率と値をもとに期待値を考える。対頂角、同位角、錯角、多角形の内角・外角の性質を用いて角の大きさを求める。	6/12（金）
5	三角形の合同と相似、基本の作図、作図の利用、三角形と比、三角形の重心、外心、内心、角の二等分線と線分の比について学ぶ。合同条件・相似条件を確認し、作図や比の性質を用いて図形の関係を考察する。	6/26（金）
6	円の接線、円周角の定理、円に内接する四角形、接線と弦のつくる角、方べきの定理、2 つの円、直線や平面の位置関係、多面体について学ぶ。円や空間図形の性質を用いて角や長さを求め、図形の成り立ちを説明する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	数学 A の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な場合の数と確率の考え方を確認する。集合、要素の個数、和

	の法則・積の法則、順列、組合せ、確率の基本、排反事象、余事象、独立な試行、反復試行、条件つき確率、期待値について、考え方と計算手順を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。
2	図形の性質に関する基礎を確認する。直線と角、多角形の角、三角形の合同・相似、作図、三角形と比、重心・外心・内心、円の接線、円周角、円に内接する四角形、方べきの定理、空間における直線や平面の位置関係について、図を用いて関係を読み取り、理由を説明する方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。集合、場合の数、順列、組合せ、確率、排反事象、余事象、独立な試行、反復試行、条件つき確率、期待値、直線と角、多角形の角、三角形の合同・相似、作図、三角形と比、重心・外心・内心、円の性質、方べきの定理、空間図形に関する基本事項を確認すること。計算問題では場合の数の数え方や確率の分母・分子を明確にし、図形問題では根拠となる性質を確認しておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Aの目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動などに関する基本的な概念や性質を理解し、順列・組合せ、確率、図形の性質の活用などの技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、事象を数学的に捉え、場合の数や確率、図形の性質などを用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、数学Aの目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学 C	単位数：2	甲斐
履修上の注意点			

指導目標

１．ベクトル、2 次曲線、媒介変数表示、極座標、複素数平面について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．平面上及び空間のベクトルについて、成分、内積、位置ベクトル、ベクトル方程式を用いて図形の性質を考察する力を育てる。

３．放物線、楕円、双曲線、複素数平面上の図形を数式や図で表現し、条件に合う図形や関係を論理的に考察する力を育てる。

教科書	東京書籍　数学 C standard （数 C　702）	副教材	プリント教材 e トレ
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	平面上のベクトル、ベクトルの分解、ベクトルの成分について学ぶ。ベクトルの和・差・実数倍を図や式で表し、成分表示、大きさ、単位ベクトル、平行条件を確認する。平面上の点や図形をベクトルで表し、証明問題にも取り組む。	4/24（金）
2	ベクトルの内積、位置ベクトル、ベクトル方程式について学ぶ。内積の計算、なす角、垂直条件を理解し、線分の内分・外分、一直線上にある条件、直線や円のベクトル方程式を用いて図形を考察する。	5/15（金）
3	空間のベクトル、空間座標、空間のベクトルの内積、位置ベクトルと空間の図形について学ぶ。空間ベクトルの成分表示や大きさ、内積、垂直条件を確認し、平面や球の方程式、同一平面上にある条件を扱う。	5/29（金）
4	放物線、楕円、双曲線などの 2 次曲線について学ぶ。焦点、準線、頂点、平行移動、直線との共有点や接線、離心率の考え方を理解し、方程式から図形の特徴を読み取る。	6/12（金）
5	媒介変数表示、極座標と極方程式、複素数平面、複素数の極形式について学ぶ。曲線を媒介変数や極座標で表し、複素数を平面上の点として扱う。絶対値、偏角、極形式を用いて図形や複素数の関係を考察する。	6/26（金）
6	複素数の極形式、ド・モアブルの定理、複素数平面上の図形について学ぶ。複素数の積・商、回転や拡大縮小、方程式の解を極形式で扱い、複素数平面上の線分の内分・外分、円や直線などの図形を条件から判断する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	数学 C の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的なベクトルの考え方を確認する。平面上のベクトル、ベクトルの成分、内積、位置ベクトル、ベクトル方程式、空間ベクトルについて、用語の意味、図形との対応、計算手順を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。

2	2 次曲線及び複素数平面に関する基礎を確認する。放物線、楕円、双曲線、媒介変数表示、極座標、複素数平面、極形式、ド・モアブルの定理について、式と図の対応を確認し、条件から図形の性質を読み取る方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。平面上のベクトル、ベクトルの分解、ベクトルの成分、ベクトルの内積、位置ベクトル、ベクトル方程式、空間のベクトル、空間座標、空間の図形、放物線・楕円・双曲線などの 2 次曲線、媒介変数表示、極座標と極方程式、複素数平面、複素数の極形式、ド・モアブルの定理、複素数平面上の図形に関する基本事項を確認すること。計算問題では式変形と途中式を確認し、図形分野では条件と図の関係を整理しておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学 C の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面などに関する基本的な概念や性質を理解し、ベクトルの計算、図形の性質の把握、曲線や複素数の表現などの技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、図形や数量の関係を数学的に捉え、ベクトル、曲線、複素数平面などの考え方を用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、数学 C の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	数学Ｂ	単位数：２	甲斐
履修上の注意点			

指導目標

１．数列及び統計的な推測について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．等差数列、等比数列、記号 Σ、漸化式、数学的帰納法の考え方を理解し、数の規則性を見いだして表現・処理する力を育てる。

３．確率分布、二項分布、正規分布、母平均の推定及び仮説検定の考え方を理解し、データをもとに事象を考察し判断する力を育てる。

教科書	東京書籍　数学Ｂ standard （数Ｂ　702）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	２単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金） ４回　6/1（月）～6/12（金） ５回　6/15（月）～6/26（金） ６回　6/29（月）～7/10（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金） ４回　6/12（金） ５回　6/26（金） ６回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	数列、等差数列、等差数列の和について学ぶ。数列の項、初項、一般項、有限数列・無限数列の意味を確認し、等差数列の一般項や項数を求める。等差数列の和の公式を用いて、自然数の和や条件に合う項までの和を計算する。	4/24（金）
2	等比数列、等比数列の和、数列の和と記号 Σ について学ぶ。等比数列の初項、公比、一般項を理解し、等比数列の和を求める。記号 Σ の意味を確認し、和の公式を用いて数列の和を整理して計算する。	5/15（金）
3	いろいろな数列、漸化式、数学的帰納法について学ぶ。階差数列や初項から第 n 項までの和を用いて一般項を求める。漸化式で定められた数列の規則を読み取り、数学的帰納法による証明の基本的な流れを理解する。	5/29（金）
4	母集団と標本、確率分布、確率変数の平均と分散について学ぶ。全数調査と標本調査、復元抽出と非復元抽出、無作為抽出の意味を理解する。確率変数の分布、期待値、分散、標準偏差を表や計算式から求める。	6/12（金）
5	確率変数の平均と分散の性質、確率変数の和と積、二項分布、正規分布について学ぶ。確率変数を変換したときの平均・分散の変化を確認し、独立な確率変数の和や積を扱う。二項分布と正規分布の基本的な性質を理解する。	6/26（金）
6	正規分布、母平均の推定、仮説検定について学ぶ。標準正規分布を用いて確率を求め、正規分布による近似を理解する。標本平均を用いた母平均の信頼区間や、帰無仮説・対立仮説にもとづく仮説検定の基本を学ぶ。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容

1	数学Bの自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な数列の考え方を確認する。等差数列、等比数列、数列の和、記号 Σ、階差数列、漸化式、数学的帰納法について、用語の意味、公式の使い方、解答の手順を整理し、その後の添削課題に取り組む見通しをもつ。
2	統計的な推測に関する基礎を確認する。母集団と標本、確率変数、確率分布、平均、分散、標準偏差、二項分布、正規分布、標準化、母平均の推定、仮説検定について、表やグラフを読み取りながら、データにもとづいて判断する方法を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。数列、等差数列、等比数列、数列の和、記号 Σ、階差数列、漸化式、数学的帰納法、母集団と標本、確率分布、確率変数の平均・分散・標準偏差、確率変数の和と積、二項分布、正規分布、母平均の推定、仮説検定に関する基本事項を確認すること。計算問題では公式の使い方と途中式を確認し、統計分野では表や条件から必要な値を読み取る練習をしておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、数学Bの目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、数列、統計的な推測、数学と社会生活などに関する基本的な概念や性質を理解し、数列の一般項や和、漸化式、統計資料の読み取りや推測などの技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、数量の変化やデータの傾向を数学的に捉え、数列や統計的な考え方を用いて考察し、問題解決の過程や考え方を筋道立てて説明できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせながら、粘り強く問題解決に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、数学Bの目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
数学	Basic Program Ⅰ	単位数：２	甲斐
履修上の注意点			

指導目標

１．整数・小数・分数の四則計算、割合、比、速さ、図形の面積・体積など、基礎的・基本的な数学の知識及び技能を身に付ける。

２．文字式、式の値、方程式、連立方程式、比例式、平方根などについて、計算の手順を理解し、途中式を示しながら正確に処理できるようにする。

３．数量や図形を用いて身近な問題を考え、計算過程を振り返りながら、基礎学力の定着と自宅学習を継続する態度を育てる。

教科書	東京書籍　ラスパ数学	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6回	面接指導	2単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1回　4/6（月）～4/24（金）	1回　4/24（金）
2回　4/27（月）～5/15（金）	2回　5/15（金）
3回　5/18（月）～5/29（金）	3回　5/29（金）
4回　6/1（月）～6/12（金）	4回　6/12（金）
5回　6/15（月）～6/26（金）	5回　6/26（金）
6回　6/29（月）～7/10（金）	6回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	整数・小数の足し算、引き算、かけ算、わり算、角度、割合、2乗・3乗、面積・体積について学ぶ。正負の数を含む四則計算の順序を確認し、筆算や途中式を書いて正確に計算する力を身に付ける。割合を百分率で表す方法や、基本的な図形の面積・体積の求め方を確認する。	4/24（金）
2	分数の足し算・引き算・かけ算・わり算、比、時間の単位変換、速さ・道のり・時間の関係について学ぶ。通分や約分、分数の乗除の手順を確認し、比を簡単にする方法や、速さに関する基本公式を用いて数量を求める力を身に付ける。	5/15（金）
3	反比例、文字式の表し方、文字式の計算、式の値、方程式について学ぶ。数量の関係を文字で表し、同類項の整理、展開、代入による式の値の計算を確認する。一次方程式の解き方を身に付け、文章題では数量関係を式に表して考える。	5/29（金）
4	方程式の文章題、連立方程式、比例式、相似な図形の辺の長さ、平方根について学ぶ。文章から数量関係を読み取り、方程式や連立方程式を立てて解く力を養う。比例式を用いた比の計算、相似の利用、平方根の意味と基本的な計算を確認する。	6/12（金）
5	ラスパ1～16のまとめとして、正負の数の計算、角度、割合、百分率、2乗・3乗、面積・体積、分数、比、時間の単位変換、速さ・道のり・時間について復習する。基本問題を通して、計算手順や公式の使い方を確認し、基礎計算の定着を図る。	6/26（金）
6	ラスパ17～32のまとめとして、反比例、文字式、式の値、方程式、方程式の文章題、連立方程式、比例式、平方根について復習する。文字を用いた式の扱い方や、文章題を式にする考え方を確認し、既習内容を組み合わせて問題を解く力を身に付ける。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	Basic Program Ⅰの自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な計算方法を確認する。正負の数、小数、分数、割合、比、速さ、面積・体積について、計算の順序、途中式の書き方、単位の扱い方を確認し、添削課題に取り組む際の注意点を整理する。
2	文字式、式の値、方程式、連立方程式、比例式、平方根の基礎を確認する。文章題では、求める数量を文字で置き、数量関係を式に表して解く手順を練習する。自分の解答を見直し、計算ミスを減らすための確認方法を身に付け、その後の自宅学習への見通しをもつ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。正負の数、小数、分数、割合、比、速さ、面積・体積、反比例、文字式、式の値、方程式、連立方程式、比例式、相似、平方根に関する基本事項を確認すること。計算問題では途中式を書き、公式や計算手順を確認しておくこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、Basic Program Ⅰの目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、基礎的な学習内容や社会生活に必要な基本的な知識を理解し、学習課題に取り組むための基本的な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、学習した内容をもとに、自分の考えや生活上の課題について整理し、具体例を挙げながら分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、基礎的な学力や生活力を高めようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、Basic Program Ⅰの目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
理科	科学と人間生活	単位数：２	苑田
履修上の注意点			

指導目標

１．微生物とその利用、ヒトの生命現象、衣料と食品、材料とその再利用、光や熱の性質、自然景観と自然災害、太陽と地球について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．身近な自然現象や科学技術を、観察・実験・資料の読み取りを通して多面的に考察し、科学的な見方・考え方を働かせて理解する力を養う。

３．科学と日常生活・社会との関わりに関心をもち、環境や健康、安全、資源の利用について主体的に考える態度を育てる。

教科書	東京書籍　改訂科学と人間生活 （科人　002-901）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6回	面接指導	8単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1回　4/6（月）～4/24（金）	1回　4/24（金）
2回　4/27（月）～5/15（金）	2回　5/15（金）
3回　5/18（月）～5/29（金）	3回　5/29（金）
4回　6/1（月）～6/12（金）	4回　6/12（金）
5回　6/15（月）～6/26（金）	5回　6/26（金）
6回　6/29（月）～7/10（金）	6回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	生命の科学のうち、微生物とその利用について学ぶ。身のまわりの微生物、細菌・原生生物・アーキア・菌類の分類、発酵と腐敗、アルコール発酵・乳酸発酵、炭素や窒素の循環、下水処理やバイオレメディエーションなどを確認し、微生物が生活や環境に果たす役割を理解する。	4/24（金）
2	ヒトの生命現象について学ぶ。視覚のしくみ、眼球の構造、水晶体による調節、錯覚、血糖濃度の調節、インスリンとグルカゴン、糖尿病、DNAと遺伝子、転写・翻訳、免疫のしくみ、抗原抗体反応や予防接種について確認し、からだのはたらきを科学的に理解する。	5/15（金）
3	物質の科学のうち、衣料と食品について学ぶ。天然繊維と化学繊維、合成繊維・再生繊維・半合成繊維の特徴、油脂、セッケンの洗浄作用、デンプン、ヨウ素デンプン反応、栄養素や必須アミノ酸について確認し、衣料・食品と化学の関わりを理解する。	5/29（金）
4	材料とその再利用について学ぶ。金属の延性・展性・金属光沢、鉄の精錬、アルミニウム・鉄・銅の性質、プラスチック、高分子化合物、熱可塑性樹脂・熱硬化性樹脂、機能性プラスチック、付加重合・縮合重合、プラスチックの再生利用について確認し、材料の特徴と社会での利用を理解する。	6/12（金）
5	光や熱の科学について学ぶ。光の反射・屈折、スペクトル、分散、単色光、可視光線、偏光、電磁波、赤外線・紫外線・電波・X線の利用、熱伝導・対流・放射、熱容量、比熱、ジュール熱、熱機関と熱効率、ブラ	6/26（金）

	ウン運動、拡散、熱運動、絶対温度について確認し、光や熱の性質と生活での利用を理解する。	
6	宇宙や地球の科学について学ぶ。地震・活断層・マグマだまり・風化・侵食・運搬・堆積、砂防ダム、ハザードマップ、気象レーダー、プレートと海溝、月の満ち欠け、潮汐、高潮、太陽の光球・黒点・フレア、偏西風や温帯低気圧による天気の変化を確認し、自然景観と自然災害、太陽と地球の関係を理解する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	微生物の分類と大きさを確認する。細菌、原生生物、アーキア、菌類、ウイルスの違いを整理し、身近な微生物と生活との関わりを理解する。
2	微生物の利用を確認する。発酵と腐敗、アルコール発酵・乳酸発酵、食品づくり、炭素・窒素の循環、下水処理などについて、生活や環境とのつながりを考える。
3	ヒトの生命現象を確認する。眼の構造と視覚、血糖濃度を調節するホルモン、DNA からタンパク質がつくられる流れ、免疫と予防接種のしくみを整理する。
4	衣料と食品を確認する。天然繊維と化学繊維の特徴、油脂とセッケン、デンプン、栄養素や必須アミノ酸を整理し、日常生活の中での利用を理解する。
5	材料とその再利用を確認する。金属の性質、鉄の精錬、アルミニウム・鉄・銅の違い、プラスチックの種類、高分子化合物、リサイクルの方法を整理する。
6	光の性質と利用を確認する。反射・屈折・全反射・回折・干渉、光の三原色、電磁波の種類と利用、色の見え方について、具体例と結び付けて理解する。
7	熱の性質と利用を確認する。熱伝導・対流・放射、熱容量と比熱、ジュール熱、熱機関と熱効率、ブラウン運動や拡散、絶対温度を整理する。
8	自然景観と自然災害、太陽と地球を確認する。地震・火山・流水の作用、ハザードマップ、プレート、月の満ち欠け、潮汐、太陽活動、天気の変化を整理し、防災や生活との関わりを考える。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。微生物とその利用、ヒトの生命現象、衣料と食品、材料とその再利用、光や熱の性質、自然景観と自然災害、太陽と地球について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基礎的事項を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、科学と人間生活の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、光や熱、物質、生命、宇宙や地球など、自然と人間生活との関わりに関する基礎的な知識を理解し、観察・実験や資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、自然の事物・現象と人間生活との関係について科学的に考察し、身近な生活や社会とのつながりを踏まえて、自分の考えを分かりやすく説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、科学的な見方・考え方を働かせながら、自然や科学技術と人間生活との関わりについて関心を持ち、主体的に学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。 これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、科学と人間生活の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。
その他
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	生物基礎	単位数：２	中迫
履修上の注意点			

指導目標

１．生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、ヒトの体の調節、免疫のはたらき、植生と遷移、生態系と生物の多様性について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．生命現象や生態系のしくみについて、観察・実験や資料をもとに考察し、根拠をもって説明する力を養う。

３．身近な生命現象や自然環境への関心を高め、生物と環境、人間生活との関わりを主体的に理解しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍　改訂新編生物基礎 （生基　002-902）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	8 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	生物の特徴について学ぶ。真核細胞と原核細胞、細胞小器官、単細胞生物と多細胞生物、ATP、代謝、同化と異化、酵素、呼吸と光合成、ミトコンドリアと葉緑体の起源について確認し、生物に共通する基本的な構造とはたらきを理解する。	4/24（金）
2	遺伝子とそのはたらきについて学ぶ。遺伝、遺伝情報、DNA、ゲノム、相同染色体、ヌクレオチド、塩基の相補性、DNA の複製、転写、翻訳、セントラルドグマ、遺伝子の発現について確認し、遺伝情報が生命活動を支えるしくみを理解する。	5/15（金）
3	ヒトの体を調節するしくみについて学ぶ。体内環境、恒常性、血液・組織液・リンパ液、神経系、自律神経系、脳、内分泌腺、ホルモン、標的細胞、血糖濃度の調節、血液凝固、肝臓のはたらきを確認し、体内環境が維持されるしくみを理解する。	5/29（金）
4	免疫のはたらきについて学ぶ。自然免疫、食作用、抗原、抗体、B 細胞、T 細胞、体液性免疫、細胞性免疫、免疫記憶、二次応答、予防接種、アレルギー、自己免疫疾患、AIDS、mRNA ワクチンについて確認し、感染症から体を守るしくみを理解する。	6/12（金）
5	植生と遷移について学ぶ。植生、環境要因、生物的環境と非生物的環境、作用と環境形成作用、森林の階層構造、一次遷移、二次遷移、先駆種、陽樹・陰樹、極相、ギャップ、相観、バイオームについて確認し、植生が時間や環境条件に応じて変化することを理解する。	6/26（金）
6	生態系と生物の多様性について学ぶ。捕食・被食、食物連鎖、食物網、生産者・消費者・分解者、生物多様性、キーストーン種、撹乱、人為撹乱、復元力、絶滅、保全、環境アセスメント、生態系サービス、外来生物、SDGs について確認し、生態系と人間生活の関わりを理解する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	生物の共通性と細胞の構造を確認する。真核細胞、原核細胞、葉緑体、ミトコンドリア、単細胞生物、多細胞生物、組織と器官を整理する。
2	ATP と代謝、酵素のはたらきを確認する。ATP と ADP、同化と異化、呼吸と光合成、酵素の基質特異性、温度による影響を整理する。
3	遺伝子と DNA の基本を確認する。遺伝、遺伝情報、DNA、ゲノム、相同染色体、ヌクレオチド、塩基の相補性を整理する。
4	遺伝情報の発現を確認する。DNA の複製、転写、翻訳、mRNA、tRNA、セントラルドグマ、遺伝子の発現を整理する。
5	ヒトの体内環境の調節を確認する。恒常性、体液、神経系、自律神経系、内分泌系、ホルモン、血糖濃度の調節、肝臓のはたらきを整理する。
6	免疫のはたらきを確認する。自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、抗原抗体反応、免疫記憶、予防接種、アレルギー、自己免疫疾患、AIDS を整理する。
7	植生と遷移を確認する。環境要因、森林の階層構造、一次遷移、二次遷移、先駆種、陽樹・陰樹、極相、ギャップ、バイオームを整理する。
8	生態系と生物多様性を確認する。食物連鎖、食物網、生物多様性、キーストーン種、撹乱、保全、外来生物、生態系サービス、SDGs を整理する。
単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、ヒトの体の調節、免疫のはたらき、植生と遷移、生態系と生物の多様性について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基礎事項を中心に出題する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準
添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。 評価に当たっては、生物基礎の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。 「知識・技能」については、生物の特徴、細胞、遺伝子、体内環境の維持、免疫、生態系などに関する基礎的な知識を理解し、観察・実験や図表、資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。 「思考・判断・表現」については、生命現象や生物と環境との関わりについて、科学的な見方・考え方を働かせて考察し、根拠をもとに自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、身近な生命現象や環境の問題に関心を持ち、生命を尊重しながら学習しようとしているかを評価する。 定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。 これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、生物基礎の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。
その他
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	化学基礎	単位数：２	橋本正
履修上の注意点			

指導目標

１．物質の成分、構成元素、原子の構造、元素の周期表、化学結合、物質量、化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．物質の構成や変化を、粒子の構造、結合、物質量、化学反応式、酸塩基反応、酸化還元反応の考え方から理解し、観察・実験や計算を通して科学的に考察する力を育てる。

３．身近な物質や化学変化を化学的な視点で捉え、学習した知識を日常生活や社会と関連付けて説明しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　改訂新編化学基礎 （化基　002-902）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	物質の成分と構成元素について学ぶ。純物質と混合物、分離・精製、蒸留・分留・昇華法・クロマトグラフィー、単体と化合物、元素、同素体、炎色反応、沈殿反応、物質の三態と状態変化、物理変化と化学変化を確認し、物質を分類する基礎を理解する。	4/24（金）
2	原子の構造と元素の周期表について学ぶ。原子核、陽子、中性子、電子、原子番号、質量数、同位体、電子配置、価電子、周期表、族・周期、典型元素・遷移元素、金属元素・非金属元素、アルカリ金属、アルカリ土類金属、ハロゲン、貴ガスを確認し、元素の性質と周期律を理解する。	5/15（金）
3	化学結合について学ぶ。陽イオン・陰イオン、イオン化エネルギー、イオン結合、組成式、共有結合、分子、電子式、構造式、分子結晶、共有結合の結晶、金属結合、自由電子、金属結晶を確認し、粒子間の結びつきと物質の性質の関係を理解する。	5/29（金）
4	物質量と化学反応式について学ぶ。相対質量、原子量、分子量、式量、アボガドロ数、物質量、モル質量、気体の体積、質量パーセント濃度、モル濃度、溶解度、溶解度曲線、化学反応式の係数と量的関係を確認し、化学反応を定量的に扱う方法を理解する。	6/12（金）
5	酸と塩基について学ぶ。アレニウスの定義、ブレンステッド・ローリーの定義、強酸・弱酸、強塩基・弱塩基、電離度、水素イオン濃度、pH、中和反応、塩の性質、中和滴定、滴定器具、指示薬を確認し、酸塩基反応を定性的・定量的に理解する。	6/26（金）
6	酸化還元反応について学ぶ。酸化と還元、酸化数、酸化剤・還元剤、電子の授受、酸化還元反応式、金属のイオン化傾向、電池、電気分解、ファラデーの法則を確認し、電子の移動をもとに化学反応を理解する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	物質の分類と分離・精製を確認する。純物質と混合物、単体と化合物、分離方法の違いを整理し、実験器具や操作の目的を理解する。
2	構成元素と物質の三態を確認する。元素・単体・同素体、炎色反応や沈殿反応、状態変化の名称と物理変化・化学変化の違いを学ぶ。
3	原子の構造を確認する。原子核、陽子、中性子、電子、原子番号、質量数、同位体、電子配置、価電子の考え方を整理する。
4	元素の周期表を確認する。周期・族、典型元素・遷移元素、金属元素・非金属元素、アルカリ金属、アルカリ土類金属、ハロゲン、貴ガスの特徴を学ぶ。
5	化学結合を確認する。イオン結合、共有結合、分子の電子式・構造式、分子結晶、共有結合の結晶、金属結合と自由電子の考え方を学ぶ。
6	物質量と化学反応式を確認する。原子量・分子量・式量、物質量、アボガドロ数、気体の体積、濃度、化学反応式の係数を用いた量的関係を学ぶ。
7	酸と塩基を確認する。酸・塩基の定義、強弱、電離度、pH、中和反応、塩の性質、中和滴定、指示薬の選び方を学ぶ。
8	酸化還元反応を確認する。酸化数、酸化剤・還元剤、金属のイオン化傾向、電池、電気分解、ファラデーの法則による計算の基礎を学ぶ。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。物質の成分と構成元素、原子の構造と元素の周期表、化学結合、物質量と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基本事項、計算方法、化学用語、化学反応式、実験・観察に関する内容を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、化学基礎の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、物質の構成、原子の構造、化学結合、物質量、化学反応式、酸・塩基、酸化還元などに関する基礎的な知識を理解し、化学式や化学反応式、計算、観察・実験や資料の読み取りに必要な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、物質の性質や化学変化について、原子・分子・イオンなどの視点から科学的に考察し、化学反応や量的関係について、根拠をもとに自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、身近な物質や化学変化に関心を持ち、科学的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、化学基礎の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	物理基礎	単位数：２	橋本正
履修上の注意点			

指導目標

１．物体の運動とエネルギー、熱、波、電気、エネルギーとその利用について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．身近な物理現象を、式やグラフ、実験結果をもとに考察し、科学的に説明する力を養う。

３．物理の学習内容を日常生活や社会で利用される技術と結び付け、主体的に学習に取り組む態度を養う。

教科書	東京書籍　改訂新編物理基礎 （物基　002-902）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	8 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	直線運動の世界について学ぶ。ベクトル、相対速度、加速度、等加速度直線運動、自由落下、投げ上げ運動、x－t グラフ・v－t グラフについて確認し、物体の運動を式やグラフで表す力を身に付ける。	4/24（金）
2	力と運動の法則について学ぶ。力の 3 要素、弾性力、フックの法則、慣性、運動方程式、重力、力の合成と分解、摩擦力、浮力、作用・反作用の法則について確認し、物体にはたらく力と運動の関係を理解する。	5/15（金）
3	力学的エネルギーについて学ぶ。仕事、仕事率、運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギー、力学的エネルギー保存の法則、仕事の原理について確認し、エネルギーの変化を数量的に考える力を身に付ける。	5/29（金）
4	熱について学ぶ。セルシウス温度、絶対温度、熱運動、熱平衡、熱容量、比熱容量、物質の三態、潜熱、熱量の保存、内部エネルギー、熱力学第 1 法則、不可逆変化、熱機関の熱効率について確認し、熱とエネルギーの関係を理解する。	6/12（金）
5	波について学ぶ。媒質、波長、周期、振動数、波の速さ、横波と縦波、重ね合わせの原理、定常波、反射、音の 3 要素、音速、うなり、弦や気柱の固有振動について確認し、波や音の性質を理解する。	6/26（金）
6	電気とエネルギーの利用について学ぶ。オームの法則、電気抵抗、電力量、ジュール熱、直列・並列接続、導体・不導体・半導体、直流と交流、変圧器、電磁誘導、放射線、再生可能エネルギーについて確認し、電気とエネルギー利用の基礎を理解する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	直線運動の基礎を確認する。ベクトル、速さと速度、相対速度、加速度、等加速度直線運動について、式とグラフを用

	いて整理する。
2	落下運動と投げ上げ運動を確認する。自由落下、鉛直投げ下ろし、鉛直投げ上げ、放物運動について、重力加速度との関係を整理する。
3	力と運動の法則を確認する。力の 3 要素、力の合成・分解、弾性力、フックの法則、慣性、運動方程式、作用・反作用の法則を整理する。
4	摩擦力・浮力と力学的エネルギーを確認する。静止摩擦力、動摩擦力、浮力、仕事、仕事率、運動エネルギー、位置エネルギーを整理する。
5	力学的エネルギー保存と熱を確認する。力学的エネルギー保存の法則、仕事の原理、熱容量、比熱容量、熱量の保存、物質の三態、潜熱を整理する。
6	熱力学と波の基礎を確認する。熱運動、内部エネルギー、熱力学第 1 法則、不可逆変化、波長、周期、振動数、波の速さ、重ね合わせの原理を整理する。
7	音と定常波を確認する。音の 3 要素、音速、うなり、反射、定常波、弦の固有振動、気柱の共鳴について整理する。
8	電気とエネルギー利用を確認する。オームの法則、電気抵抗、電力量、ジュール熱、直流と交流、電磁誘導、放射線、エネルギー資源の利用を整理する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。直線運動、力と運動の法則、力学的エネルギー、熱、波、電気、エネルギーとその利用について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基礎事項を中心に確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、物理基礎の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、運動の表し方、力と運動、エネルギー、波、電気などに関する基礎的な知識を理解し、公式を用いた計算や、図表・グラフ・観察実験の結果から必要な情報を読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、身近な物理現象について、力やエネルギー、波、電気などの視点から科学的に考察し、現象の仕組みや規則性を根拠に基づいて説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、身近な自然現象や科学技術に関心を持ち、物理的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、物理基礎の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	物理１	単位数：２	橋本正
履修上の注意点	物理基礎を履修していること。		

指導目標

１．平面内の運動、剛体のつり合い、運動量、円運動、単振動、万有引力、気体分子の運動、波、音、光について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．物体の運動や波・光の現象を、公式や図、グラフを用いて考察し、数量的・科学的に説明する力を養う。

３．身近な物理現象に関心をもち、学習内容を日常生活や自然現象と結び付けながら、主体的に学習に取り組む態度を養う。

教科書	東京書籍　物理 （物理　701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6 回	面接指導	8 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	平面内の運動と剛体のつり合いについて学ぶ。ベクトル、位置ベクトル、変位、平均の加速度・瞬間の加速度、速度の合成と分解、水平投射・斜方投射、相対速度、力のつり合い、力のモーメント、偶力、重心について確認し、物体の運動や剛体のつり合いを式と図で考える力を身に付ける。	4/24（金）
2	運動量と円運動について学ぶ。力積、運動量、撃力、弾性衝突・非弾性衝突、反発係数、運動量保存の法則、力学的エネルギーの変化、等速円運動、周期、回転数、角速度、向心力、遠心力について確認し、衝突や円運動を数量的に扱う力を身に付ける。	5/15（金）
3	単振動と万有引力について学ぶ。単振動の変位・速度・加速度、振幅、角振動数、周期、復元力、ばね振り子、単振り子、単振動のエネルギー、万有引力、ケプラーの法則、第１宇宙速度・第２宇宙速度について確認し、周期運動や天体の運動を理解する。	5/29（金）
4	気体分子の運動について学ぶ。ボイルの法則、シャルルの法則、理想気体、気体分子の熱運動、圧力と分子運動、熱力学第１法則、等温変化・断熱変化・定積変化・定圧変化、モル熱容量、熱効率、熱力学第２法則、エントロピーについて確認し、気体と熱の性質を理解する。	6/12（金）
5	波の伝わり方と音について学ぶ。正弦波、振幅、周期、波長、波面、射線、回折、屈折、ホイヘンスの原理、干渉、クインケ管、音の反射・屈折・回折・干渉、ドップラー効果について確認し、波や音の性質を式と現象の両面から理解する。	6/26（金）
6	光について学ぶ。可視光線、発光体、光の直進、反射、屈折、相対屈折率、絶対屈折率、臨界角、全反射、分散、スペクトル、偏光、散乱、複スリットによる干渉、薄膜の干渉、凸レンズ・凹レンズ・凹面鏡による像について確認し、光の波としての性質を理解する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	平面内の運動の基礎を確認する。ベクトル、位置ベクトル、変位、平均の速度・加速度、速度の合成と分解、相対速度について、図を用いて整理する。
2	投射運動と剛体のつり合いを確認する。水平投射・斜方投射、力のつり合い、力のモーメント、偶力、重心について、具体例と計算問題を通して整理する。
3	運動量と衝突を確認する。力積、運動量、撃力、運動量保存の法則、反発係数、弾性衝突・非弾性衝突、力学的エネルギーの変化を整理する。
4	円運動と単振動を確認する。等速円運動の周期・回転数・角速度・向心力、遠心力、単振動の変位・速度・加速度、復元力、ばね振り子・単振り子を整理する。
5	万有引力と気体分子の運動を確認する。ケプラーの法則、万有引力、宇宙速度、ボイル・シャルルの法則、理想気体、気体分子の熱運動と圧力を整理する。
6	熱力学と気体の状態変化を確認する。熱力学第1法則、等温変化・断熱変化・定積変化・定圧変化、モル熱容量、熱効率、熱力学第2法則、エントロピーを整理する。
7	波の伝わり方と音を確認する。正弦波、波長、周期、波面、回折、屈折、ホイヘンスの原理、干渉、音の性質、クインケ管、ドップラー効果を整理する。
8	光の性質を確認する。可視光線、反射・屈折・全反射、分散、スペクトル、偏光、散乱、複スリット・薄膜の干渉、レンズと鏡による像を整理する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。平面内の運動、剛体のつり合い、運動量、円運動、単振動、万有引力、気体分子の運動、波の伝わり方、音、光について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基礎的事項を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、物理1の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、力学、熱、波などに関する基本的な概念や法則を理解し、公式を用いた計算、グラフや図表の読み取り、観察・実験の結果を整理する技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、物体の運動や力のはたらき、熱や波の性質について、物理的な見方・考え方を働かせて考察し、現象の仕組みや規則性を根拠に基づいて説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、身近な自然現象や科学技術に関心を持ち、物理的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、物理1の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	物理２	単位数：２	橋本正
履修上の注意点	物理１を履修していること。		

指導目標

１．電場と電位、電流、電流と磁場、電磁誘導と電磁波、電子と光、原子と原子核について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．電気・磁気・原子に関する現象を、式や図、グラフを用いて考察し、数量的・科学的に説明する力を養う。

３．身近な電気機器や通信、医療、エネルギー利用などと物理の学習内容を結び付け、主体的に探究する態度を養う。

教科書	東京書籍　物理 （物理　701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	電場と電位について学ぶ。原子の構造、電気素量、クーロンの法則、電気力線、ガウスの法則、電位差、等電位面、コンデンサー、静電エネルギーについて理解する。	4/24（金）
2	電流について学ぶ。非直線抵抗、ジュール熱、自由電子、抵抗率、起電力と電位降下、キルヒホッフの法則、電流計・検流計、半導体、ダイオードの整流作用について理解する。	5/15（金）
3	電流と磁場について学ぶ。磁気量、磁場、磁力線、強磁性体・常磁性体・反磁性体、電流がつくる磁場、ソレノイド、導線にはたらく力、ローレンツ力、サイクロトロン運動について理解する。	5/29（金）
4	電磁誘導と電磁波について学ぶ。レンツの法則、ファラデーの電磁誘導の法則、渦電流、自己誘導、自己インダクタンス、交流回路、RLC 直列回路、共振、電磁波について理解する。	6/12（金）
5	電子と光について学ぶ。真空放電、陰極線、電子、比電荷、電気素量、光電効果、光電子、光子、プランク定数、X 線、コンプトン効果、量子力学の考え方について理解する。	6/26（金）
6	原子と原子核について学ぶ。水素原子の線スペクトル、エネルギー準位、陽子・中性子、核子、核力、同位体、放射性崩壊、放射能、半減期、核反応、質量欠損、結合エネルギー、素粒子について理解する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	電場と電位の基礎を確認する。電荷、電気素量、クーロンの法則、電場、電気力線について、図や式を用いて整理する。
2	電位とコンデンサーを確認する。電位差、等電位面、静電誘導、箔検電器、コンデンサーの合成容量、電気量、静電エネルギーについて整理する。
3	電流と直流回路を確認する。抵抗、ジュール熱、抵抗率、電池の起電力と内部抵抗、キルヒホッフの法則、電流計・検

	流計の扱いについて整理する。
4	半導体と磁場の基礎を確認する。n 型半導体、p 型半導体、ダイオードの整流作用、磁場、磁力線、電流がつくる磁場について整理する。
5	電流が磁場から受ける力を確認する。ソレノイド、平行電流間の力、ローレンツ力、荷電粒子の円運動について、向きと大きさを整理する。
6	電磁誘導と交流を確認する。レンツの法則、ファラデーの法則、自己誘導、交流の実効値、リアクタンス、RLC 直列回路、共振について整理する。
7	電子と光を確認する。真空放電、陰極線、光電効果、光子、X 線、コンプトン効果、電子の波動性について整理する。
8	原子と原子核を確認する。線スペクトル、エネルギー準位、放射性崩壊、半減期、核反応、質量欠損、結合エネルギー、素粒子を整理する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。電場と電位、電流、電流と磁場、電磁誘導と電磁波、電子と光、原子と原子核について、基本事項、計算、図やグラフの読み取りを確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、物理 2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、電気と磁気、原子、電子、光、放射線などに関する基本的な概念や法則を理解し、公式を用いた計算、グラフや図表の読み取り、観察・実験の結果を整理する技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、電気・磁気・原子に関する現象について、物理的な見方・考え方を働かせて考察し、現象の仕組みや規則性を根拠に基づいて説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、身近な自然現象や科学技術に関心を持ち、物理的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、物理 2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	化学１	単位数：２	橋本正
履修上の注意点	化学基礎を履修していること。		

指導目標

１．物質の状態、溶液の性質、結晶構造、化学反応と熱・光、電池と電気分解、反応速度及び化学平衡について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．化学現象を粒子の構造、エネルギー変化、反応速度、平衡の考え方から理解し、観察・実験や計算を通して科学的に考察する力を育てる。

３．気体・溶液・結晶・電池・電気分解・水溶液中の平衡などの学習を通して、身近な物質や化学反応を化学的な視点で説明しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　化学 Vol.1 理論編 （化学 701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	物質の状態と気体の性質について学ぶ。物質の三態、分子間力、加熱曲線、融点・沸点、気液平衡、飽和蒸気圧、状態図、ボイル・シャルルの法則、理想気体の状態方程式、混合気体の分圧を確認し、状態変化や気体の量的関係を理解する。	4/24（金）
2	溶液の性質と固体の構造について学ぶ。溶解平衡、溶解度、質量パーセント濃度、モル濃度、質量モル濃度、ヘンリーの法則、蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、コロイドの性質を扱い、溶液中の粒子のふるまいを理解する。	5/15（金）
3	結晶構造と化学反応の熱・光について学ぶ。金属結晶、イオン結晶、共有結合の結晶、分子結晶、単位格子、配位数、充填率、反応エンタルピー、ヘスの法則、生成エンタルピー、結合エンタルピー、格子エンタルピーを確認し、物質の構造とエネルギー変化の関係を理解する。	5/29（金）
4	電池と電気分解について学ぶ。ダニエル電池、鉛蓄電池、一次電池・二次電池、燃料電池、電気分解、電極反応、ファラデーの法則、イオン交換膜法、電解精錬、溶融塩電解を扱い、酸化還元反応と電気エネルギーの関係を理解する。	6/12（金）
5	化学反応の速さと化学平衡について学ぶ。反応速度、反応速度式、反応速度定数、触媒、活性化エネルギー、化学平衡、平衡定数、圧平衡定数、ルシャトリエの原理を確認し、濃度・圧力・温度の変化が反応の進行や平衡移動に与える影響を理解する。	6/26（金）
6	水溶液中の化学平衡について学ぶ。強電解質・弱電解質、電離平衡、電離定数、水のイオン積、pH、塩の加水分解、緩衝作用、緩衝液、溶解度積、共通イオン効果を扱い、水溶液の性質や沈殿生成を定量的に考	7/10（金）

	察する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	物質の三態と状態変化、分子間力、融解熱・蒸発熱の基礎を確認する。加熱曲線や状態図を読み取り、物質の状態が温度・圧力によってどのように変化するかを学ぶ。
2	気体の性質を確認する。ボイル・シャルルの法則、理想気体の状態方程式、混合気体の分圧を用いて、気体の体積・圧力・温度・物質量の関係を計算する方法を学ぶ。
3	溶液の性質を確認する。溶解度、各種濃度、ヘンリーの法則、蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧について、溶質粒子の数との関係を学ぶ。
4	コロイドと結晶構造を確認する。チンダル現象、ブラウン運動、電気泳動、凝析・塩析、金属結晶・イオン結晶・共有結合の結晶・分子結晶の特徴、単位格子や配位数の考え方を学ぶ。
5	化学反応と熱・光を確認する。反応エンタルピー、生成エンタルピー、結合エンタルピー、格子エンタルピー、ヘスの法則を用いて、反応に伴うエネルギー変化の考え方を学ぶ。
6	電池と電気分解を確認する。酸化還元反応、ダニエル電池、蓄電池、燃料電池、電極反応、電気分解、ファラデーの法則による計算方法を学ぶ。
7	化学反応の速さと化学平衡を確認する。反応速度式、触媒、活性化エネルギー、平衡定数、圧平衡定数、ルシャトリエの原理を用いて、反応条件と平衡移動の関係を学ぶ。
8	水溶液中の化学平衡を確認する。電離平衡、水のイオン積、pH、塩の加水分解、緩衝液、溶解度積、共通イオン効果について、計算と説明の基礎を学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。物質の状態、気体の性質、溶液の性質、固体の構造、化学反応と熱・光、電池と電気分解、化学反応の速さと化学平衡、水溶液中の化学平衡について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基本事項、計算方法、化学用語、反応式、実験・観察に関する内容を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、化学 1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、物質の状態、気体・液体・固体の性質、溶液、化学反応と熱、反応速度、化学平衡などに関する基本的な概念や法則を理解し、化学式・反応式・計算・グラフ・図表を適切に扱う技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、物質の性質や化学変化について、粒子の状態や量的関係、エネルギーの出入り、反応の進み方などの視点から科学的に考察し、根拠に基づいて説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、身近な物質や化学現象に関心を持ち、化学的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、化学 1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	化学２	単位数：２	橋本正
履修上の注意点	化学１を履修していること。		

指導目標

１．無機物質、有機化合物、天然高分子化合物及び合成高分子化合物について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．物質の構造、性質、反応を化学式・構造式・反応式と関連付けて理解し、実験結果や資料をもとに化学的に考察する力を養う。

３．化学が日常生活、産業、環境と深く関わっていることを理解し、科学的な見方・考え方を活用して主体的に学習に取り組む態度を育てる。

教科書	東京書籍　化学 Vol.2 物質編 （化学　702）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	非金属元素と典型元素の化合物について学ぶ。ハロゲン、酸素・硫黄、窒素・リン、炭素・ケイ素、アルカリ金属、アルカリ土類金属の性質、製法、反応、気体の発生・捕集法、工業的製法を確認し、無機物質の特徴を理解する。	4/24（金）
2	金属元素と遷移元素、錯イオン及び陽イオンの分離について学ぶ。アルミニウムなどの両性金属、鉄・銅・銀・クロムなどの性質、沈殿反応、錯イオンの形成、炎色反応、系統分離の操作を確認し、金属イオンの性質を理解する。	5/15（金）
3	有機化合物の分類と炭化水素、アルコール、アルデヒド・ケトンについて学ぶ。官能基、異性体、アルカン・アルケン・アルキンの反応、付加反応、酸化反応、銀鏡反応、フェーリング反応、ヨードホルム反応を確認し、有機化合物の構造と性質を理解する。	5/29（金）
4	カルボン酸、エステル、油脂、セッケン及び芳香族化合物について学ぶ。カルボキシ基、エステル化、けん化、油脂の性質、界面活性剤、ベンゼン、フェノール類、置換反応、付加反応を扱い、官能基と反応性の関係を理解する。	6/12（金）
5	芳香族カルボン酸、芳香族アミン、高分子化合物、糖類及び多糖類について学ぶ。安息香酸、サリチル酸、アニリン、抽出による分離、高分子の構造、単糖・二糖・多糖の性質、加水分解、呈色反応を確認し、有機化合物と生体関連物質の特徴を理解する。	6/26（金）
6	アミノ酸、タンパク質、合成高分子化合物及びイオン交換樹脂について学ぶ。アミノ酸の構造、等電点、ペプチド結合、タンパク質の立体構造と呈色反応、合成繊維、合成樹脂、ゴム、イオン交換樹脂を	7/10（金）

	確認し、高分子材料の性質と利用を理解する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	ハロゲン、硫黄、窒素、リン、炭素・ケイ素などの非金属元素の性質を確認する。代表的な単体・化合物の製法、反応式、気体の発生と捕集法を整理し、無機物質の特徴を学ぶ。
2	アルカリ金属、アルカリ土類金属、アルミニウム、遷移元素の性質を確認する。両性金属、錯イオン、沈殿反応、金属イオンの色や反応の特徴を学ぶ。
3	陽イオンの系統分離を確認する。希塩酸、硫化水素、アンモニア水、炭酸アンモニウム水溶液などを用いた分離操作と、沈殿の色・化学式を関連付けて学ぶ。
4	有機化合物の分類、官能基、異性体、炭化水素の性質を確認する。アルカン、アルケン、アルキンの反応、付加反応、置換反応、マルコフニコフ則などの基本を学ぶ。
5	アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステルの性質を確認する。酸化反応、銀鏡反応、フェーリング反応、ヨードホルム反応、エステル化・加水分解を学ぶ。
6	芳香族化合物、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族アミンの性質を確認する。置換反応、呈色反応、ジアゾ化、カップリング、抽出による分離の考え方を学ぶ。
7	糖類、アミノ酸、タンパク質の性質を確認する。単糖・二糖・多糖の構造と反応、アミノ酸の双性イオン、等電点、ペプチド結合、タンパク質の呈色反応を学ぶ。
8	合成高分子化合物と高分子材料を確認する。合成繊維、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、イオン交換樹脂について、構造・反応・利用を関連付けて学ぶ。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。無機物質、有機化合物、天然高分子化合物、合成高分子化合物について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基本事項、反応式、構造式、計算、実験操作及び物質の性質を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、化学2の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、無機物質、有機化合物、高分子化合物などに関する基本的な概念や性質を理解し、化学式・構造式・反応式・図表・資料を適切に読み取り、化学的に扱う技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、物質の構造や性質、反応の特徴について、粒子や結合、官能基、物質の利用などの視点から科学的に考察し、根拠に基づいて説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、身近な物質や化学技術に関心を持ち、化学的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、化学2の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	生物１	単位数：２	中迫
履修上の注意点	生物基礎を履修していること。		

指導目標

１．生物の進化、遺伝子の変化と進化のしくみ、生物の系統と分類、細胞と物質、代謝とエネルギー、遺伝情報の発現について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．生命現象を、遺伝子・細胞・代謝・進化の視点から考察し、資料や図表を読み取りながら、科学的に説明する力を養う。

３．生物の共通性と多様性、生命現象と物質の関係、遺伝情報のしくみについて関心をもち、主体的に学習に取り組む態度を養う。

教科書	東京書籍　生物 （生物　701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金） ４回　6/1（月）～6/12（金） ５回　6/15（月）～6/26（金） ６回　6/29（月）～7/10（金）	 １回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金） ４回　6/12（金） ５回　6/26（金） ６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	生物の進化について学ぶ。生物の共通性と多様性、生命の誕生、化学進化、原始地球の環境、シアノバクテリアによる酸素濃度の上昇、真核生物や多細胞生物の出現、突然変異と変異について確認し、生物が長い時間をかけて変化してきた過程を理解する。	4/24（金）
2	遺伝子の変化と進化のしくみについて学ぶ。相同染色体、遺伝子座、対立遺伝子、ホモ接合体・ヘテロ接合体、減数分裂、自然選択、適応度、遺伝子プール、遺伝子頻度、ハーディ・ワインベルグの法則、遺伝的浮動、中立進化などを確認し、進化が起こるしくみを理解する。	5/15（金）
3	生物の系統と進化について学ぶ。脊椎動物の分類、DNA やアミノ酸配列に基づく系統樹、相同・相似、化石や発生様式による系統の推定、学名、階層的分類、ドメイン、霊長類と人類の特徴、直立二足歩行について確認し、生物の分類と進化的な関係を理解する。	5/29（金）
4	細胞と物質について学ぶ。細胞を構成する水・タンパク質・核酸・糖・脂質、生体膜の流動モザイクモデル、選択的透過性、エンドサイトーシスとエキソサイトーシス、リボソームやゴルジ体などの細胞小器官、タンパク質の構造、酵素の性質と調節について確認し、生命現象を支える物質のはたらきを理解する。	6/12（金）
5	代謝とエネルギーについて学ぶ。異化と同化、ATP の構造とエネルギー、呼吸、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化的リン酸化、発酵、アルコール発酵・乳酸発酵、光合成のしくみについて確認し、生物がエネルギーを取り出し利用する過程を理解する。	6/26（金）
6	遺伝情報の発現と発生について学ぶ。DNA の塩基、二重らせん構造、半保存的複製、DNA ヘリカーゼ・DNA ポリメラーゼ・DNA リガーゼ、バクテリオファージ、転写と翻訳、セントラルドグマ、RNA の種類、	7/10（金）

	プロモーター、スプライシング、mRNA からタンパク質がつくられる流れについて確認し、遺伝情報が発現するしくみを理解する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	生物の共通性と多様性、進化の意味、生命の誕生と原始地球の環境を確認する。シアノバクテリア、真核生物、多細胞生物の出現を整理する。
2	突然変異と変異、自然選択、適応度について確認する。形質の違いが世代を超えて集団内に広がるしくみを具体例で理解する。
3	遺伝の基本と進化のしくみを確認する。対立遺伝子、減数分裂、遺伝子プール、遺伝子頻度、遺伝的浮動、中立進化を整理する。
4	生物の系統と分類を確認する。DNA やアミノ酸配列、相同・相似、化石、学名、階層的分類、3 ドメインの考え方を整理する。
5	霊長類と人類の進化を確認する。直立二足歩行、大後頭孔、骨盤、足の構造などをもとに、ヒトの特徴を理解する。
6	細胞と物質を確認する。生体膜、細胞小器官、タンパク質の構造、酵素の性質、競争的阻害やフィードバック調節を整理する。
7	代謝とエネルギーを確認する。ATP、呼吸、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、発酵、光合成の流れを整理する。
8	遺伝情報の発現を確認する。DNA 複製、転写、翻訳、RNA の種類、プロモーター、スプライシング、セントラルドグマを整理する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。生物の進化、遺伝子の変化と進化のしくみ、生物の系統と分類、細胞と物質、代謝とエネルギー、遺伝情報の発現について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基礎的事項を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、生物 1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、生命現象、細胞、代謝、遺伝情報、生殖と発生などに関する基本的な概念や仕組みを理解し、観察・実験の結果、図表、資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、生命現象や生物の体の仕組みについて、細胞、遺伝子、物質のはたらきなどの視点から科学的に考察し、根拠に基づいて説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、生命現象に関心を持ち、生物学的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、生物 1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
理科	生物２	単位数：２	中迫
履修上の注意点	生物１を履修していること。		

指導目標

１．遺伝子発現の調節、発生と遺伝子発現、遺伝子を扱う技術、動物の刺激の受容と反応、植物の環境応答、個体群・生物群集、生態系の物質循環と人間生活について、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。

２．生命現象を、遺伝子・発生・情報伝達・環境応答・生態系の視点から考察し、資料や図表を読み取りながら、科学的に説明する力を養う。

３．生命科学や生態系と人間生活との関わりに関心をもち、学習内容を身近な事象と結び付けながら、主体的に学習に取り組む態度を養う。

教科書	東京書籍　生物 （生物　701）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金） ４回　6/1（月）～6/12（金） ５回　6/15（月）～6/26（金） ６回　6/29（月）～7/10（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金） ４回　6/12（金） ５回　6/26（金） ６回　7/10（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	発生と遺伝子発現について学ぶ。ラクトースオペロン、真核生物のクロマチン構造と転写調節、細胞分化、調節遺伝子、ウニやカエルの発生、原基分布図、誘導、ES 細胞・iPS 細胞、ホックス遺伝子について確認し、発生が遺伝子発現の調節によって進むことを理解する。	4/24（金）
2	遺伝子を扱う技術について学ぶ。バイオテクノロジー、制限酵素、DNA リガーゼ、遺伝子組換え、プラスミド、クローニング、PCR 法、電気泳動、サンガー法、ゲノム解析、遺伝子組換え生物、ノックアウトマウス、GFP、遺伝子診断などを確認し、遺伝子を調べ利用する技術のしくみと課題を理解する。	5/15（金）
3	動物の刺激の受容と反応、動物の行動について学ぶ。ニューロン、感覚ニューロン・運動ニューロン・介在ニューロン、膜電位と活動電位、跳躍伝導、シナプス、視覚、中枢神経系、反射、骨格筋の収縮、生得的行動と習得的行動を確認し、動物が刺激を受け取り反応するしくみを理解する。	5/29（金）
4	植物の環境応答について学ぶ。花粉や胚のうの形成、重複受精、植物の組織系、植物ホルモン、光受容体、種子の休眠と発芽、ジベレリン・アブシシン酸・エチレン、オーキシン、光屈性・重力屈性、日長と花芽形成、落葉について確認し、植物が環境に応答して成長や発生を調節するしくみを理解する。	6/12（金）
5	個体群と生物群集について学ぶ。個体群、生物群集、非生物的環境、腐植作用、個体群密度、指数成長、環境収容力、相変異、生存曲線、群れ、縄張り、順位制、協同繁殖、社会性昆虫、アリー効果、共生、種間競争、競争的排除、捕食・被食、春植物、擬態、寄生について確認し、生物どうしの関係を理解する。	6/26（金）
6	生態系の物質生産と物質循環、生態系と人間生活について学ぶ。生産者・消費者・分解者、温室効果、炭素循環、窒素固定・窒素同化・脱窒、生産量と現存量、栄養段階、生態ピラミッド、生物多様性、外来生	7/10（金）

	物、公害、地球温暖化、生態系の保全について確認し、生態系と人間生活の関わりを理解する。	

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	遺伝子発現の調節を確認する。ラクトースオペロン、プロモーター、オペレーター、リプレッサー、クロマチン構造、転写因子のはたらきを整理する。
2	発生と遺伝子発現を確認する。細胞分化、ウニとカエルの発生、原基分布図、体軸形成、誘導、ES 細胞・iPS 細胞、ホックス遺伝子を整理する。
3	遺伝子を扱う技術を確認する。制限酵素、DNA リガーゼ、プラスミド、PCR 法、電気泳動、サンガー法、ゲノム解析の基本を整理する。
4	遺伝子組換え技術とその利用を確認する。遺伝子組換え生物、ベクター法、ノックアウトマウス、GFP、遺伝子診断、バイオテクノロジーの課題を整理する。
5	動物の刺激の受容と反応を確認する。ニューロン、膜電位、活動電位、シナプス、視覚、中枢神経、反射、筋収縮のしくみを整理する。
6	植物の環境応答を確認する。花粉・胚のう、重複受精、植物ホルモン、光受容体、発芽、屈性、花芽形成、落葉のしくみを整理する。
7	個体群と生物群集を確認する。個体群密度、成長曲線、群れ、縄張り、順位制、協同繁殖、共生、種間競争、捕食・被食、擬態を整理する。
8	生態系の物質生産と物質循環、人間生活との関わりを確認する。炭素循環、窒素循環、生産量、栄養段階、生物多様性、外来生物、生態系保全を整理する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。遺伝子発現の調節、発生と遺伝子発現、遺伝子を扱う技術、動物の刺激の受容と反応、動物の行動、植物の環境応答、個体群と生物群集、生態系の物質生産と物質循環、生態系と人間生活について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基礎的事項を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準
添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。 評価に当たっては、生物 2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。 「知識・技能」については、遺伝子の発現と発生、生物の環境応答、生態系、進化と系統などに関する基本的な概念や仕組みを理解し、観察・実験の結果、図表、資料から必要な情報を適切に読み取る技能を身に付けているかを評価する。 「思考・判断・表現」については、生命現象や生物と環境との関わりについて、遺伝子、発生、環境応答、生態系、進化などの視点から科学的に考察し、根拠に基づいて説明・表現できているかを評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、生命現象や生物多様性に関心を持ち、生物学的な見方・考え方を働かせながら学習しようとしているかを評価する。 定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。 これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、生物 2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
保健体育	体育１	単位数：１	上原
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．スポーツの発祥と発展、オリンピック・パラリンピック、スポーツと経済、スポーツの高潔性及び環境保護について理解を深める。

２．スポーツを文化として捉え、現代社会におけるスポーツの意義や課題について考察し、自分の考えを表現する力を養う。

３．公正、協力、多様性の尊重、環境への配慮を大切にし、生涯にわたってスポーツに親しもうとする態度を養う。

教科書	大修館書店　現代高等保健体育 （保体　050-901）	副教材	
添削指導	１回	面接指導	５単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金）		１回　4/24（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	スポーツの発祥と発展について学ぶ。スポーツの始まり、近代スポーツと国際スポーツ、スポーツを文化としてとらえる視点、オリンピック・パラリンピックの意義、スポーツと経済、スポーツの高潔性、スポーツ基本法、環境保護との関わりについて確認し、現代社会におけるスポーツの価値と課題を考える。	4/24（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	スポーツの発祥と発展を確認する。遊戯行動からスポーツ文化が生まれた過程、古代文明におけるスポーツ、近代スポーツの成立について整理する。
2	オリンピックの意義を確認する。オリンピズム、オリンピックムーブメント、参加国・参加選手の広がり、スポーツが世界平和や青少年の健全育成に果たす役割を整理する。
3	パラリンピックの意義を確認する。パラ・アスリートが示す価値、多様性、共生社会、バリアを超える力について理解を深める。
4	スポーツと経済、スポーツの高潔性を確認する。スポーツ産業、スポンサー、経済波及効果、ドーピング、不正操作、ハラスメントなどの課題を整理する。
5	スポーツの理念と環境保護を確認する。スポーツ基本法、生涯スポーツ、環境に配慮したスポーツ実践について整理する。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第１回で学習した内容を範囲とする。スポーツの発祥と発展、近代スポーツと国際スポーツ、オリンピック・パラリンピック、スポーツと経済、スポーツの高潔性、スポーツ基本法、環境保護について、教科書・添削課題・面接指導で扱った基礎事項を中心に確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、体育１の目標に基づき、次の３観点から学習状況を評価する。
「知識・技能」については、運動やスポーツの意義、体力の向上、健康・安全、スポーツ文化などに関する基礎的な知識を理解し、運動を行うための基本的な技能を身に付けているかを評価する。
「思考・判断・表現」については、自己の体力や技能の状況を踏まえ、運動やスポーツへの取り組み方、健康・安全に配慮した行動について考え、学習した内容を自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、運動やスポーツに親しみながら、健康の保持増進や体力向上に向けて継続的に取り組もうとしているかを評価する。
定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。
これらを３観点に基づいて総合的に判断し、体育１の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
保健体育	体育２	単位数：２	上原
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．スポーツにおける技能と体力、技術・戦術、メディア、練習方法、安全確保について理解を深める。

２．運動やスポーツの課題を見付け、技能の上達過程や体力トレーニングの考え方をもとに、よりよい実践方法を考察し表現する力を養う。

３．豊かなスポーツライフを設計する視点をもち、健康・安全に配慮しながら、生涯にわたって運動やスポーツに親しもうとする態度を養う。

教科書	大修館書店　現代高等保健体育 （保体　050-901）	副教材	
添削指導	２回	面接指導	10 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	体育編２単元「運動・スポーツの学び方」について学習する。スポーツにおける技能と体力、技術と戦術、メディアとの関係、技能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体力トレーニング、運動やスポーツでの安全確保について理解する。	4/24（金）
2	体育編３単元「豊かなスポーツライフの設計」について学習する。生涯スポーツの見方・考え方、スポーツにかかわる職業、ライフスタイルに応じたスポーツ、スポーツ推進の取り組み、豊かなスポーツライフの特徴、救急車の呼び方について理解し、自分のスポーツライフを考える。	5/15（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	スポーツにおける技能と体力について確認する。行動体力・防衛体力、技能と体力の関係、オーバーロード、疲労と超回復、けがやスポーツ障害の予防について整理する。
2	スポーツにおける技術と戦術について確認する。ルールのもとで課題を解決するための技術・技能・戦術の違いを整理し、用具やメディアの発達がスポーツに与える影響を考える。
3	スポーツとメディアの関係について確認する。SNS 等による情報発信の特徴、ラフプレイや不適切な映像の拡散、メディアが技術や戦術に与える影響について考える。
4	技能の上達過程と練習方法について確認する。上達の段階、課題発見、練習方法の選択、フィードバック、目標の達成度の評価について整理する。
5	効果的な動きのメカニズムと体力トレーニングについて確認する。筋・神経系、ATP、仕事率、負荷強度・時間・頻度、調整力を高める練習について理解する。
6	運動やスポーツでの安全確保について確認する。事故やけがのリスク、スポーツ外傷・スポーツ障害、熱中症、健康管理、ウォームアップとクールダウンについて整理する。
7	生涯スポーツの見方・考え方について確認する。社会の変化、自由時間、QOL、年齢や発達段階に応じたスポーツの楽

	しみ方について理解を深める。
8	スポーツにかかわる職業とライフスタイルに応じたスポーツについて確認する。「する・みる・支える・知る」の関わり方、ワーク・ライフ・バランス、自分に合ったスポーツライフの設計を考える。
9	スポーツを推進する取り組みについて確認する。東京大会、スポーツ振興法、スポーツ基本法、スポーツ基本計画、スポーツ庁、欧米諸国のスポーツ推進の特徴について整理する。
10	豊かなスポーツライフの特徴と安全な対応について確認する。スポーツ・フォー・オール、生涯スポーツ、地域スポーツクラブ、救急車の呼び方を学び、今後の自分のスポーツとの関わり方をまとめる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回・第2回で学習した内容を範囲とする。運動・スポーツの学び方、技能と体力、技術・戦術、メディア、技能の上達過程、体力トレーニング、安全確保、豊かなスポーツライフの設計、生涯スポーツ、スポーツにかかわる職業、スポーツ推進施策、救急車の呼び方について確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。
評価に当たっては、体育2の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。
「知識・技能」については、運動やスポーツの多様な楽しみ方、体力の向上、健康・安全、スポーツ文化や生涯スポーツに関する知識を理解し、各種運動に必要な基本的な技能を身に付けているかを評価する。
「思考・判断・表現」については、自己や仲間の体力・技能の状況を踏まえ、運動やスポーツへの取り組み方、課題解決の方法、安全に配慮した行動について考え、学習した内容を自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、運動やスポーツに親しみながら、健康の保持増進や体力向上に向けて継続的に取り組もうとしているかを評価する。
定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。
これらを3観点に基づいて総合的に判断し、体育2の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
保健体育	体育３	単位数：２	福本
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．陸上競技、水泳、器械運動、ダンス、武道、ウインタースポーツの成り立ち、特性、ルールについて理解を深める。

２．各種目の技能や安全上の留意点を理解し、運動やスポーツの楽しみ方、課題、工夫について考察し表現する力を養う。

３．多様な運動・スポーツに関心をもち、相手や仲間を尊重しながら、生涯にわたってスポーツに親しもうとする態度を養う。

教科書	大修館書店　アクティブスポーツ 2026	副教材	
添削指導	２回	面接指導	10 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	「陸上競技」「水泳」「器械運動」「ダンス」について学習する。陸上競技と水泳の発祥・発展、主なルールや泳法、器械運動の成り立ち、競技用器械の規格、体操競技の進め方、ダンスの歴史や日本の踊りの特徴について理解し、自分の関心や考えをまとめる。	4/24（金）
2	「剣道」「柔道」「スキー」「スノーボード」「スケート」について学習する。剣道と柔道の成り立ち、特性、試合の進め方、スキー競技の概要、スノーボードの装着や競技特性、スケートの歴史や用具・滑走の特徴について理解し、興味をもった競技について理由を表現する。	5/15（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	陸上競技の発祥と発展、主なルールについて確認する。短距離走、ハードル走、リレー、マラソンの特徴を整理し、スタートやハードリング、バトンパスなどの基本的な考え方を理解する。
2	水泳の発祥と発展、4 つの泳法について確認する。自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの特徴や、水泳における安全面の配慮、自分が関心をもつ泳法について考える。
3	器械運動の成り立ちと競技の特徴について確認する。鉄棒、平均台、ゆか、つり輪などの器械の規格や、男子・女子の演技種目、体操競技の試合の進め方を整理する。
4	ダンスの歴史と特徴について確認する。生活に根ざした舞踊、芸術としての舞踊、現代的なリズムのダンス、日本の踊りの特徴を理解し、身体表現の楽しさについて考える。
5	第１回添削課題の内容をもとに、陸上競技・水泳・器械運動・ダンスの共通点と違いを確認する。各種目の楽しさ、技能、安全上の留意点、自分の関心を整理して表現する。
6	剣道の成り立ちと特性について確認する。打突部位、有効打突、残心、中段の構えなどを整理し、剣道が日本の伝統的な運動文化として発展してきたことを理解する。
7	柔道の成り立ちと試合の進め方について確認する。嘉納治五郎、講道館柔道、礼法、自然本体、投げ技・固め技、一本の条件などを整理し、安全に学ぶための基本を理解する。

8	スキーの発祥と競技の概要について確認する。アルペン競技、ノルディック競技、フリースタイル競技の違いと代表的な種目を整理し、雪上スポーツの楽しさと安全面を考える。
9	スノーボードとスケートの特徴について確認する。横向き姿勢、バインディング、リーシュコード、レースやフリースタイル、スケート靴の種類や滑走の特徴を理解する。
10	体育 3 全体の学習内容を振り返る。各種目の歴史、ルール、技能、安全、文化的価値を整理し、自分が今後関わってみたい運動・スポーツとその理由をまとめる。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第 1 回・第 2 回で学習した内容を範囲とする。陸上競技、水泳、器械運動、ダンス、剣道、柔道、スキー、スノーボード、スケートの発祥と発展、特性、主なルール、技能、安全上の留意点、各種目への関心や考え方について確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、体育 3 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、運動やスポーツの実践方法、体力の向上、健康・安全、スポーツ文化や生涯にわたる運動の意義に関する知識を理解し、各種運動に必要な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、自己や仲間の課題を見付け、体力や技能の状況に応じた運動の取り組み方、課題解決の方法、安全に配慮した行動について考え、学習した内容を自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、運動やスポーツに親しみながら、健康の保持増進や体力向上に向けて継続的に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、体育 3 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
保健体育	体育４	単位数：２	福本
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．バスケットボール、ソフトボール、サッカー、ラグビー、バレーボール、バドミントン、テニス、卓球など、球技の成り立ち、特性、主なルールについて理解を深める。

２．ゴール型、ベースボール型、ネット型の競技特性や技能・戦術、安全上の留意点を理解し、各競技の魅力や課題について考察し表現する力を養う。

３．多様な球技に関心をもち、仲間と協力しながら、生涯にわたって運動やスポーツに親しもうとする態度を養う。

教科書	大修館書店　アクティブスポーツ 2026	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	２回	面接指導	10 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	「バスケットボール」「ソフトボール」「サッカー」「ラグビー」について学習する。各競技の発祥・発展、競技の特性、試合の進め方、得点方法、主なルールを理解し、ゴール型・ベースボール型の球技の魅力について考える。	4/24（金）
2	「バレーボール」「バドミントン」「テニス」「卓球」について学習する。ネット型球技の発祥・発展、競技特性、サービスやラリー、得点の仕組み、用具や技能の特徴を整理し、初心者にとっての難しさや楽しさについて考える。	5/15（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	バスケットボールの競技特性について確認する。ゴール型球技として、5 人での攻防、ドリブル、パス、シュート、チームワークを整理し、得点を競う楽しさを理解する。
2	バスケットボールの主なルールとゲームの進め方について確認する。ジャンプボール、クォーター、得点方法、交代、反則の基本を整理し、安全にプレーするための視点をもつ。
3	ソフトボールの成り立ちと競技特性について確認する。ファーストピッチ・スローピッチの違い、攻守交代、アウト、得点の仕組みを理解し、ベースボール型球技の特徴を整理する。
4	サッカーの発祥と発展、試合の進め方について確認する。チーム編成、ゴールキーパー、試合時間、得点、スローインやフリーキックなどの再開方法を理解する。
5	ラグビーの発祥と発展、競技の進め方について確認する。競技時間、交代、スクラム、ラインアウト、トライやコンバージョンゴールなどの得点方法を整理する。
6	第１回添削課題の内容をもとに、ゴール型・ベースボール型球技の共通点と違いを確認する。仲間との連携、空間の使い方、ルールを守る態度について考える。
7	バレーボールの発祥と競技特性について確認する。ネット型球技として、レシーブ、トス、スパイク、オフ・ザ・ボー

	ルの動き、ラリーポイント制を整理する。
8	バドミントンの競技特性とルールについて確認する。シャトルのフライト、サービス、ラリー、ポイント、イン・アウトの判断を整理し、技能と体力の特徴を理解する。
9	テニスと卓球の発祥、競技特性、基本ルールについて確認する。ラケット操作、サービス、バウンド、回転、コースの使い方を整理し、ネット型球技の難しさと楽しさを考える。
10	体育 4 全体の学習内容を振り返る。各球技の歴史、ルール、技能、戦術、安全上の留意点を整理し、自分が今後関わってみたい球技とその理由をまとめる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回・第 2 回で学習した内容を範囲とする。バスケットボール、ソフトボール、サッカー、ラグビー、バレーボール、バドミントン、テニス、卓球の発祥と発展、競技特性、主なルール、得点方法、安全上の留意点、各種目への関心や考え方を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、体育 4 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、運動やスポーツの実践方法、体力の維持・向上、健康・安全、生涯スポーツの意義やスポーツ文化に関する知識を理解し、各種運動に必要な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、自己や仲間の課題を見付け、運動やスポーツを継続するための方法、健康・安全に配慮した行動、課題解決の工夫について考え、学習した内容を自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、卒業後も運動やスポーツに親しみ、健康の保持増進や体力向上に向けて継続的に取り組もうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、体育 4 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
保健体育	保健１	単位数：１	丸野
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．現代社会と健康、安全な社会生活について、健康を支える要因や疾病予防、感染症対策、事故防止、応急手当の基礎を理解できるようにする。

２．生活習慣、精神疾患、薬物乱用、性感染症、交通安全、災害時の対応などについて、自己や社会の課題として考察し、適切な意思決定・行動選択ができる力を養う。

３．健康で安全な生活を主体的に実現しようとする態度を育て、日常生活における健康管理や安全確保、周囲と協力した支援行動につなげる。

教科書	大修館書店　現代高等保健体育 （保体　050-901）	副教材	
添削指導	３回	面接指導	１単位時間

メディア視聴・減免の有無	☑ 実施している　□ 実施していない
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金）	 １回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	現代社会と健康について学習する。健康の考え方、健康水準、生活習慣病、がんの予防と治療、運動・食事・休養・睡眠、薬物乱用と健康への影響を理解し、日常生活での健康管理について考える。	4/24（金）
2	現代社会と健康について、精神疾患、感染症、性感染症・エイズ、健康に関する意思決定・行動選択、健康を支える環境づくりを学習する。自分や周囲の健康を守るための考え方と具体的な行動を整理する。	5/15（金）
3	安全な社会生活について学習する。事故の現状と発生要因、安全な社会づくり、交通安全と運転者の責任、応急手当の意義と手順、日常的な応急手当、心肺蘇生法について理解し、緊急時の対応を考える。	5/29（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	保健１の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。現代社会と健康、安全な社会生活に関する主要事項を整理し、生活習慣、感染症、事故防止、応急手当などを自分の生活と関連付けて考える。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第１回から第３回までで学習した内容を範囲とする。健康の考え方、生活習慣病とがん、運動・食事・休養・睡眠、薬物乱用、精神疾患、感染症、性感染症・エイズ、健康に関する意思決定・行動選択、事故防止、交通安全、応急手当、心肺蘇生法について、教科書・添削課題をもとに確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、保健１の目標に基づき、次の３観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、現代社会と健康、生活習慣病、感染症、心身の健康、応急手当などに関する基礎的な知識を理解し、健康の保持増進や安全な生活に必要な技能を身に付けているかを評価する。
「思考・判断・表現」については、健康に関する課題について、生活習慣、環境、社会との関わりを踏まえて考察し、自分や周囲の健康を守るための方法を自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、自他の健康や安全について関心を持ち、よりよい生活を実践しようとしているかを評価する。
定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。
これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、保健 1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
保健体育	保健２	単位数：１	丸野
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．生涯を通じる健康について、ライフステージごとの健康課題、思春期、妊娠・出産、中高年期の健康、働くことと健康について理解できるようにする。

２．健康を支える環境づくりについて、環境汚染、食品の安全性、保健・医療サービス、医薬品、保健活動や社会的対策を自分や社会の課題として考察できる力を養う。

３．生涯にわたって健康を保持増進し、身近な環境や社会制度を適切に活用しながら、よりよい健康づくりに主体的に取り組もうとする態度を育てる。

教科書	大修館書店　現代高等保健体育 （保体　050-901）	副教材	
添削指導	３回	面接指導	１単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 １回　4/6（月）～4/24（金） ２回　4/27（月）～5/15（金） ３回　5/18（月）～5/29（金）		１回　4/24（金） ２回　5/15（金） ３回　5/29（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	生涯を通じる健康について学習する。ライフステージと健康、思春期の心身の変化、妊娠・出産と健康、結婚生活と健康、中高年期の健康について理解し、各時期に応じた健康課題と支援のあり方を考える。	4/24 （金）
2	生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについて学習する。働くことと健康、労働災害、健康的な職業生活、大気汚染、水質汚濁・土壌汚染、環境と健康にかかわる対策、ごみの処理と上下水道の整備について理解する。	5/15 （金）
3	健康を支える環境づくりについて学習する。食品の安全性、食品衛生にかかわる活動、保健サービス、医療サービス、医薬品の制度と活用、さまざまな保健活動や社会的対策について理解し、健康を支える社会の仕組みを考える。	5/29 （金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	保健２の自宅学習を進めるために必要な基礎的・基本的な学習方法を確認する。生涯を通じる健康、働くことと健康、環境と健康、食品の安全性、保健・医療サービスの活用について主要事項を整理し、自分の生活や社会との関わりの中で考える。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第１回から第３回までで学習した内容を範囲とする。ライフステージと健康、思春期、妊娠・出産、結婚生活、中高年期の健康、働くことと健康、労働災害、環境汚染、食品の安全性、保健・医療サービス、医薬品、保健活動や社会的対策について、教科書・添削課題をもとに確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。
評価に当たっては、保健２の目標に基づき、次の３観点から学習状況を評価する。
「知識・技能」については、生涯を通じる健康、労働と健康、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度などに関する基礎的な知識を理解し、健康の保持増進や安全な生活に必要な技能を身に付けているかを評価する。
「思考・判断・表現」については、生涯の各段階における健康課題や、社会生活・労働・環境・食品と健康との関わりについて考察し、自分や社会の健康を守るための方法を自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、生涯を通じた自他の健康や安全について関心を持ち、よりよい生活や社会づくりに向けて実践しようとしているかを評価する。
定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。
これらを３観点に基づいて総合的に判断し、保健２の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
芸術	書道Ⅰ	単位数：２	宮崎
履修上の注意点			

指導目標

１．書写から書道への発展、用具・用材、漢字の成立と書体の変遷、古典に基づく学習について理解できるようにする。

２．楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名・漢字仮名交じりの書・篆刻の特徴を理解し、臨書や鑑賞を通して表現の基礎を身に付ける。

３．文字の美しさや書の伝統文化に関心をもち、見本と自分の作品を比較しながら課題を見つけ、主体的に表現・鑑賞に取り組む態度を育てる。

教科書	東京書籍　書道Ⅰ （書Ⅰ　002-901）	副教材	
添削指導	6 回	面接指導	8 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	書写から書道へについて学習する。書写で学んだ字形の整え方、点画の組み合わせ、筆順、字の配列、文房四宝を含む用具・用材について理解し、行書の特徴を踏まえて実技の振り返りを行う。	4/24（金）
2	漢字の成立と変遷、古典に基づく学習、楷書について学習する。甲骨文・金文・篆書・隷書・草書・行書・楷書の変遷を理解し、拓本や古典を手本として楷書の特徴を意識した臨書に取り組む。	5/15（金）
3	行書について学習する。行書の特徴、蘭亭序、争坐位文稿、風信帖の作者・内容・書風を理解し、行書体の筆路、運筆、字形の変化を意識して臨書と振り返りを行う。	5/29（金）
4	草書・隷書・篆書について学習する。草書の成立、真草千字文、隷書と篆書の成り立ちや書体の特徴を理解し、各書体の字形や線質の違いを意識して臨書と比較を行う。	6/12（金）
5	仮名の書について学習する。万葉仮名、草仮名、平仮名、変体仮名、連綿・連綿線を理解し、蓬萊切や高野切第三種を手本として、仮名の線の流れややわらかさを意識して臨書する。	6/26（金）
6	漢字仮名交じりの書、篆刻・刻字について学習する。古典を生かした表現、篆刻の白文・朱文、運刀法、押印、封筒の宛名書きについて理解し、これまでの書道学習を振り返る。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	書道Ⅰの自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。用具・用材の扱い方、姿勢、執筆法、字形の整え方、字の配列の基本を整理し、実技学習への見通しをもつ。
2	楷書の基礎を確認する。点画、三過折、背勢・向勢、角ばった書き方や丸みのある書き方などを整理し、古典を手本に

	して文字の形や線質を観察する。
3	楷書の臨書に取り組む。孔子廟堂碑、自書告身、牛橛造像記などの古典の特徴を確認し、見本と自分の文字を比較して、中心・外形・点画の長さや間隔を整える。
4	行書の特徴を確認する。楷書との違い、筆順の変化、点画の連続や省略、運筆の緩急を整理し、蘭亭序や争坐位文稿、風信帖を参考に行書の表現を味わう。
5	草書について確認する。草書の成立、隷書や行書との関係、真草千字文の特徴を整理し、楷書と草書を比較しながら、点画の簡略化と線の流れを理解する。
6	隷書・篆書について確認する。隷書の波磔や横長の字形、篆書の縦長で均整のとれた字形を観察し、書体ごとの線質や構成の違いを意識して臨書する。
7	仮名の書について確認する。万葉仮名、草仮名、平仮名、変体仮名、連綿・連綿線を整理し、蓬萊切や高野切第三種を参考に、やわらかい線と流れを意識して書く。
8	漢字仮名交じりの書と篆刻・刻字について確認する。古典を生かした表現、白文・朱文、運刀法、押印、封筒の宛名書きを整理し、書道Ⅰ全体の学習を振り返る。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容を総合して評価する。

評価に当たっては、書道Ⅰの目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、書写能力の基礎、用筆・運筆、文字の構成、書体の特徴、書の伝統や文化に関する基礎的な知識を理解し、目的に応じて表現するための基本的な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、文字の形、線質、余白、全体の構成などを考えながら、表現の意図に応じて工夫し、自分の思いや考えを作品として表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票に主体的に取り組み、書の表現や鑑賞に親しみ、書の伝統と文化を尊重しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出することを単位修得の前提とする。なお、書道Ⅰでは単位認定試験は実施しない。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、書道Ⅰの目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
外国語	英語コミュニケーションⅠ-1	単位数：１	月成
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．身近な話題や世界の文化、動物、スポーツ、観光、ものづくりに関する英文を読み、必要な語句や表現、内容の要点を理解する力を身に付ける。

２．be 動詞・一般動詞、過去形、現在進行形、過去進行形、助動詞、不定詞・動名詞などの基本的な文法を確認し、語順や時制に注意して英文を読み書きする力を養う。

３．自分の好きなこと、過去の経験、予定、できること、感想などを、既習表現を用いて簡単な英語で表現しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication Ⅰ （CⅠ　002-901）	副教材	プリント教材 e トレ
添削指導	3 回	面接指導	4 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	Warm-Up1・2・3、Pre-Lesson1・2、Lesson1 Breakfast around the World を範囲として、基本的な語句、辞書の使い方、be 動詞・一般動詞の現在形、疑問詞を用いた表現、過去形を学ぶ。自分の好きな教科、昨夜したこと、好きな食べ物を英語で表現する力を身に付ける。	4/24 （金）
2	Lesson2 Australia’s Cute Quokkas、Lesson3 Life with Spade を範囲として、動物や人と馬との関わりを題材に、look の用法、現在進行形・過去進行形、助動詞 can・will、have to などを学ぶ。本文の内容を読み取り、自分ができることや明日の予定を英語で表現する。	5/15 （金）
3	Lesson4 A Miracle Mirror、Lesson5 A Dream Engine、Reading1 Short Stories in English を範囲として、不定詞、動名詞、接続詞 when・that、知覚動詞、SVOO の文型などを学ぶ。観光地やものづくりに関する英文を読み、週末にしたいことや楽しんだことを英語で表現する。	5/29 （金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	英語コミュニケーションⅠ-1 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。Warm-Up、Pre-Lesson の語句や基本表現を扱い、be 動詞・一般動詞、疑問詞を用いた基本的な英文の読み方と書き方を整理する。
2	Lesson1 Breakfast around the World を題材に、世界の朝食文化に関する英文を読む。過去形や because を用いた理由表現を確認し、本文の要点を捉えながら自分の経験や好きな食べ物を英語で表現する。
3	Lesson2 Australia’s Cute Quokkas、Lesson3 Life with Spade を題材に、動物や人と馬との関わりについて読み取る。現在進行形・過去進行形、can、will、have to を確認し、できることや予定を簡単な英語で伝える練習を行う。
4	Lesson4 A Miracle Mirror、Lesson5 A Dream Engine、Reading1 を題材に、観光地やものづくりに関する英文を読む。

	不定詞、動名詞、接続詞、知覚動詞などを確認し、英文の要点を整理して自分の考えや感想を表現する。
単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第3回までで学習した内容を範囲とする。基本語句、be動詞・一般動詞、過去形、現在進行形、過去進行形、助動詞can・will、have to、不定詞、動名詞、接続詞、知覚動詞などを確認すること。本文内容の読み取りと、身近な内容を表す英作文についても復習すること。
学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準	
添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。 評価に当たっては、英語コミュニケーションⅠ-1の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。 「知識・技能」については、英語の音声、語彙、表現、文法、文構造などの基礎的な知識を理解し、身近な話題について英語を聞いたり読んだりして概要や要点を捉える技能を身に付けているかを評価する。 「思考・判断・表現」については、身近な話題や日常的な場面について、必要な情報や考えを整理し、英語で簡単に伝えたり、相手の意図を捉えたりできているかを評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。 定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。 これらを3観点に基づいて総合的に判断し、英語コミュニケーションⅠ-1の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。	
その他	
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。	

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
外国語	英語コミュニケーションⅠ-2	単位数：２	月成
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．日本の浮世絵、アンネの日記、遠隔操作ロボット、海洋ごみ、沖縄とハワイの交流、英語の物語などを題材にした英文を読み、必要な語句や表現、内容の要点を理解する力を身に付ける。

２．受け身、比較表現、現在完了形、分詞の後置修飾、関係代名詞、仮定法などの基本的な文法を確認し、語順や文構造に注意して英文を読み書きする力を養う。

３．好きな絵、経験したこと、環境のためにできること、興味のある国や文化、仮定の場面などについて、既習表現を用いて簡単な英語で表現しようとする態度を育てる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication Ⅰ (CⅠ　002-901)	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period を範囲として、江戸時代の絵や歌川国芳に関する英文を読み、語句、発表表現、受け身の文を学ぶ。好きな絵について理由を述べる活動を通して、自分の考えを英語で表現する力を身に付ける。	4/24（金）
2	Lesson7 A Diary of Hope を範囲として、アンネの日記と希望を題材にした英文を読み、比較級・最上級、as ～ as、not as ～ as の表現を学ぶ。人物の状況や思いを読み取り、二つのものを比較して説明する力を養う。	5/15（金）
3	Lesson8 A Door to a New Life を範囲として、遠隔操作ロボットや障害のある人の社会参加について読み取る。現在完了形、受け身、比較表現を確認し、これまでの経験やロボットの利点・課題について表現する。	5/29（金）
4	Lesson9 Ghosts in the Oceans を範囲として、海洋プラスチックごみやゴーストギアの問題を題材に、現在分詞・過去分詞による名詞の修飾を学ぶ。環境問題の要点を読み取り、自分ができる行動を英語で表現する。	6/12（金）
5	Lesson10 Pigs from across the Sea を範囲として、戦後の沖縄とハワイの交流を題材に、関係代名詞 who・which・that の用法を学ぶ。歴史的なエピソードを読み取り、興味のある国や文化について英語で説明する力を高める。	6/26（金）
6	Reading2 Mujina を範囲として、英語で書かれた物語を読み、場面の流れや登場人物の行動を理解する。	7/10

	仮定法、分詞、関係代名詞を確認し、「もし自分が～なら」という仮定の内容を英語で表現する。	（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	英語コミュニケーションⅠ-2 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。Lesson6 の語句や本文を扱い、江戸時代の絵や歌川国芳に関する内容を読み取り、受け身の基本形を整理する。
2	Lesson6 を題材に、絵や作品を紹介する表現を確認する。Today, I’d like to talk about ～、Thank you for ～などの発表表現を用い、好きな絵やその理由を簡単な英語で伝える練習を行う。
3	Lesson7 A Diary of Hope を題材に、アンネの日記と希望について読み取る。比較級・最上級、as ～ as、not as ～ as を確認し、人物やものごとを比べて説明する英文の作り方を学ぶ。
4	Lesson8 A Door to a New Life を題材に、遠隔操作ロボットや社会参加について考える。現在完了形の基本を確認し、経験したことや継続していることを表す英文を読み書きする。
5	Lesson9 Ghosts in the Oceans を題材に、海洋ごみやゴーストギアの問題を読み取る。現在分詞・過去分詞による名詞の修飾を確認し、環境のために自分ができる行動を英語で表現する。
6	Lesson10 Pigs from across the Sea を題材に、沖縄とハワイの交流について読み取る。関係代名詞 who・which・that を用いた文を確認し、人物、場所、ものを詳しく説明する練習を行う。
7	Reading2 Mujina を題材に、英語の物語を読み、場面の展開や登場人物の行動を整理する。仮定法 If I were ～, I could ～を確認し、仮定の場面でできることを英語で表現する。
8	第 1 回から第 6 回までの学習内容を総合的に復習する。受け身、比較、現在完了、分詞、関係代名詞、仮定法を確認し、本文内容の要点整理と短い英作文に取り組む。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。Lesson6 から Lesson10 及び Reading2 で扱った語句、本文内容、受け身、比較表現、現在完了形、分詞の後置修飾、関係代名詞、仮定法などを確認すること。本文内容の読み取りと、身近な内容や自分の考えを表す英作文についても復習すること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、英語コミュニケーションⅠ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、英語の音声、語彙、表現、文法、文構造などの基礎的な知識を理解し、日常的・社会的な話題について英語を聞いたり読んだりして概要や要点を捉える技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、日常的・社会的な話題について、必要な情報や考えを整理し、英語で簡単に説明したり、自分の意見を伝えたり、相手の意図を捉えたりできているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、英語コミュニケーションⅠ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
外国語	英語コミュニケーションⅡ-2	単位数：２	都築
履修上の注意点			

指導目標

１．京野菜、壁画、自然から着想を得た技術、チョコレートをめぐる社会問題、ナイチンゲールの生涯、物語などを題材にした英文を読み、語句・表現・本文内容の要点を理解する力を身に付ける。

２．if 節、関係副詞 where・when、知覚動詞、使役動詞、仮定法過去、分詞構文などを確認し、語順や文構造に注意して英文を読み書きする力を養う。

３．将来就きたい職業、地元の名所やもの、紹介したい建物、自然界のデザイン、社会問題、人を助ける職業、自分の生活について、理由や具体例を添えて英語で表現する態度を育てる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication Ⅱ (CⅡ　701)	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	Lesson6 Seeds for Future Generations を範囲として、京野菜の継承や地域文化について読み取る。語句、熟語、if を用いた名詞節を学び、将来就きたい職業や地元の有名な場所・ものについて英語で表現する。	4/24（金）
2	Lesson7 Over the Wall を範囲として、壁画を通じた交流や新しい挑戦について読み取る。入国審査で用いる表現、関係副詞 where・when を確認し、自分を変えるためにしたいことや紹介したい建物について英語で説明する。	5/15（金）
3	Lesson8 Inspiration from Nature を範囲として、自然から着想を得た技術や製品について読み取る。知覚動詞を用いた表現を確認し、自然界のすばらしい点やバイオミミクリーを利用した製品について英語で紹介する。	5/29（金）
4	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate を範囲として、チョコレートをめぐる生産・労働・教育の課題について読み取る。使役動詞 make・let・have や仮定法過去を確認し、社会問題に対する考えを英語で表現する。	6/12（金）
5	Lesson10 Fighting Angel を範囲として、ナイチンゲールの生涯や看護への貢献について読み取る。分詞構文を確認し、人を助ける職業とその役割について英語で説明する。	6/26（金）
6	Reading2 Bear's Pie を範囲として、英語で書かれた物語を読み、登場人物の関係や心情、物語の展開を理解する。since を用いた表現や感情を表す表現を確認し、平日や休日の過ごし方を英語で表現する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	英語コミュニケーションⅡ-2 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。Lesson6 の語句や本文を扱い、京野菜や地域文化の継承について読み取り、if を用いた名詞節の基本を整理する。
2	Lesson6 を題材に、将来就きたい職業や地元の名所・ものを紹介する表現を確認する。because や want to を用いて、理由を添えた短い英文を書く練習を行う。
3	Lesson7 Over the Wall を題材に、壁画を通じた交流や挑戦の内容を読み取る。入国審査の表現と関係副詞 where・when を確認し、場所や時を説明する英文を作る。
4	Lesson8 Inspiration from Nature を題材に、自然から着想を得た技術や製品について考える。知覚動詞を用いた表現を確認し、自然界の特徴や製品の仕組みを英語で説明する。
5	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate を題材に、チョコレートの生産背景や社会問題を読み取る。使役動詞 make・let・have と仮定法過去を確認し、問題に対する自分の考えを書く。
6	Lesson10 Fighting Angel を題材に、ナイチンゲールの行動や看護への貢献を読み取る。分詞構文の形と意味を確認し、人を助ける職業とその役割について英語で表現する。
7	Reading2 Bear's Pie を題材に、物語の登場人物、出来事、心情の変化を整理する。since を用いた表現や会話文の読み取りを確認し、平日・休日の過ごし方を英語で説明する。
8	第 1 回から第 6 回までの学習内容を総合的に復習する。if 節、関係副詞、知覚動詞、使役動詞、仮定法過去、分詞構文を確認し、本文内容の要点整理と短い英作文に取り組む。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。Lesson6 から Lesson10 及び Reading2 で扱った語句、熟語、本文内容の要点、対話表現、if 節、関係副詞 where・when、知覚動詞、使役動詞、仮定法過去、分詞構文などを確認すること。英作文では、主語と動詞、時制、語順、接続詞、理由や具体例の示し方に注意して書くこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、英語コミュニケーションⅡ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、英語の音声、語彙、表現、文法、文構造などの知識を理解し、日常的・社会的な話題について英語を聞いたり読んだりして、概要や要点、必要な情報を的確に捉える技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、日常的・社会的な話題について、必要な情報や考えを整理し、英語で説明したり、自分の意見や理由を伝えたり、相手の考えを理解したりしながら、目的や場面に応じて表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、英語コミュニケーションⅡ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
外国語	英語コミュニケーションⅡ-1	単位数：２	都築
履修上の注意点			

指導目標

１．海外の島の風景、音楽、祭り、物語、歌舞伎などを題材にした英文を読み、語句・表現・本文内容の要点を理解する力を身に付ける。

２．what で始まる名詞節、比較表現、It is ～ to/that、間接疑問、現在完了進行形、使役・依頼表現などを確認し、語順や文構造に注意して英文を読み書きする力を養う。

３．行ってみたい国、好きな人物、地域行事、物語、自分の経験、日本文化の紹介などについて、理由や具体例を添えて英語で表現する態度を育てる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication Ⅱ (CⅡ　701)	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	６回	面接指導	８単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
１回　4/6（月）～4/24（金）	１回　4/24（金）
２回　4/27（月）～5/15（金）	２回　5/15（金）
３回　5/18（月）～5/29（金）	３回　5/29（金）
４回　6/1（月）～6/12（金）	４回　6/12（金）
５回　6/15（月）～6/26（金）	５回　6/26（金）
６回　6/29（月）～7/10（金）	６回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	Pre-Lesson My Plans for This Year、Lesson1 A Colorful Island を範囲として、今年の計画やブラーノ島の色鮮やかな景観について読み取る。語句、診察室での表現、what で始まる名詞節を学び、行ってみたい国や理由を英語で表現する。	4/24（金）
2	Lesson2 With the Beatles を範囲として、ビートルズの楽曲や人物への思いを題材に、感情を表す語句や比較級・最上級を学ぶ。好きな人物とその理由について、because を用いて英語で説明する力を養う。	5/15（金）
3	Lesson3 Wild Men を範囲として、世界や日本の祭り・行事を題材に、文化の背景や目的を読み取る。It is ～ to/for ～ to、It is clear that ～などの表現を確認し、身近な行事を英語で紹介する。	5/29（金）
4	Lesson4 Little Hero を範囲として、ハチドリの物語や登場人物の行動を読み取る。間接疑問、現在完了進行形を確認し、物語の内容理解と、自分の日常の行動を順序立てて英語で表現する力を高める。	6/12（金）
5	Lesson5 Special Makeup in Kabuki を範囲として、歌舞伎の化粧や日本文化について読み取る。want / ask / tell + 人 + to の形を学び、身近な服装や日本の伝統文化について英語で説明する。	6/26（金）
6	Reading1 Mujina を範囲として、英語で書かれた物語を読み、場面の展開や登場人物の心情を理解する。間接疑問、現在完了形・現在完了進行形、依頼表現を確認し、自分の経験を英語で紹介する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容

1	英語コミュニケーションⅡ-1 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。Pre-Lesson と Lesson1 の語句や本文を扱い、今年の計画やブラーノ島の内容を読み取り、what で始まる名詞節の基本を整理する。
2	Lesson1 を題材に、診察室での基本表現や観光地を紹介する表現を確認する。行ってみたい国やその理由について、because や want to を用いて 3〜5 文程度で表現する練習を行う。
3	Lesson2 With the Beatles を題材に、音楽や人物への思いを読み取る。比較級・最上級の形を確認し、好きな人物とその理由を英語で説明する力を養う。
4	Lesson3 Wild Men を題材に、世界や日本の祭り・行事の目的や特徴を読み取る。It is 〜 to/for 〜 to、It is clear that 〜を確認し、身近な行事を英語で紹介する練習を行う。
5	Lesson4 Little Hero を題材に、ハチドリの物語を読み、登場人物の行動や物語の要点を整理する。間接疑問と現在完了進行形を確認し、日常の行動を順序立てて英語で表現する。
6	Lesson5 Special Makeup in Kabuki を題材に、歌舞伎や日本文化について読み取る。want / ask / tell + 人 + to の形を確認し、日本の伝統文化を紹介する短い英文を書く。
7	Reading1 Mujina を題材に、英語の物語を読み、場面の展開や登場人物の様子を整理する。間接疑問、現在完了形、現在完了進行形を用いて、自分の経験や考えを英語で表現する。
8	第 1 回から第 6 回までの学習内容を総合的に復習する。what で始まる名詞節、比較表現、It is 〜 to/that、間接疑問、現在完了進行形、使役・依頼表現を確認し、本文内容の要点整理と短い英作文に取り組む。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。Pre-Lesson、Lesson1 から Lesson5 及び Reading1 で扱った語句、本文内容、what で始まる名詞節、比較表現、It is 〜 to/that、間接疑問、現在完了形・現在完了進行形、使役・依頼表現などを確認すること。本文内容の読み取りと、身近な内容や自分の考えを表す英作文についても復習すること。英作文では、主語と動詞、時制、語順、接続詞の使い方に注意して書くこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、英語コミュニケーションⅡ-1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、英語の音声、語彙、表現、文法、文構造などの知識を理解し、日常的・社会的な話題について英語を聞いたり読んだりして、概要や要点、必要な情報を捉える技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、日常的・社会的な話題について、必要な情報や考えを整理し、英語で説明したり、自分の意見や理由を伝えたり、相手の考えを理解したりできているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、英語コミュニケーションⅡ-1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
外国語	論理・表現Ⅰ	単位数：２	川野
履修上の注意点			

指導目標

１．食事・道案内・人物紹介、体調説明、旅行の希望、誘い・断り、相談、謝罪、意見交換、提案、ディベート、日本文化紹介など、日常的・社会的な場面に応じた英語表現を理解し、適切に使う力を身に付ける。

２．what 節、関係詞、比較表現、It を用いた構文、関係副詞、現在完了進行形、動詞＋人＋to 不定詞、意見・理由・根拠を示す表現などを確認し、語順や文構造に注意して英文を組み立てる力を養う。

３．身近な人や場所、行ってみたい国、おすすめの本・映画、学校や地域への提案、好きな遊びや日本の行事について、理由や具体例を添えて英語で表現する態度を育てる。

教科書	東京書籍　NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ（論Ⅰ　002-901）	副教材	プリント教材ｅトレ
添削指導	6回	面接指導	8単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1回　4/6（月）～4/24（金）	1回　4/24（金）
2回　4/27（月）～5/15（金）	2回　5/15（金）
3回　5/18（月）～5/29（金）	3回　5/29（金）
4回　6/1（月）～6/12（金）	4回　6/12（金）
5回　6/15（月）～6/26（金）	5回　6/26（金）
6回　6/29（月）～7/10（金）	6回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書 P14～P31 を範囲として、食事での応答、道案内、身近な人物紹介を学習する。相手をほめる表現、丁寧に断る表現、道を尋ねる・教える表現を確認し、身近な人について英語で紹介する。	4/24（金）
2	教科書 P32～P49 を範囲として、体調不良の説明、野菜や食材の説明、行ってみたい国や場所の紹介を学習する。症状を伝える表現、形や特徴を説明する表現、関係詞 where を用いた表現を確認する。	5/15（金）
3	教科書 P50～P67 を範囲として、誘い・断り、相談への助言、本や映画の紹介を学習する。相手を誘う表現、理由を添えて断る表現、好きな作品を理由や感想とともに紹介する表現を確認する。	5/29（金）
4	教科書 P68～P86 を範囲として、謝罪、許す・励ます表現、意見への賛否、提案を学習する。授業間の休憩時間を題材に、主張と理由を整理し、学校生活に関する提案を英語で表現する。	6/12（金）
5	教科書 P88～P111 を範囲として、買い物、ディベート、経験の発表、オリエンテーリングの説明を学習する。肯定側・否定側の意見、反論、例示を用いて、好きな遊びやスポーツを英語で紹介する。	6/26（金）
6	教科書 P112～P135 を範囲として、日本文化の紹介、ペットを飼うことの利点、海外へ行くことの意義について学習する。利点・欠点、理由、具体例を示しながら、日本の行事やイベントについて英語で表現する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容

1	論理・表現Ⅰの自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。食事での応答や丁寧な断り方、道案内の表現を扱い、場面に合った基本表現を整理する。
2	身近な人物を紹介する表現を確認する。性格、趣味、好きなことなどを英語で説明し、相手に伝わる紹介文の作り方を学ぶ。
3	体調不良を伝える表現、野菜や食材の特徴を説明する表現を確認する。色、形、大きさ、重さなどを用いて、具体的に説明する練習を行う。
4	行ってみたい国や場所について、理由を添えて説明する表現を確認する。関係詞や場所を表す表現を用いて、旅行先や地域の魅力を英語で伝える。
5	誘い、断り、助言、相談の場面で使う表現を確認する。相手への配慮を示しながら、自分の都合や理由を英語で述べる練習を行う。
6	謝罪、許す・励ます表現、賛成・反対、提案の表現を確認する。学校生活や地域の課題について、自分の意見と理由を整理して述べる。
7	ディベートの流れを確認し、肯定側・否定側の意見、理由、反論、例示の表現を扱う。オンラインショッピングなど身近な話題について、根拠をもって意見を述べる。
8	第1回から第6回までの学習内容を総合的に復習する。場面別表現、意見・理由・提案の示し方、身近な人・場所・文化・行事の紹介文を確認し、短い英作文に取り組む。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第1回から第6回までで学習した内容を範囲とする。教科書P14～P135で扱った語句、対話表現、食事・道案内・人物紹介、体調説明、旅行希望、誘い・断り、相談、謝罪、意見交換、提案、ディベート、日本文化紹介に関する表現を確認すること。英作文では、主語と動詞、語順、時制、接続表現、理由や具体例の示し方に注意して書くこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、論理・表現Ⅰの目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、英語の音声、語彙、表現、文法、文構造などの基礎的な知識を理解し、目的や場面、状況に応じて英語で表現するための基本的な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、日常的・社会的な話題について、必要な情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、理由や具体例を添えながら、英語で分かりやすく話したり書いたりできているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、英語を用いて自分の考えや気持ちを積極的に表現しようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを3観点に基づいて総合的に判断し、論理・表現Ⅰの目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
外国語	Basic ProgramⅡ	単位数：２	川野
履修上の注意点			

指導目標

１．英語の基本的な文構造を理解し、代名詞、be 動詞、一般動詞、現在進行形、過去形、過去進行形、助動詞などを用いた基礎的な英文を正しく読む力と書く力を身に付ける。

２．未来表現、動名詞、不定詞、接続詞、There is/are、比較、受け身、関係代名詞などの基本事項を学び、語順や文法に注意して英文を組み立てる力を養う。

３．日常生活や身近な話題について、あいさつ、依頼、道案内、買い物、自己紹介、予定、経験、将来の希望などを、簡単な英語で表現できる力を高める。

教科書	東京書籍　ラスパ英語	副教材	プリント教材 e トレ
添削指導	6 回	面接指導	8 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
東京書籍インターネット講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	ラスパ 1～8 を範囲として、代名詞、be 動詞、一般動詞の現在形、現在進行形、場面に応じた基本表現、How を用いた疑問文、can の使い方について学ぶ。自己紹介文を書く活動を通して、基本文型を用いて身近な内容を英語で表現する力を身に付ける。	4/24（金）
2	ラスパ 9～16 を範囲として、曜日・日付の表現、疑問詞、命令文、過去形、have to、過去進行形について学ぶ。過去のできごとや週末に行ったことを英語で表現し、否定文・疑問文の作り方を確認する。	5/15（金）
3	ラスパ 17～24 を範囲として、be going to や will を用いた未来表現、動名詞、不定詞、電話での会話表現、look・sound の用法、if・when・because、There is/are について学ぶ。今後の予定や誘いの表現を用いて英文を書く力を養う。	5/29（金）
4	ラスパ 25～32 を範囲として、道案内、依頼表現、比較級・最上級、受け身、疑問詞＋to 不定詞、関係代名詞、買い物の会話表現について学ぶ。人物紹介文を書く活動を通して、複数の文法事項を組み合わせて表現する力を身に付ける。	6/12（金）
5	ラスパ 1～16 のまとめとして、短縮形、現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、疑問文、can、have to、How を用いた表現を復習する。今日一日のできごとを英語で書き、時制を使い分ける力を確認する。	6/26（金）
6	ラスパ 17～32 のまとめとして、動詞の ing 形、不定詞、There is/are、look・sound、比較級・最上級、受け身、未来表現などを復習する。将来やってみたいことを英語で表現し、既習文法を総合的に活用する力を高める。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	Basic ProgramⅡの自宅学習を進めるために必要な英語学習方法を確認する。代名詞、be 動詞、一般動詞の現在形、現在進行形の使い方を確認し、英文の基本語順に慣れる。
2	場面に応じた基本表現、How を用いた疑問文、can、have to の使い方を確認する。短い応答や自己紹介文を書く際の語順、主語と動詞の対応、語句の選び方を整理する。
3	過去形と過去進行形を確認する。規則動詞・不規則動詞の過去形、be 動詞の過去形、否定文・疑問文の作り方を練習し、過去のできごとを英語で説明する力を養う。
4	未来表現を確認する。be going to と will の基本的な使い方、予定や意思を表す英文、電話での会話表現を取り上げ、今後の予定を英語で伝える練習を行う。
5	動名詞と不定詞の基礎を確認する。好きなこと、目的、理由、感情を表す表現を扱い、to 不定詞や動詞の ing 形を用いて身近な内容を表現する方法を整理する。
6	接続詞、There is/are、look・sound の用法を確認する。if、when、because を用いた文や、存在を表す文を作り、複数の文をつなげて内容を広げる練習を行う。
7	比較級・最上級、受け身、疑問詞＋to 不定詞を確認する。比較表現や「～される」の文を読み取り、人物やものごとを紹介する英文に活用する方法を学ぶ。
8	関係代名詞を含む英文と総合的な英作文を確認する。これまで学習した現在・過去・未来、比較、受け身、不定詞などを組み合わせ、自己紹介、予定、経験、将来の希望を英語で表現する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。代名詞、be 動詞、一般動詞、現在進行形、過去形、過去進行形、can、have to、未来表現、動名詞、不定詞、接続詞、There is/are、比較、受け身、関係代名詞などの基本事項を確認すること。英作文では、主語と動詞、時制、語順に注意して書くこと。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、Basic Program Ⅱの目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、基礎的な学習内容や社会生活に必要な知識を理解し、学習課題や日常生活の課題に取り組むための基本的な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、学習した内容をもとに、自分自身の生活や進路、社会との関わりについて考え、課題を整理し、具体例を挙げながら分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、基礎的な学力や生活力を高め、今後の学習や社会生活に生かそうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、Basic Program Ⅱの目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
家庭科	家庭基礎	単位数：２	今林
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．青年期の自立、家族・家庭、子ども、高齢者、共生社会について学習し、生涯を見通した生活設計に必要な基礎的な知識を身に付ける。

２．食生活、衣生活、住生活、消費生活、環境に配慮した生活について理解し、日常生活の課題を自分の生活と関連付けて考える力を育てる。

３．自分や家族、地域社会の生活をよりよくするために、健康・安全・経済・環境の視点から考え、具体的な行動につなげる態度を養う。

教科書	東京書籍　家庭基礎　自立・共生・創造 （家基　002-901）	副教材	
添削指導	4 回	面接指導	4 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金）		1 回　4/24（金） 2 回　5/15（金） 3 回　5/29（金） 4 回　6/12（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書 P12～P63 を範囲として、生涯発達と青年期の自立、人生 100 年時代、家族・家庭、子どもの発達と子育てについて学習する。自己概念、自立、ライフコース、ワーク・ライフ・バランス、子どもの発達過程や子どもの福祉に関する基礎事項を確認する。	4/24（金）
2	教科書 P64～P111 を範囲として、超高齢社会と介護、共生社会、社会保障、食生活の課題、栄養と食品の安全について学習する。高齢期の心身の特徴、介護保険制度、バリアフリー、生活習慣病、朝食欠食、栄養素、食品添加物などを確認する。	5/15（金）
3	教科書 P112～P165 を範囲として、調理の基礎、食生活の文化と知恵、食品ロス、衣生活、被服の機能と管理について学習する。調理の目的、切り方、郷土食、地産地消、食育、被服の機能、民族衣装、被服の再資源化を確認する。	5/29（金）
4	教科書 P166～P219 を範囲として、住生活、住居の防災と健康、消費生活、消費者保護、持続可能な生活について学習する。住居の機能、ユニバーサルデザイン、シックハウス症候群、契約、キャッシュレス決済、エシカル消費、生活設計を確認する。	6/12（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	家庭基礎の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。青年期の自立、ライフステージ、家族・家庭の役割を扱い、自分の生活や将来の生活設計と関連付けて考える。
2	子どもの発達、高齢者の生活、介護、共生社会について学習する。子どもや高齢者の心身の特徴、社会的支援制度、

	地域で支え合う仕組みを確認し、身近な生活課題として捉える。
3	食生活と衣生活の基礎を学習する。栄養バランス、食品の安全、調理の基礎、食品ロス、被服の機能や手入れ、再資源化について確認する。特に食生活分野については、調理実習を実施し、食材の扱い、調理手順、衛生管理、安全管理、後片付け等を実践的に学習するとともに、健康で持続可能な食生活への工夫について考える。
4	住生活、消費生活、持続可能な生活について学習する。安全で健康な住まい、契約と消費者保護、キャッシュレス決済、エシカル消費、生活設計を確認し、今後の生活に生かす視点を整理する。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第1回から第4回までで学習した内容を範囲とする。教科書P12～P219で扱った青年期の自立、家族・家庭、子ども、高齢者、共生社会、食生活、衣生活、住生活、消費生活、持続可能な生活に関する基礎事項を確認すること。記述問題では、自分の生活経験や将来の生活設計と関連付けて、具体的に考えを述べること。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。
評価に当たっては、家庭基礎の目標に基づき、次の3観点から学習状況を評価する。
「知識・技能」については、青年期の自立、家族・家庭生活、子どもや高齢者との関わり、食生活、衣生活、住生活、消費生活、生活設計などに関する基礎的な知識を理解し、生活をよりよくするために必要な技能を身に付けているかを評価する。
「思考・判断・表現」については、自分や家族、地域社会の生活に関わる課題について、生活の自立や持続可能な社会の視点から考察し、よりよい生活を実現するための方法を自分の言葉で説明・表現できているかを評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、家庭生活や社会生活に関心を持ち、自立した生活者として生活を工夫・改善しようとしているかを評価する。
定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。
これらを3観点に基づいて総合的に判断し、家庭基礎の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。
家庭基礎の面接指導においては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、食生活分野を中心に調理実習等の実験・実習を取り入れ、知識の理解にとどまらず、生活に必要な技能を実践的に身に付けることができるよう指導する。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
情報科	情報Ⅰ	単位数：２	大津
履修上の注意点	必履修科目であるため、卒業までに履修すること。		

指導目標

１．情報とメディア、情報モラル、個人情報、知的財産、情報社会の仕組みについて理解し、情報を適切に扱うための基礎的な知識を身に付ける。

２．情報デザイン、デジタル表現、コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、データ活用について学習し、情報技術を問題解決に活用する力を育てる。

３．情報社会の一員として、AI を含む情報技術の利点と課題を考え、責任をもって主体的に情報を活用する態度を養う。

教科書	東京書籍　新編情報Ⅰ （情Ⅰ　002-901）	副教材	
添削指導	4 回	面接指導	4 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑　実施している　　□　実施していない	
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
東京書籍インターネット講座 1 回　4/6（月）～4/24（金） 2 回　4/27（月）～5/15（金） 3 回　5/18（月）～5/29（金） 4 回　6/1（月）～6/12（金）		1 回　5/1（金） 2 回　5/22（金） 3 回　6/12（金） 4 回　6/26（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書 P7～P34 を範囲として、情報とメディアの特性、問題解決の流れ、発想法、情報モラル、個人情報、知的財産権、情報化による生活の変化について学習する。フィルタリング、パスワード、著作物の利用、ネット依存や VDT 症候群、職業人インタビューを通して、情報社会で必要な態度を確認する。	5/1（金）
2	教科書 P35～P62 を範囲として、情報を伝えるための基礎を学習する。コミュニケーション手段の変化、ネットコミュニケーション、デジタル化、数値・文字・音・画像・色・動画のデジタル表現、データ圧縮、情報デザイン、ユニバーサルデザイン、ピクトグラム制作を確認する。	5/22（金）
3	教科書 P63～P90 を範囲として、コンピュータを活用する仕組みを学習する。入力・出力・制御・記憶・演算装置、ソフトウェア、論理回路、アルゴリズム、Python による基本的なプログラミング、条件分岐、リスト、乱数、モデル化とシミュレーションを確認する。	6/12（金）
4	教科書 P91～P153 を範囲として、ネットワーク、インターネット、情報セキュリティ、データベース、データ分析、AI の活用について学習する。LAN・WAN、プロトコル、サーバ、電子メール、機密性・完全性・可用性、データの種類と尺度、相関、AI 活用のメリットと課題を確認する。	6/26（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	情報Ⅰの自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。情報とメディア、問題解決の流れ、情報モラル、個人情報、知的財産権を扱い、インターネット利用時の注意点を具体的な事例と関連付けて考える。
2	情報を伝えるためのデジタル表現と情報デザインについて学習する。数値・文字・音・画像の表現、データ圧縮、ユニバーサルデザイン、ピクトグラムを確認し、相手に分かりやすく伝える工夫を考える。
3	コンピュータの仕組みとプログラミングの基礎を学習する。入力・出力・記憶・演算・制御の働き、論理回路、アルゴ

	リズム、Python の基本構造を確認し、簡単なプログラムの動作を読み取る。
4	ネットワーク、情報セキュリティ、データ活用、AI の活用について学習する。インターネットの仕組み、サーバ、電子メール、データ分析の流れ、相関、AI 利用時の利点と課題を確認し、情報社会への関わり方を整理する。
単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 4 回までで学習した内容を範囲とする。教科書 P7～P153 で扱った情報とメディア、情報モラル、個人情報、知的財産権、デジタル表現、情報デザイン、コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、データ活用、AI の活用に関する基礎事項を確認する。記述問題では、情報技術の活用方法や注意点を具体的に述べること。
学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準	
添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。 評価に当たっては、情報 I の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。 「知識・技能」については、情報とメディア、情報モラル、情報デザイン、コンピュータの仕組み、プログラミング、ネットワーク、データの活用などに関する基礎的な知識を理解し、情報機器やソフトウェアを適切に活用する技能を身に付けているかを評価する。 「思考・判断・表現」については、情報社会の課題や問題解決の方法について考察し、目的に応じて情報を収集・整理・分析し、適切な方法で分かりやすく表現・発信できているかを評価する。また、プログラミングやデータ分析を通して、課題解決の手順を論理的に考える力を評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、情報社会に主体的に参画し、情報を適切かつ安全に活用しようとしているかを評価する。 定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。 これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、情報 I の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。	
その他	
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。	

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
学校設定教科	SSⅠ-1	単位数：２	瀬口
履修上の注意点			

SS（ソーシャルスキル）は、生徒が学校生活、家庭生活、社会生活をより円滑に送るために必要な対人関係力、自己理解、自己管理、社会参加の力を身に付けることを目的とした学習である。
通信制高校では、自宅学習を中心に学ぶ生徒が多く、登校機会や集団活動の機会が限られる場合がある。そのため、学習面の支援だけでなく、あいさつ、質問、相談、依頼、断り方、感情のコントロール、トラブルへの対応など、日常生活や社会生活で必要となる基本的な行動を具体的な場面に即して学ぶことが重要である。
本校の SS では、友人、家族、先生、職場、地域社会など、実際に生徒が関わる可能性のある場面を取り上げ、適切な言葉遣いや行動、相手の立場を考えた対応、自分の考えや気持ちの伝え方を学習する。また、薬物乱用防止、金銭トラブル、交通事故、情報モラル、健康や安全に関する内容も扱い、生徒が自立した生活を送るための基礎を育てる。
SSⅠでは、学校生活や日常生活における基本的なソーシャルスキルを学ぶ。あいさつ、質問、頼み方、断り方、ストレスへの対応、友人関係、家庭での関わりなどを通して、人と関わるための基本的な知識と行動を身に付ける。
・SSⅠ-1 の指導目標
１．ソーシャル・スキルの基本的な考え方を理解し、周囲の人とよりよく関わるためのあいさつ、質問、援助要請、断り方、頼み方などの基礎的な方法を身に付ける。
２．ストレスの感じ方やストレスマネジメントの方法、時間や約束を守ることの大切さを理解し、学校生活や日常生活で信頼される行動を選択できる力を養う。
３．友達への手助け、学校での参加、ボランティア活動について考え、自分と周囲の人の双方にとって望ましい行動を具体的な場面に応じて実践しようとする態度を育てる。

教科書	自校教材　ソーシャルスキルⅠ	副教材	プリント教材
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
NHK 高校講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書 P1～P12 を範囲として、ソーシャル・スキルの基本的な考え方、援助を受けるための行動、遅刻時の連絡、第一印象について学習する。場面に応じた言動が、手助けを受けたり引き立てられたりすることにつながることを理解する。	4/24（金）
2	教科書 P13～P28 を範囲として、学校で初めて会う人へのあいさつと、友達に質問する方法について学習する。声の大きさ、視線、表情、相手との距離、質問のタイミングや許可など、相手に配慮した関わり方を整理する。	5/15（金）
3	教科書 P29～P40 を範囲として、依頼を断る方法と友人に頼む方法について学習する。断る必要がある場面、相手を不快にさせにくい断り方、頼む内容を明確にし理由や感謝を伝える方法を具体的な場面で考え	5/29（金）

	る。	
4	教科書 P41～P54 を範囲として、ストレスの特徴とストレスマネジメント、時間と約束を守ることについて学習する。ストレッサーの種類、ストレスへの対処法、遅刻時の連絡内容、信頼される行動について考える。	6/12（金）
5	教科書 P55～P66 を範囲として、困っている友達への手助けと、学校での参加・ボランティアについて学習する。相手の立場に立って声をかけること、学校生活に主体的に参加すること、ボランティア活動の意義を理解する。	6/26（金）
6	教科書 P1～P66 を範囲として、Lesson1 から Lesson5 までの内容を総合的に復習する。あいさつ、質問、断り方、頼み方、ストレスマネジメント、遅刻連絡、友達への手助け、ボランティアについて、具体的な場面に応じた行動を整理する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	SSⅠ-1 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。ソーシャル・スキルの考え方、あいさつ、質問、断り方、頼み方を扱い、学校生活で相手に伝わる言動を場面ごとに考える。
2	ストレスマネジメント、時間と約束を守ること、友達への手助け、学校参加・ボランティアについて学習する。自分の行動を振り返り、信頼される関わり方や周囲を支える行動を具体的に考える。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。教科書 P1～P66 で扱ったソーシャル・スキルの考え方、あいさつ、質問、断り方、頼み方、ストレスマネジメント、時間と約束、友達への手助け、学校参加・ボランティアについて、基本的な知識と具体的な場面での対応を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、SSⅠ-1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、援助の受け方、あいさつ、質問の仕方、断り方、頼み方、ストレスマネジメント、時間や約束の守り方、友達への援助、ボランティアなどに関する基礎的な知識を理解し、学校生活や日常生活で必要となる基本的なソーシャルスキルを身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、学校生活や友人関係の場面に応じて、どのような言動が適切かを考え、自分や相手の立場を踏まえて判断し、具体的な言葉や行動として分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、学習したソーシャルスキルを学校生活や日常生活の中で生かし、人間関係をよりよくしようとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、SSⅠ-1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
学校設定教科	SSⅠ-2	単位数：２	瀬口
履修上の注意点			

SS（ソーシャルスキル）は、生徒が学校生活、家庭生活、社会生活をより円滑に送るために必要な対人関係力、自己理解、自己管理、社会参加の力を身に付けることを目的とした学習である。

通信制高校では、自宅学習を中心に学ぶ生徒が多く、登校機会や集団活動の機会が限られる場合がある。そのため、学習面の支援だけでなく、あいさつ、質問、相談、依頼、断り方、感情のコントロール、トラブルへの対応など、日常生活や社会生活で必要となる基本的な行動を具体的な場面に即して学ぶことが重要である。

本校の SS では、友人、家族、先生、職場、地域社会など、実際に生徒が関わる可能性のある場面を取り上げ、適切な言葉遣いや行動、相手の立場を考えた対応、自分の考えや気持ちの伝え方を学習する。また、薬物乱用防止、金銭トラブル、交通事故、情報モラル、健康や安全に関する内容も扱い、生徒が自立した生活を送るための基礎を育てる。

SSⅠでは、学校生活や日常生活における基本的なソーシャルスキルを学ぶ。あいさつ、質問、頼み方、断り方、ストレスへの対応、友人関係、家庭での関わりなどを通して、人と関わるための基本的な知識と行動を身に付ける。

・SSⅠ-2 指導目標

１．家族との関わり方や相手の気持ちを聴く姿勢を理解し、家庭や身近な人間関係の中で、あいさつや連絡、受け止め方を工夫できる力を養う。

２．職場や学校生活で必要となる断り方・頼み方、怒りの自己コントロール、トラブル解決の手順を理解し、具体的な場面に応じて適切に表現・行動できる力を身に付ける。

３．法律や規則を守ることの意味、薬物等の危険な誘いを断る必要性を理解し、自分と周囲の安全を守るために責任ある判断ができる態度を育てる。

教科書	自校教材　ソーシャルスキルⅠ	副教材	プリント教材
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
NHK 高校講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書 P67～P80 を範囲として、家族とのコミュニケーションと、相手の気持ちを聴く方法について学習する。帰宅時や外出時の連絡・あいさつ、保護者の気持ちの理解、話を「聞く」ことと「聴く」ことの違いを具体的な場面で考える。	4/24（金）
2	教科書 P81～P92 を範囲として、職場での断り方と頼み方について学習する。相手への配慮の言葉、理由の伝え方、はっきり断ること、代替案の提示、頼む内容や理由を明確に伝えることを、アルバイト等の場面に即して整理する。	5/15（金）
3	教科書 P93～P106 を範囲として、怒りの自己コントロールとトラブル解決法について学習する。怒りに支配されず行動する方法、感情を冷静に伝える表現、目標設定・選択肢・予想・実行による問題解決の手順を理解する。	5/29（金）
4	教科書 P107～P122 を範囲として、法律や規則を守ること、シンナーなど危険な誘いを断ることについて学習する。法律や規則の必要性、規則を破りやすい心理、薬物乱用の危険性、断り方の工夫を具体的に考える。	6/12（金）
5	教科書 P67～P122 を範囲として、Lesson6 から Lesson9 までの内容を総合的に復習する。家族への言葉かけ、気持ちを	6/26（金）

	聴く姿勢、職場での断り方・頼み方、怒りの伝え方、トラブル解決、法律・規則、危険な誘いへの対応を整理する。	
6	教科書 P1～P122 を範囲として、SSⅠ全体の内容を総合的に復習する。あいさつ、質問、断り方、頼み方、ストレスマネジメント、時間と約束、手助け、ボランティア、家族・職場での対応、怒りのコントロール、法律・規則について確認する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	SSⅠ-2 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。家族との連絡やあいさつ、相手の気持ちを聴く姿勢、職場での断り方・頼み方を扱い、身近な場面で相手に配慮して行動する方法を考える。
2	怒りの自己コントロール、トラブル解決法、法律や規則を守ること、危険な誘いを断ることについて学習する。自分と周囲の安全を守るために、感情や状況を整理し、責任ある判断と行動を具体的に考える。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。教科書 P1～P122 で扱ったソーシャル・スキルの考え方、家族との関わり、気持ちを聴く姿勢、職場での断り方・頼み方、怒りのコントロール、トラブル解決、法律・規則、危険な誘いへの対応について、基本的な知識と具体的な場面での対応を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、SSⅠ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、家族との関わり、相手の気持ちの聴き方、職場での断り方や頼み方、怒りのコントロール、トラブル解決、法律や規則の遵守、薬物乱用防止などに関する基礎的な知識を理解し、日常生活や社会生活で必要となる基本的なソーシャルスキルを身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、家庭、学校、職場、友人関係などの場面に応じて、相手の立場や状況を踏まえた適切な言動を考え、課題やトラブルの解決に向けて具体的な言葉や行動として分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、学習したソーシャルスキルを家庭生活、学校生活、社会生活の中で生かし、よりよい人間関係や安全な生活を築こうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、SSⅠ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
学校設定教科	SSⅡ-1	単位数：１	今林
履修上の注意点			

SS（ソーシャルスキル）は、生徒が学校生活、家庭生活、社会生活をより円滑に送るために必要な対人関係力、自己理解、自己管理、社会参加の力を身に付けることを目的とした学習である。
通信制高校では、自宅学習を中心に学ぶ生徒が多く、登校機会や集団活動の機会が限られる場合がある。そのため、学習面の支援だけでなく、あいさつ、質問、相談、依頼、断り方、感情のコントロール、トラブルへの対応など、日常生活や社会生活で必要となる基本的な行動を具体的な場面に即して学ぶことが重要である。
本校の SS では、友人、家族、先生、職場、地域社会など、実際に生徒が関わる可能性のある場面を取り上げ、適切な言葉遣いや行動、相手の立場を考えた対応、自分の考えや気持ちの伝え方を学習する。また、薬物乱用防止、金銭トラブル、交通事故、情報モラル、健康や安全に関する内容も扱い、生徒が自立した生活を送るための基礎を育てる。
SSⅡでは、SSⅠで学んだ基本をもとに、家庭、学校、職場、地域社会など、より広い場面での対応力を養う。職場でのあいさつや敬語、先生への相談、友人とのトラブル、ボランティア、健康や安全に関する学習を通して、社会生活に必要な判断力や表現力を高める。
・SSⅡ-1 指導目標
１．SSⅠで学習したあいさつ、質問、断り方、頼み方、ストレスマネジメント、トラブル解決などの基本を復習し、日常生活の中で活用できる力を養う。
２．個人のネットワークを広げる意義を理解し、友人とのあいさつ、対面・電話での質問、友人への断り方、先生への頼み方など、場面に応じた適切な関わり方を身に付ける。
３．自分に合ったストレス解消法、友人とのトラブルを悪化させない考え方、薬物の誘いを断る判断力、街中でのボランティアの姿勢を学び、自他を尊重して行動する態度を育てる。

教科書	自校教材　ソーシャルスキルⅡ	副教材	プリント教材
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
NHK 高校講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	SSⅠの復習と、教科書 P1～P10「個人のネットワークを作れる人」を範囲として学習する。ソーシャル・スキルの基本、あいさつ・質問・断り方・頼み方等を確認し、身近な人とのつながりである「わたしネットワーク」の意味や活用方法を考える。	4/24（金）
2	教科書 P11～P24 を範囲として、友人との毎日のあいさつと、分からないことを質問する方法について学習する。友人に対するあいさつの目的やポイント、対面・電話・知らない人に質問する際の手順や配慮を具体的な場面で考える。	5/15（金）
3	教科書 P25～P36 を範囲として、友人からの誘いを断る方法と、先生に依頼する方法について学習する。	5/29

	断る理由や代替案の伝え方、断固として断る必要がある場面、先生に相談・依頼するときの言葉遣いや手順を整理する。	（金）
4	教科書 P37～P48 を範囲として、自分に合ったストレス解消法と、友人とのトラブルを悪化させない考え方について学習する。ストレス状態に応じた解消法を選ぶこと、一方的な思い込みを避けて事実を確認することの大切さを考える。	6/12 （金）
5	教科書 P49～P60 を範囲として、薬物乱用の危険性と、街中や乗り物でのボランティアについて学習する。薬物に誘われたときの断り方、フラッシュバックの危険性、困っている人への声のかけ方や援助の考え方を理解する。	6/26 （金）
6	教科書 P1～P60 を範囲として、SSⅡ-1 の内容を総合的に復習する。わたしネットワーク、友人とのあいさつ、質問、断り方、先生への頼み方、ストレス解消、トラブル回避、薬物の誘いへの対応、街中でのボランティアを確認する。	7/10 （金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	SSⅡ-1 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。SSⅠで学んだ基本的なソーシャル・スキルを振り返り、個人のネットワークを広げること、友人とのあいさつ、対面・電話での質問の仕方を具体的な場面に即して考える。
2	友人からの誘いを断る方法、先生への頼み方、自分に合ったストレス解消法、友人とのトラブルを悪化させない考え方、薬物の誘いを断る対応、街中でのボランティアについて学習する。自分と周囲の安全を守り、相手に配慮して行動する方法を考える。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。教科書 P1～P60 で扱った、SSⅠの復習、わたしネットワーク、友人とのあいさつ、対面・電話での質問、友人間の断り方、先生への頼み方、自分に合ったストレス解消法、友人とのトラブルを悪化させない考え方、薬物乱用の危険性と断り方、街中や乗り物でのボランティアについて、基本的な知識と具体的な場面での行動を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、SSⅡ-1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、SSⅠで学習した基本的なソーシャルスキルを振り返るとともに、人間関係を広げる方法、友人とのあいさつ、質問の仕方、友人間での断り方、先生への頼み方、ストレス解消法、友人とのトラブル回避、薬物乱用防止、街中でのボランティアなどに関する基礎的な知識を理解し、学校生活や社会生活で必要となる基本的な技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、友人関係、先生との関わり、アルバイトや地域での場面などに応じて、相手の立場や状況を踏まえた適切な言動を考え、課題やトラブルの解決に向けて具体的な言葉や行動として分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、学習したソーシャルスキルを学校生活、家庭生活、社会生活の中で生かし、よりよい人間関係や安全な生活を築こうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、SSⅡ-1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
学校設定教科	SSⅡ-2	単位数：２	今林
履修上の注意点			

SS（ソーシャルスキル）は、生徒が学校生活、家庭生活、社会生活をより円滑に送るために必要な対人関係力、自己理解、自己管理、社会参加の力を身に付けることを目的とした学習である。
通信制高校では、自宅学習を中心に学ぶ生徒が多く、登校機会や集団活動の機会が限られる場合がある。そのため、学習面の支援だけでなく、あいさつ、質問、相談、依頼、断り方、感情のコントロール、トラブルへの対応など、日常生活や社会生活で必要となる基本的な行動を具体的な場面に即して学ぶことが重要である。
本校の SS では、友人、家族、先生、職場、地域社会など、実際に生徒が関わる可能性のある場面を取り上げ、適切な言葉遣いや行動、相手の立場を考えた対応、自分の考えや気持ちの伝え方を学習する。また、薬物乱用防止、金銭トラブル、交通事故、情報モラル、健康や安全に関する内容も扱い、生徒が自立した生活を送るための基礎を育てる。
SSⅡでは、SSⅠで学んだ基本をもとに、家庭、学校、職場、地域社会など、より広い場面での対応力を養う。職場でのあいさつや敬語、先生への相談、友人とのトラブル、ボランティア、健康や安全に関する学習を通して、社会生活に必要な判断力や表現力を高める。
・SSⅡ-2 指導目標
１．職場でのあいさつや敬語、先生への質問の仕方を学び、相手や場面に応じた適切な言葉遣いで意思を伝える力を養う。
２．家族への断り方、大きな頼みごとの依頼方法、怒りのコントロール、相談相手の選び方を理解し、日常生活や学校生活で起こる人間関係の課題に落ち着いて対応する力を身に付ける。
３．HIV・エイズに関する正しい知識、No Sex の意思表示、家庭でのボランティアを通して、自分と相手の心身を守り、家族や周囲の人と協力して生活する態度を育てる。

教科書	自校教材　ソーシャルスキルⅡ	副教材	プリント教材
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
NHK 高校講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書 P61～P72 を範囲として、職場でのあいさつと敬語、先生への質問の仕方について学習する。出勤時や退勤時、謝罪や依頼を受けた時の適切なあいさつ、職場でふさわしい言葉遣い、進路や学習について先生に質問する意義と手順を確認する。	4/24（金）
2	教科書 P73～P84 を範囲として、家族への断り方と大きな頼みごとの依頼方法について学習する。第二反抗期や家族との関係を踏まえ、理由を伝えて丁寧に断ること、相手の負担を考えて具体的に頼むこと、断られた時の受け止め方を考える。	5/15（金）
3	教科書 P85～P96 を範囲として、カッとならないための考え方と相談相手の見つけ方について学習する。怒りを落ち着かせて状況を分析し、目的に合った行動を選ぶ方法や、問題解決のために適切なサポート源	5/29（金）

	へ相談する手順を整理する。	
4	教科書 P97～P110 を範囲として、HIV・エイズに関する知識と、家庭でのボランティアについて学習する。HIV の感染経路、No Sex の意味と意思表示の方法、望まない妊娠や性感染症を防ぐ考え方、家族の一員として家庭で協力する行動を考える。	6/12（金）
5	教科書 P61～P110 を範囲として、SSⅡ-2 前半の内容を復習する。職場でのあいさつ、先生への質問、家族への断り方、頼み方、怒りのコントロール、サポート源、HIV・エイズ、家庭でのボランティアについて確認する。	6/26（金）
6	教科書 P1～P110 を範囲として、SSⅡ全体の内容を総合的に復習する。わたしネットワーク、質問・断り方・頼み方、ストレス解消、トラブル回避、薬物の誘いへの対応、職場や家庭での関わり方、No Sex の意思表示などを確認する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	SSⅡ-2 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。職場でのあいさつや敬語、先生への質問、家族への丁寧な断り方、大きな頼みごとの依頼方法について、具体的な場面をもとに考え、相手に配慮して伝える方法を学ぶ。
2	カッとならないための自己コントロール、相談相手の選び方、HIV・エイズに関する正しい知識、No Sex の意思表示、家庭でのボランティアについて学習する。自分と相手の安全を守り、周囲と協力して生活する姿勢を考える。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。教科書 P1～P110 で扱った、SSⅡの復習、職場でのあいさつ、先生への質問、家族への断り方、頼み方、怒りのコントロール、サポート源、HIV・エイズと No Sex の意思表示、家庭でのボランティアについて、基本的な知識と具体的な場面での行動を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、SSⅡ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、職場でのあいさつや敬語、先生への質問、家族への断り方、頼み方、怒りのコントロール、相談相手の見つけ方、性感染症や HIV に関する知識、家庭での役割やボランティアなどに関する基礎的な知識を理解し、家庭生活・学校生活・社会生活で必要となる基本的なソーシャルスキルを身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、家庭、学校、職場、友人関係などの場面に応じて、相手の立場や状況を踏まえた適切な言動を考え、課題やトラブルの解決に向けて具体的な言葉や行動として分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、学習したソーシャルスキルを家庭生活、学校生活、社会生活の中で生かし、よりよい人間関係や安全で健康的な生活を築こうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、SSⅡ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
学校設定教科	SSⅢ-1	単位数：２	杉山
履修上の注意点			

SS（ソーシャルスキル）は、生徒が学校生活、家庭生活、社会生活をより円滑に送るために必要な対人関係力、自己理解、自己管理、社会参加の力を身に付けることを目的とした学習である。
通信制高校では、自宅学習を中心に学ぶ生徒が多く、登校機会や集団活動の機会が限られる場合がある。そのため、学習面の支援だけでなく、あいさつ、質問、相談、依頼、断り方、感情のコントロール、トラブルへの対応など、日常生活や社会生活で必要となる基本的な行動を具体的な場面に即して学ぶことが重要である。
本校の SS では、友人、家族、先生、職場、地域社会など、実際に生徒が関わる可能性のある場面を取り上げ、適切な言葉遣いや行動、相手の立場を考えた対応、自分の考えや気持ちの伝え方を学習する。また、薬物乱用防止、金銭トラブル、交通事故、情報モラル、健康や安全に関する内容も扱い、生徒が自立した生活を送るための基礎を育てる。
SSⅢでは、卒業後の進路や社会生活を見据え、より実践的なソーシャルスキルを身に付ける。会社訪問、電話のマナー、メモの取り方、金銭トラブル、交通事故、災害支援、相手を大切にする関係づくりなどを学び、社会の一員として自立して行動する力を育てる。
・SSⅢ-1 指導目標
１．SSⅠ・SSⅡで学習した基本的なソーシャルスキルを復習し、人望・信頼・評価につながる言動を理解して、相手の立場や状況に応じて行動する力を養う。
２．会社訪問・面接時のあいさつ、保護者の話の聴き方、勧誘電話や契約トラブルへの対応、家族への頼み方を学び、社会生活で必要なコミュニケーション力を身に付ける。
３．苦手な相手との付き合い方、金銭トラブルの予防、健康的な食生活、地域ボランティアを通して、自分と周囲の生活をよりよくしようとする態度を育てる。

教科書	自校教材　ソーシャルスキルⅢ	副教材	プリント教材
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
NHK 高校講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書「SSⅠ及びⅡの復習」及び P1～P10 を範囲として、これまで学んだソーシャルスキルの基本と、Lesson1「人望がある人、人を動かせる人」について学習する。人望がもたらされる要素や、他人から評価され信頼される人の具体的な行動を確認し、よりよい人間関係を築く態度を考える。	4/24（金）
2	教科書 P11～P22 を範囲として、会社訪問の受付でのあいさつと、保護者の話の聴き方について学習する。会社訪問や面接時に必要なあいさつ、服装や見た目の配慮、保護者との進路に関するコミュニケーションを確認する。	5/15（金）
3	教科書 P23～P34 を範囲として、電話での勧誘への対応と、家族への頼み方について学習する。怪しい勧	5/29（金）

	誘や契約トラブルへの対応、クーリング・オフ制度などの知識、家族に理由や内容を明確に伝えて依頼する方法を確認する。	
4	教科書 P35～P48 を範囲として、苦手な相手との付き合い方と、金銭トラブルの避け方について学習する。相手を傷つけずに距離を取る方法、不快感の伝え方、金銭の貸し借りを避ける考え方、トラブル解決の手順を確認する。	6/12（金）
5	教科書 P47～P58 を範囲として、健康的な食生活と地域でのボランティアについて学習する。バランスのよい食事、不足しがちな栄養素、食生活指針を確認し、地域や海外のボランティア活動への関心を広げる。	6/26（金）
6	教科書 P1～P58 を範囲として、SSⅢ-1 で学習した内容を総合的に復習する。人望と信頼、会社訪問のあいさつ、保護者の話の聴き方、勧誘電話への対応、家族への頼み方、苦手な相手への対応、金銭トラブル、食生活、地域ボランティアについて確認する。	7/10（金）

面接指導（スクーリング）	
回	学習内容
1	SSⅢ-1 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。人望や信頼につながる言動、会社訪問・面接時のあいさつ、保護者の話の聴き方、勧誘電話や契約トラブルへの対応、家族への頼み方について、具体的な場面をもとに考える。
2	苦手な相手との付き合い方、金銭トラブルの予防、健康的な食生活、地域でのボランティアについて学習する。自分と相手の関係を悪化させない対応や、社会の一員として周囲に貢献する行動を考え、日常生活での実践につなげる。

単位認定試験	
回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。教科書 P1～P58 で扱った、SSⅠ・SSⅡの復習、人望と信頼、会社訪問のあいさつ、保護者の話の聴き方、勧誘電話と契約トラブル、家族への頼み方、苦手な相手との付き合い方、金銭トラブル、健康的な食生活、地域ボランティアについて、基本的な知識と具体的な場面での行動を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、SSⅢ-1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、SSⅠ及びSSⅡで学習した基本的なソーシャルスキルを振り返るとともに、人望や信頼、会社訪問時のあいさつ、保護者とのコミュニケーション、勧誘電話への対応、家族への頼み方、苦手な相手との関わり方、金銭トラブルの回避、食生活、地域でのボランティアなどに関する基礎的な知識を理解し、家庭生活・学校生活・社会生活で必要となる技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、家庭、学校、職場、地域社会などの場面に応じて、相手の立場や状況を踏まえた適切な言動を考え、課題やトラブルの解決に向けて具体的な言葉や行動として分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、学習したソーシャルスキルを家庭生活、学校生活、社会生活の中で生かし、信頼される人間関係やよりよい生活を築こうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、SSⅢ-1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
学校設定教科	SSⅢ-2	単位数：２	杉山
履修上の注意点			

SS（ソーシャルスキル）は、生徒が学校生活、家庭生活、社会生活をより円滑に送るために必要な対人関係力、自己理解、自己管理、社会参加の力を身に付けることを目的とした学習である。

通信制高校では、自宅学習を中心に学ぶ生徒が多く、登校機会や集団活動の機会が限られる場合がある。そのため、学習面の支援だけでなく、あいさつ、質問、相談、依頼、断り方、感情のコントロール、トラブルへの対応など、日常生活や社会生活で必要となる基本的な行動を具体的な場面に即して学ぶことが重要である。

本校の SS では、友人、家族、先生、職場、地域社会など、実際に生徒が関わる可能性のある場面を取り上げ、適切な言葉遣いや行動、相手の立場を考えた対応、自分の考えや気持ちの伝え方を学習する。また、薬物乱用防止、金銭トラブル、交通事故、情報モラル、健康や安全に関する内容も扱い、生徒が自立した生活を送るための基礎を育てる。

SSⅢでは、卒業後の進路や社会生活を見据え、より実践的なソーシャルスキルを身に付ける。会社訪問、電話のマナー、メモの取り方、金銭トラブル、交通事故、災害支援、相手を大切にする関係づくりなどを学び、社会の一員として自立して行動する力を育てる。

・SSⅢ-2 指導目標

１．電話のマナーやメモの取り方を学び、相手の状況に応じて必要な情報を正確に伝え、記録する力を養う。

２．キャッチセールス等への明確な断り方、自分のおすすめを相手に配慮して伝える方法、適度なストレスの活用、交通事故時の対応を理解し、社会生活で必要な判断力と行動力を身に付ける。

３．相手を大切にする男女交際、望まない妊娠やデート DV の防止、災害時のボランティアや募金詐欺への注意を通して、自分と他者を守りながら社会に関わる態度を育てる。

教科書	自校教材　ソーシャルスキルⅢ	副教材	プリント教材
添削指導	6 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☑ 実施している　□ 実施していない	

メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
NHK 高校講座	
1 回　4/6（月）～4/24（金）	1 回　4/24（金）
2 回　4/27（月）～5/15（金）	2 回　5/15（金）
3 回　5/18（月）～5/29（金）	3 回　5/29（金）
4 回　6/1（月）～6/12（金）	4 回　6/12（金）
5 回　6/15（月）～6/26（金）	5 回　6/26（金）
6 回　6/29（月）～7/10（金）	6 回　7/10（金）

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	教科書 P59～P70 を範囲として、Lesson6 Unit1「電話のマナー」と Unit2「忘れないように（メモを取る）」について学習する。電話をかける時間帯や相手に合わせた言葉遣い、声の大きさ、聞き取りやすい発音を確認し、予定や連絡事項を要点に沿って正確にメモする方法を身に付ける。	4/24（金）
2	教科書 P71～P82 を範囲として、Lesson7 Unit1「キャッチセールス」と Unit2「こうしたほうがいい」について学習する。キャッチセールスや訪問販売に対して理由を付けず明確に断る方法を確認し、自分のおすすめを相手の好みや状況に配慮して伝える方法を考える。	5/15（金）
3	教科書 P83～P94 を範囲として、Lesson8 Unit1「ストレスを活かす」と Unit2「交通事故を起こした」について学習する。適度なストレスを成長につなげる考え方を学び、交通事故が起きた場合の救急・警察へ	5/29（金）

	の通報、現場保全、示談を避ける理由などを確認する。	
4	教科書 P95～P108 を範囲として、Lesson9 Unit1「相手を大切に」と Unit2「だれも見てない」について学習する。避妊法、望まない妊娠、デート DV などを通して相手を大切にする交際を考え、災害ボランティア、救援物資、募金詐欺への注意について理解を深める。	6/12 （金）
5	教科書 P59～P108 を範囲として、SSⅢ-2 で学習した内容を総合的に復習する。電話のマナー、メモの取り方、キャッチセールスへの対応、すすめ方、適度なストレス、交通事故時の対応、相手を大切にする交際、災害時のボランティアについて確認する。	6/26 （金）
6	教科書 P1～P108 を範囲として、SSⅢ全体の内容を総合的に復習する。人望・会社訪問・保護者対応・勧誘電話・家族への依頼・苦手な相手への対応・金銭トラブル・食生活・地域ボランティアに加え、電話、メモ、キャッチセールス、交通事故、男女交際、災害支援までを確認する。	7/10 （金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	SSⅢ-2 の自宅学習を進めるために必要な学習方法を確認する。電話のマナー、メモの取り方、キャッチセールスへの明確な断り方、相手に配慮したすすめ方について、具体的な場面をもとに考える。
2	適度なストレスの活用、交通事故時の対応、相手を大切にする交際、災害時のボランティアや募金詐欺への注意について学習する。自分と相手を守る行動を確認し、日常生活での実践につなげる。

単位認定試験

回	範囲
1	添削課題第 1 回から第 6 回までで学習した内容を範囲とする。教科書 P1～P108 で扱った、SSⅢ-1 及び SSⅢ-2 の内容、電話のマナー、メモの取り方、キャッチセールスへの対応、すすめ方、適度なストレス、交通事故時の対応、相手を大切にする交際、災害時のボランティア、募金詐欺への注意について、基本的な知識と具体的な場面での行動を確認する。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、単位認定試験の結果を総合して評価する。

評価に当たっては、SSⅢ-2 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、電話のマナー、メモの取り方、キャッチセールスへの対応、相手へのすすめ方、ストレスの活用、交通事故時の対応、相手を大切にする関係づくり、災害支援や募金に関する知識などを理解し、家庭生活・学校生活・社会生活で必要となる実践的なソーシャルスキルを身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、日常生活や社会生活で起こり得る場面に応じて、相手の立場や状況、自分や周囲の安全を踏まえた適切な言動を考え、課題やトラブルの解決に向けて具体的な言葉や行動として分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票、単位認定試験に主体的に取り組み、学習したソーシャルスキルを家庭生活、学校生活、社会生活の中で生かし、他者を尊重しながら安全でよりよい生活を築こうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出し、単位認定試験を受験することを単位修得の前提とする。

これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、SSⅢ-2 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間１	単位数：２	遠山
履修上の注意点			

指導目標

１．自己、地域、社会に関わる身近な課題の中から興味・関心に基づいて探究領域を選び、課題設定（問い）を具体化する力を養う。

２．一次情報・二次情報の違いを理解し、情報源を記録しながら必要な情報を収集・整理する基礎的な力を身に付ける。

３．探究の成果を報告書としてまとめ、自己評価と振り返りを通して、探究学習の進め方を理解し、今後の学習につなげる態度を育てる。

教科書	プリント教材	副教材	
添削指導	2 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☐ 実施している	☑ 実施していない
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
NHK 高校講座 1 回　4/6（月）～5/15（金） 2 回　5/18（月）～6/12（金）		1 回　5/15（金） 2 回　6/12（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	探究学習の目的と進め方を確認し、現代的な諸課題、地域課題、職業や進路の中から探究領域を選択する。自分の興味・関心をもとに探究テーマ（課題設定・問い）を決め、テーマ設定理由、学習計画、必要な準備を具体的に整理する。一次情報と二次情報の違い、情報源の記録の必要性についても確認する。	5/15（金）
2	第 1 回で立てた学習計画に基づき、収集した情報を整理・分析し、探究成果を報告書としてまとめる。テーマ・課題設定、基本情報、調査方法、根拠、考察、今後の課題、参考文献を示し、自己評価と振り返りを通して、探究活動で得た学びと今後の課題を確認する。	6/12（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	総合的な探究の時間 1 の自宅学習を進めるために、探究学習の目的、探究領域の選び方、課題設定（問い）の立て方を確認する。興味・関心をもとにテーマを具体化し、一次情報・二次情報の収集方法、学習計画の立て方について考える。
2	探究成果を報告書にまとめるため、情報の整理・分析、根拠の示し方、考察・今後の課題、参考文献の記載方法を確認する。自己評価と振り返りを通して、探究活動で得た学びを今後の学習や進路につなげる。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容を総合して評価する。

評価に当たっては、総合的な探究の時間 1 の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、探究課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の方法について理解し、必要な情報を適切に収集し、参考文献や資料を活用しながら探究学習を進める技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、自分の興味・関心や地域、社会、進路に関する課題から探究テーマを設定し、収集した情報を整理・分析して、自分なりの考えや課題解決に向けた方向性を分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票に主体的に取り組み、自ら課題を見いだし、探究活動を通して自己の学びや今後の生活・進路に生かそうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出することを単位修得の前提とする。なお、総合的な探究の時間 1 では単位認定試験は実施しない。 これらを 3 観点に基づいて総合的に判断し、総合的な探究の時間 1 の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。
その他
面接指導（スクーリング）及び単位認定試験の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担 当 者
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間２	単位数：２	大木
履修上の注意点			

指導目標

１．自己の興味・関心をもとに、地域や社会、職業や進路とのつながりを意識した探究テーマを設定し、課題を多面的に捉える力を養う。

２．複数の資料や情報を比較し、必要な情報を選択・整理・分析しながら、根拠に基づいて考察する力を身に付ける。

３．探究の成果を報告書としてまとめ、他者に伝わるように構成や表現を工夫し、学習成果を今後の進路選択や社会生活につなげる態度を育てる。

教科書	プリント教材	副教材	
添削指導	2 回	面接指導	2 単位時間
メディア視聴・減免の有無		☐ 実施している	☑ 実施していない
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
NHK 高校講座 1 回　4/6（月）～5/15（金） 2 回　5/18（月）～6/12（金）		1 回　5/15（金） 2 回　6/12（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	総合的な探究の時間 1 で学んだ探究学習の基本を振り返り、地域、社会、職業や進路とのつながりを意識しながら探究領域を選択する。自分の関心だけでなく、社会的な意義や他者との関わりも踏まえて探究テーマ（課題設定・問い）を決め、テーマ設定理由、学習計画、必要な準備を具体的に整理する。情報収集においては、複数の資料や立場の違う意見を比較することを意識する。	5/15（金）
2	第 1 回で設定した探究テーマに基づき、収集した複数の情報を比較・整理・分析し、探究成果を報告書としてまとめる。テーマに関する基本情報、調査方法、根拠、考察、今後の課題を整理し、自分の考えが根拠に基づいて説明できているかを確認する。自己評価と振り返りを通して、探究活動で得た学びを進路や社会との関わりに結び付ける。	6/12（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	総合的な探究の時間 2 の自宅学習を進めるために、探究テーマを地域・社会・進路との関わりから深める方法を確認する。複数の資料を比較する視点、一次情報・二次情報の活用方法、調査計画の立て方について学び、根拠に基づいた探究活動につなげる。
2	収集した情報を比較・分析し、報告書として整理する方法を確認する。根拠と自分の考えを区別し、社会的背景や他者の意見を踏まえて考察を深める。自己評価と振り返りを通して、探究活動で得た学びを今後の進路選択や社会参加につなげる。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容を総合して評価する。

評価に当たっては、総合的な探究の時間２の目標に基づき、次の 3 観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、探究課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の方法について理解し、必要な情報を適切に収集し、参考文献や資料を活用しながら探究学習を進める技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、自分の興味・関心や地域、社会、進路に関する課題から探究テーマを設定し、収集した情報を整理・分析して、自分なりの考えや課題解決に向けた方向性を分かりやすく表現できているかを評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票に主体的に取り組み、自ら課題を見いだし、探究活動を通して自己の学びや今後の生活・進路に生かそうとしているかを評価する。
定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出することを単位修得の前提とする。なお、総合的な探究の時間２では単位認定試験は実施しない。
これらを３観点に基づいて総合的に判断し、総合的な探究の時間２の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定する。

その他

面接指導（スクーリング）の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　　一ツ葉高等学校

教　科	科　目		担　当　者
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間３	単位数：１	大津
履修上の注意点			

指導目標

１．これまでの探究学習を踏まえ、自己の進路や将来の社会参加と関連付けて探究テーマを設定し、課題解決に向けて主体的に考える力を養う。

２．収集した情報を整理・分析し、根拠に基づいて自分の考えをまとめるとともに、今後の学びや行動につながる結論を導く力を身に付ける。

３．探究の成果を報告書としてまとめ、自己評価と振り返りを通して、高校生活での学びを卒業後の進路や社会生活に生かそうとする態度を育てる。

教科書	プリント教材	副教材	
添削指導	１回	面接指導	１単位時間
メディア視聴・減免の有無		□　実施している	☑　実施していない
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程		メディア減免報告課題（視聴票）提出期限	
NHK 高校講座 １回　4/6（月）～6/12（金）		１回　6/12（金）	

添削課題

回	学習内容	提出期限
1	これまでの探究学習で身に付けた課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の方法を活用し、自己の進路や将来の社会参加と関連する探究テーマを設定する。探究領域、探究テーマ、テーマ設定理由、必要な準備を整理し、一次情報・二次情報を活用しながら情報を収集する。収集した情報を根拠として整理・分析し、探究成果を報告書としてまとめる。自己評価と振り返りを通して、探究活動で得た学び、自己の成長、今後の課題を確認する。	6/12（金）

面接指導（スクーリング）

回	学習内容
1	総合的な探究の時間３の自宅学習を進めるために、これまでの探究学習の成果を振り返り、進路や将来の社会参加と結び付けた探究テーマの設定方法を確認する。情報の収集・整理・分析、根拠の示し方、報告書のまとめ方、自己評価と振り返りの方法を確認し、探究活動を卒業後の学びや生活につなげる。

学習の成果に係る評価及び単位修得の認定に当たっての基準

添削課題の提出状況及び内容、面接指導への出席状況及び学習への取り組み、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容を総合して評価する。

評価に当たっては、総合的な探究の時間３の目標に基づき、次の３観点から学習状況を評価する。

「知識・技能」については、探究課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の方法について理解し、必要な情報を適切に収集し、参考文献や資料を活用しながら探究学習を進める技能を身に付けているかを評価する。

「思考・判断・表現」については、自分の興味・関心や地域、社会、進路に関する課題から探究テーマを設定し、収集した情報を整理・分析して、自分なりの考えや課題解決に向けた方向性を分かりやすく表現できているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、添削課題、面接指導、メディア視聴及び視聴票に主体的に取り組み、自ら課題を見いだし、探究活動を通して自己の学びや今後の生活・進路に生かそうとしているかを評価する。

定められた添削課題を提出し、必要な面接指導に出席し、メディア視聴を行った場合はメディア減免報告課題（視聴票）を提出することを単位修得の前提とする。なお、総合的な探究の時間３では単位認定試験は実施しない。

これらを３観点に基づいて総合的に判断し、総合的な探究の時間３の目標に照らして到達状況が認められる場合に単位を認定す

る。
その他
面接指導（スクーリング）の実施日は、連携協力施設及び学年により異なるため、年間行事予定表で確認すること。

令和８年度前期　通信教育実施計画　一ツ葉高等学校

教　科	科　目	担 当 者
特別活動	特別活動	瀬口

履修上の注意点	特別活動は、各学年 10 単位時間、3 年間で 30 単位時間を履修する。本活動は、特別活動のうちホームルーム活動として実施する。 メディア教材「簿記」は、簿記の知識及び技能の習得を直接の目的とするものではなく、金銭や情報を正確に管理することの必要性、他者との信頼関係、集団や組織における役割と責任、社会的・職業的自立及び自己の生活設計について考えるための題材として活用する。 教員による事前の課題提示、メディア視聴、視聴報告書の作成、添削及び問い返し、必要に応じた再提出並びに今後の行動目標の設定を一体的な指導として行う。

指導目標
１．多様な他者と協働する集団活動の意義を理解し、適切な行動をとる力を養う。
２．集団や個人の生活、人間関係、地域社会に関する課題を見つけ、話し合いや合意形成、意思決定を通じて解決する力を養う。
３．自主的・実践的な集団活動を通して、社会参画の姿勢、自己実現に向けた態度、人としての自覚を深める。
４．デジタル技術を活用して情報収集・共有を行い、現代社会の課題に対応する力を身に付ける。
５．簿記を題材として、金銭や情報を適切に管理することの意義、他者との信頼関係、集団や組織における役割と責任について考え、社会の一員として責任ある行動を選択し、自己の生活の改善に生かす態度を養う。

活動時数	特別活動は、各学年 10 単位時間、3 年間で 30 単位時間を標準とする。 各学年において、多様なメディアを利用した学習を計画的かつ継続的に取り入れ、その成果がメディア減免報告課題（視聴票）等により満足できると認められる生徒については、6 単位時間を上限として特別活動の時間数を免除し、4 単位時間の面接指導（スクーリング）を実施する。 メディア学習の成果が十分に確認できない場合は、担当教員による問い返し、報告課題の再提出、個別指導又は追加の面接指導を行う。

メディア視聴・減免の有無	☑ 実施している　□ 実施していない
メディア減免視聴メディアおよび視聴日程	メディア減免報告課題（視聴票）提出期限
NHK 高校講座 4/6（月）～7/10（金）	7/10（金）

メディア授業（メディア減免対象）

学年	目標	活動内容	視聴時間・特別活動の視点
1 年	金銭や情報を正確に記録・管理することが、本人だけでなく、家族、学校、職場等における他者との信頼関係につながることを理解し、自分の生活上の課題と改善方法を考える。	コミュニケーション・社会参加 福祉・環境 仕事・地域 簿記を題材とした金銭管理と信頼関係	40 分／自己実現・人間関係形成 40 分／社会参画 40 分／社会参画 180 分／人間関係形成・社会参画・自己実現
2 年	組織において金銭や情報を共有・管理する際には、役割分担、確認、報告及び説明責任が必要であることを理解し、異なる立場の人と協力するための方法を考える。	コミュニケーション・社会参加 福祉・環境 仕事・地域 簿記を題材とした組織の役割分担と説明責任	40 分／自己実現・人間関係形成 40 分／社会参画 40 分／社会参画 180 分／人間関係形成・社会参画・自己実現
3 年	簿記を題材として、働くこと、組織の一員として責任を果たすこと及び収支を見通して生活を設計することの意義を考え、卒業後に実践する具体的な行動目標を設定する。	コミュニケーション・社会参加 福祉・環境 仕事・地域 簿記を題材とした職業生活・社会的責任・生活設計	40 分／自己実現・人間関係形成 40 分／社会参画 40 分／社会参画 400 分／人間関係形成・社会参画・自己実現

メディア学習は、指定された期間内に各教材を視聴し、視聴票を提出する。視聴票では、視聴内容を自己の生活、他者との関係、集団や社会における役割及び今後の具体的な行動と関連付けて考察する。記述内容が不十分な場合は、担当教員による問い返し、個別指導又は再提出を行う。成果が十分に確認できない場合は、追加の面接指導を実施する。

提出物・確認課題

回	学習内容	提出物・確認方法
1	面接指導（スクーリング）における開校式、自己理解・他者理解、コミュニケーション活動、グループワーク及び振り返り等に参加し、集団活動の意義、協働の方法、社会参画の視点及び自己実現に向けた姿勢を確認する。	活動記録・振り返りシート、出席状況
2	視聴票に示した活動の目的及び設問を視聴前に確認させ、教材と自己の生活、他者との関係、集団や社会における役割を関連付けて考える視点を提示する。 その上で、コミュニケーション、社会参加、福祉、環境、仕事、地域及び簿記に関するメディア教材を視聴し、視聴内容を自己や社会の課題と関連付けて考察する。	メディア減免報告課題（視聴票）、視聴状況

3	視聴した内容をもとに、自己の生活上の課題、他者や集団に与える影響、社会の一員として果たす役割及び今後実践する具体的な行動を整理する。 担当教員は報告書を確認し、記述が不十分な場合は問い返しや個別指導を行い、必要に応じて再提出を求める。	振り返り記述、行動目標、添削記録、必要に応じた再提出及び個別指導記録

面接指導（スクーリング）　1年　4単位時間

回	学習内容	特別活動の観点
1	開校式・オリエンテーションを通して、特別活動の目的及び集団活動に参加する際の基本的な姿勢を確認する。	人間関係形成・自己実現
2	自己理解・他者理解及びコミュニケーション活動を通して、相手の立場を考えながら自分の考えを伝える方法を学ぶ。	人間関係形成・自己実現
3	グループワークにおいて役割分担を行い、他者と協力して課題に取り組むことを通して、協働の意義を理解する。	人間関係形成・社会参画
4	面接指導及びメディア学習で学んだことを振り返り、今後の学校生活や社会参加に生かす具体的な行動目標を設定する。	社会参画・自己実現

メディア学習　1年　300分

視聴期間	学習内容	視聴時間	特別活動の観点
4月6日～4月30日	コミュニケーション及び社会参加に関する教材を視聴し、他者との関わり方や集団の中で自分の役割を果たすために必要なことを考える。	40分	人間関係形成・社会参画
5月1日～5月31日	福祉及び環境に関する教材を視聴し、身近な社会的課題を理解するとともに、自分にできる具体的な行動を考える。	40分	社会参画
6月1日～6月15日	仕事及び地域に関する教材を視聴し、働くことや地域社会との関わりについて理解し、将来の進路や社会参加と関連付けて考える。	40分	社会参画・自己実現
6月16日～7月5日	簿記を題材として、金銭や情報を正確に記録・管理することが、他者との信頼関係や集団の適正な運営につながることを考え、自分の生活上の課題と改善方法を整理する。	180分	人間関係形成・社会参画・自己実現
7月10日	視聴票提出期限	合計300分	減免する時間数：6単位時間を上限とする

面接指導（スクーリング）　2年　4単位時間

回	学習内容	特別活動の観点
1	開校式及び前年度の振り返りを通して、2年次の集団活動、進路学習及び社会参加に関する目標を設定する。	人間関係形成・自己実現
2	集団の中で意見を出し合い、相手の立場を踏まえながら合意形成を進める方法を学ぶ。	人間関係形成・社会参画
3	グループワークにおいて役割分担、相談及び協力を行い、他者と協働して課題を解決する方法を身に付ける。	人間関係形成・社会参画
4	面接指導及びメディア学習で学んだことを振り返り、進路選択や社会参加に向けた自己の課題を整理し、今後の行動目標を設定する。	社会参画・自己実現

メディア学習　2年　300分

視聴期間	学習内容	視聴時間	特別活動の観点
4月6日～4月30日	コミュニケーション及び社会参加に関する教材を視聴し、相手の立場を考えた伝え方や、集団の中で協力するために必要なことを考える。	40分	人間関係形成・社会参画
5月1日～5月31日	福祉及び環境に関する教材を視聴し、社会が抱える課題について理解するとともに、持続可能な社会の実現に向けて自分にできる行動を考える。	40分	社会参画
6月1日～6月15日	仕事及び地域に関する教材を視聴し、地域社会や職業との関わりについて理解し、自分の興味、適性及び進路希望と関連付けて考える。	40分	社会参画・自己実現
6月16日～7月5日	簿記を題材として、組織における金銭や情報の管理、役割分担、相互確認、報告及び説明責任の必要性を考え、異なる立場の人と協力するための方法を整理する。	180分	人間関係形成・社会参画・自己実現
7月10日	視聴票提出期限	合計300分	減免する時間数：6単位時間を上限とする

面接指導（スクーリング）　3年　4単位時間

回	学習内容	特別活動の観点
1	開校式及び進路目標の確認を通して、卒業後の生活を見据えた自己の目標を明確にする。	自己実現
2	進路実現に向けて必要な準備、情報収集、相談及び意思決定の方法を確認し、具体的な行動計画を作成する。	社会参画・自己実現

3	グループワークを通して、相手や場面に応じたコミュニケーション、役割分担、リーダーシップ、フォロワーシップ及び合意形成を実践する。	人間関係形成・社会参画
4	3年間の面接指導及びメディア学習を振り返り、卒業後の職業生活、社会参加及び人間関係に生かす具体的な行動目標を設定する。	社会参画・自己実現

メディア学習　3年　520分
※多様なメディアを利用した学習及び報告課題により、6単位時間を上限として面接指導時間を減免する。

視聴期間	学習内容	視聴時間	特別活動の観点
4月6日～4月30日	コミュニケーション及び社会参加に関する教材を視聴し、卒業後の社会生活を見据えて、相手や場面に応じた関わり方について考える。	40分	人間関係形成・社会参画
5月1日～5月31日	福祉及び環境に関する教材を視聴し、社会の一員として社会的課題に関心を持ち、卒業後も継続して実践できる行動を考える。	40分	社会参画
6月1日～6月15日	仕事及び地域に関する教材を視聴し、地域、職業及び経済活動について理解し、卒業後の進路や生活と関連付けて考える。	40分	社会参画・自己実現
6月16日～7月5日	簿記を題材として、職場や社会における正確な記録、報告、確認及び説明責任の意義を考える。また、収支を見通して生活を設計することの必要性を理解し、卒業後に実践する具体的な行動を整理する。	400分	人間関係形成・社会参画・自己実現
7月10日	視聴票提出期限	合計520分	減免する時間数：6単位時間を上限とする

学習の成果に係る評価及び履修確認の基準

面接指導（スクーリング）への出席状況及び活動への参加態度、グループワークや地域交流等における協働的な取組、メディア授業の視聴状況、メディア減免報告課題（視聴票）の提出状況及び内容、活動記録並びに振り返りの内容を総合して評価する。
メディア減免報告課題については、単に視聴内容を要約できているかではなく、次の観点により確認する。
①教材の内容を自己の生活や将来の職業生活と関連付けていること。
②自分の行動が他者や所属する集団に与える影響を具体的に考えていること。
③集団や社会の一員として果たすべき役割及び責任を理解していること。
④自己の生活上の課題を挙げ、その改善に向けた具体的な行動を意思決定していること。
⑤他者の立場や異なる考え方を踏まえ、協力や役割分担の方法を考えていること。
上記の内容が十分に確認できない場合は、担当教員が具体的な問い返しを行い、必要に応じて電話、オンライン又は対面による個別指導を実施した上で、報告課題の再提出を求める。

その他

面接指導4単位時間は、学年及び連携協力施設ごとに定めるスクーリング実施日に行う。具体的な実施日は、別添「年間の面接指導の実施時期が分かる資料」による。